

BELLUSTAR TOKYO, A Pan Pacific Hotel

宿泊約款・規約
Terms & Conditions
숙박 약관
住宿條款
住宿条款

目次 Table of Contents

利用規則	1
宿泊約款	5
レストラン利用規約	13
宴会利用規約	16
婚礼披露宴規約	20
Ruleson of Use	24
Terms and Conditions of Accommodation Contract	28
Terms of Use – Restaurants	37
Terms of Use – Banquets	40
Terms of Use – Wedding Receptions	45
이용 규칙	50
숙박 약관	53
레스토랑 이용 규약	60
연회 규약	63
혼례 피로연 규약	67
使用規則	71
住宿條款	74
餐廳使用規約	80
宴會使用規約	82
婚宴規則	85
使用规则	88
住宿条款	91
餐馆服务规章	97
宴会服务规章	99
婚礼喜宴规章	102

利用規則

BELLUSTAR TOKYO では、お客さまに安全かつ快適にご滞在いただくため、宿泊約款第 10 条およびレストラン利用規約第 2 条に基づき、次の通り利用規則を定めておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。この利用規則をお守りいただけない場合は、宿泊約款第 7 条およびレストラン利用規約第 1 条により、宿泊またはホテル内の諸施設のご利用をお断り申し上げます。また、この利用規則をお守りいただけないことにより生じた事故については、お客さまに損害のご負担をいただくこともございますので、特にご注意くださいよう、お願い申し上げます。

第 1 条 安全と保安上お守りいただきたい事項

1. 「避難経路図」は、各客室ドア内側や非常階段スペースに表示しておりますので、ご確認ください。
2. お部屋への暖房用、炊事用等の火器およびその他火災の原因となる物品の持ち込みはご遠慮ください
3. 客室内は禁煙です。指定された喫煙室、喫煙場以外での喫煙はおやめください（健康増進法第 5 章第 2 節 25 条）。なお、本項については電子たばこも適用いたしますのでご了承ください。喫煙が判明した場合には、寝具—カーテン—壁紙等のクリーニング費用、その他補修等にかかる費用を請求させていただくこともございますのでご了承ください。
4. 濡れた衣類やタオルなどを乾燥させるため、照明器具にのせたりランプシェードにかけたりしますと、火災の原因になります。大変危険ですとおやめください。
5. その他火災の原因になるような行為はおやめください。
6. ご宿泊中、客室から出る際は、必ず施錠をご確認ください（当ホテルは自動施錠になっております）。
7. ご就寝中は内鍵、および掛け金をおかけください。ご来客があった場合には不用意にドアを開扉なさらず、ドアスコープでご確認ください。万一、不審者と思われる場合は、レセプションまでご連絡ください。
8. バスタブへの湯張り中、仮眠その他の事由により開栓を放置しますと、湯があふれて、重大な漏水事故となりますのでご注意ください。
9. 外来のお客さまと客室内でのご面会は、ご遠慮いただいております。
10. ご宿泊登録者以外の方のご宿泊は固くお断りいたします。
11. お車ご利用のお客さまは、所定の駐車場に駐車をお願いいたします。
12. 当ホテル利用客が駐車場を利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、車両の管理責任は、負わないものとします。

第 2 条 貴重品、遺失物のお取扱いについて

1. ご滞在中の現金、貴重品の保管は、客室に備え付けのセーフティボックスをご利用いただくようお願いいたします。上記の手続きを経ずに、現金、貴重品の滅失、紛失、毀損、盗難等によって生じた損害については賠償いたしかねますのでご了承ください。

2. ホテル内での遺失物の処理は一定期間ホテルが保管し、その後は遺失物法に基づいてお取り扱いさせていただきます。

第 3 条 お支払いについて

1. 料金は、通貨または当ホテルが認めた、宿泊券、クレジットカードによりお支払いいただきます。ただし、ご滞在中やレストラン利用中、当ホテルからお勘定書の提示がございましたら、その都度ご精算をお願いいたします。
2. ご予定の宿泊日数を変更される場合は、あらかじめレセプションスタッフにご連絡ください。ご延長の場合は、それまでのご利用代金のお支払いをお願いいたします。
3. ホテル内のレストランバーなどの利用料金を客室づけされる場合は、客室のキー（カードキーとキーケース）をご提示ください。（お名前を伺うこともございます。）客室づけでのご利用はお断りする場合もございます。
4. 到着時にお預かり金を申し受けることがございますのでご了承ください。また、ご滞在中、フロントからお勘定書の提示がございましたら、その都度フロントでのご精算をお願い申し上げます。
5. お買い物代、航空券、列車やバスなどの切符代、タクシー代、郵便切手代、お荷物発送料などの立て替えは、原則お断りさせていただきます。
6. 宿泊料および飲食料金には、勝手ながらサービス料が加算されている場合がございます。なお、従業員へのお心づけは辞退いたします。
7. 客室からホテル外部へのお電話をご利用の際は、ホテル規定の利用料金が加算されます。

第 4 条 禁止事項

1. ホテル内への他のお客さまのご迷惑になるようなもののお持ち込み
 - (1) 犬、猫、鳥などの動物、ペット類全般（ただし、法で定める介助犬は除く）
 - (2) 発火または引火しやすい火薬や揮発油類および危険性のある製品
 - (3) 悪臭および強い匂いを発する物
 - (4) 許可証のない鉄砲、刀剣類
 - (5) 著しく多量のお荷物および物品
 - (6) その他法令で所持を禁じられている物
 - (7) その他法令で禁じられている行為
2. ホテル内で賭博や風紀、治安を乱すような行為、他のお客さまにご迷惑となったり不快感を与えたりするような行為
3. ホテルの外観を損なうような物を客室やレストランの窓に掛けたり、窓側へ陳列したりする行為
4. 当ホテルの許可がない客室やロビーなどホテル館内での営業行為
5. 当ホテルの許可がない広告、宣伝物の配布や、物品の販売
6. ホテル内で施設、備品を所定の場所や用途以外で使用することや、現状を著しく損なうようなご利用

7. ホテル内で撮影された写真などを許可なく営業上の目的で公にする行為
8. 廊下やロビーに所持品を放置すること
9. ナイトウェア、浴衣、パジャマ、スリッパ等で廊下、ロビーおよびレストラン・バーなどの営業施設のご利用
10. 緊急事態、あるいはやむを得ない事情以外での、ホテル従業員エリア、非常階段、屋上、塔屋、機械室などの施設への立ち入り
11. ホテル外部からの飲食物の出前(但し、ホテルが提携した飲食店等は可)
12. ホテル建造物、家具、備品、その他物品の損傷、汚染、または紛失をされた場合、相当額を弁償していただくことがございます

第 5 条 ホテル利用契約の解除

次に掲げる場合において、ご利用をご遠慮いただいております。

また、予約—契約を締結した後において、その事実が判明したときには、その時点で予約—契約を解除いたします。ただし、本項は、当ホテル(館)が旅館業法第 5 条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) ホテル利用者が旅館業法第 4 条の 2 第 1 項第 2 号に規定する特定感染症の患者等であるとき
- (2) ホテル利用者に次の事由に該当する者がいる場合
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号に規定する暴力団(以下「暴力団」という)、同条第 2 条第 6 号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という)、暴力団関係企業—団体の関係者などの反社会勢力
 - ロ 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体
 - ハ 法人でその役員に暴力団等の反社会勢力に該当する者があるもの
- (3) ホテル利用者が、宿泊に関し威圧的もしくは暴力的要求行為を行い、または合理的な範囲を超える負担を求めたとき(ただし、宿泊客が障害者差別解消法第 7 条第 2 項または第 8 条 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
- (4) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として、旅館業法施行規則第 5 条の 6 で定めるものを繰り返したとき。または、かつて同様の行為を当ホテル、もしくは他のホテルで行ったと認められるときは、利用をお断りいたします。

第 6 条 エコロジー活動

1. 資源を大切に使うため、節電、節水にご協力をお願いいたします。

第 7 条 個人情報

1. 当ホテルでは、お客様から提供される個人情報について、当ホテルのプライバシーポリシーに則り、適切にお取扱いいたします。

第 8 条 利用規則の変更

1. 本利用規則は、民法に定める定型約款に該当し、利用客の一般の利益に適合する場合、または、変更の必要性および相当性があると認めた場合には、民法の規定に基づいて、本利用規約の各条項を変更いたします。
2. 本利用規約が変更された場合には、変更後の内容を Web サイトに掲載し、掲載の際に定める効力発生日から変更後の内容が適用されるものといたします。なお、本利用規約を変更する場合には、変更内容などを記載した書面または客室テレビ内インフォメーションなどを用いて適切な方法にて周知いたします。

宿泊約款

第 1 条 適用範囲

1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約およびこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令または一般に確立された慣習によるものいたします。
2. 当ホテルが、法令および慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約は優先するものいたします。

第 2 条 宿泊契約の申込み

1. 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルにお申し出いただきます。
 - (1) 宿泊者名および宿泊人数
 - (2) 宿泊日および到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として注釈第 1 による）
 - (4)
 - a. 申込者名およびその連絡先
 - b. 宿泊料金の支払者名およびその連絡先
 - (5) 前泊地および後泊地
 - (6) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に本条第 1 項第 2 号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして取り扱います。

第 3 条 宿泊契約の成立等

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものいたします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の宿泊料を限度として当ホテルが定めるお預かり金や申込金を、当ホテルが指定する期日までに、お支払いいただきます。プランにより別途定めている場合は、この限りではありません。
3. お預り金や申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金やホテル利用料金に充当し、本約款第 6 条および第 20 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、本約款第 14 条の規定による料金の支払いの際に返金いたします。
4. 本条第 2 項のお預り金や申込金を同項の規定により当ホテルが指定した期日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものいたします。ただし、お預り金や申込金の支払い期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

第 4 条 施設における感染防止対策への協力の求め

1. 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和 23 年法律第 138 号）第 4 条の 2 第 1 項の規定による協力を求めることができます

第 5 条 お預かり金、申込金の支払いを要しないこととする特約

1. 第 3 条第 2 項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項のお預り金や申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがございます。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するにあたり、当ホテルが第 3 条第 2 項のお預り金や申込金の支払いを求めなかった場合、および当該申込金の支払い期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱いいたします。

第 6 条 宿泊契約締結の拒否

1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがございます。
 - (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき
 - (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき
 - (4) 宿泊しようとする者が、旅館業法第 4 条の 2 第 1 項第 2 号に規定する特定感染症の患者等（以下、「特定感染症の患者等」という）であるとき。
 - (5) 宿泊しようとする者が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という）、同条第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という）、暴力団関係企業一団体の関係者などの反社会的勢力であるとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が暴力団、または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき
 - (7) 宿泊しようとする者が法人で、その役員に暴力団員に該当する者がいるとき
 - (8) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し威圧的もしくは暴力的要求行為を行い、または合理的な範囲を超える負担を求めたとき（ただし、宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 2 8 年法律第 6 5 号。以下「障害者差別解消法」という。）第 7 条第 2 項または第 8 条 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）
 - (9) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として、旅館業法施行規則第 5 条の 6 で定めるものを繰り返したとき
 - (10) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき
 - (11) 宿泊しようとする者が泥酔など等で、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあるとき、および宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき（都道府県（保健所を設置

する市または特別区にあっては、市または特別区)の条例に基づく)。

第 7 条 宿泊契約締結の拒否の説明

1. 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

第 8 条 宿泊客の契約解除権

1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部または一部を解除した場合(本約款第 3 条第 2 項の規定により当ホテルがお預かり金や申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます)は、注釈第 2 に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが本約款第 5 条第 1 項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるにあつて、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限りません。
3. 当ホテルは、クレジット登録のない宿泊客が連絡なしで宿泊日当日 18 時になっても到着しないとき、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなすことができます。

第 9 条 当ホテルの契約解除権

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。
 - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する恐れがあると認められるとき、または同行為をしたと認められるとき
 - (2) 宿泊客が伝染病患者であると明らかに認められるとき、もしくはその他、感染により罹患する恐れのある疾病にかかっているとき、症状の有無に関わらず、感染防止対策の協力要請に正当な理由がなく応じないとき
 - (3) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき
 - (4) 宿泊しようとする者が泥酔などにより、他の宿泊客に影響を及ぼす恐れがあると認められるとき。あるいは著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき
 - (5) 当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき
 - (6) 指定された喫煙室、喫煙場以外で喫煙したとき
 - (7) 寝室での寝たばこ、消防用設備などに対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき
 - (8) 宿泊しようとする者が暴力団、暴力団員、暴力団関係企業一団体の関係者などの反社会的勢力であるとき
 - (9) 宿泊しようとする者が暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体であるとき
 - (10) 宿泊しようとする者が法人で、その役員に暴力団員に該当する者がいるとき

- (11) 宿泊しようとする者が宿泊施設、もしくは宿泊施設従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝など、威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求したとき、またはかつて同様の行為を当ホテル、もしくは他のホテルで行ったことが判明したとき
 - (12) その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として、旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供をうけていない宿泊サービスなどの料金はいただきません。

第 10 条 宿泊の登録

1. 宿泊客には、宿泊日当日、当ホテルのレセプションにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、および住所
 - (2) 日本国内に住所を持たない外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地および入国年月日（パスポートのコピーまたはスキャナーによる複写）、前泊地および後泊地
 - (3) 出発日および出発予定時刻
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が本約款第14条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカードなど通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

第 11 条 客室の使用時間

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、原則として午後3時から翌日の正午までといたします（チェックイン／チェックアウト時間を限定した宿泊プランを除く）。ただし、連続して宿泊する場合において、到着日および出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがございます。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) チェックアウト日の正午から午後3時まで超過———室料金の 30%
 - (2) チェックアウト日の午後3時から午後6時まで超過———室料金の 50%
 - (3) チェックアウト日の午後6時から翌日正午まで超過———室料金の 100%

第 12 条 利用規則の遵守

1. 宿泊客は当ホテル内においては、当ホテルが別に定める利用規則に従っていただきます。

第 13 条 営業時間

1. 当ホテルの施設などの詳しい営業時間は、各所の表示などでご案内いたします。

2. 前項の営業時間は、必要またはやむを得ない場合には臨時に変更することがございます。その場合には適当な方法をもってお知らせいたします。

第 14 条 料金の支払い

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金などの内訳は、注釈第 1 に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金などの支払いは、通貨または当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカードなどこれに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際または当ホテルが請求したとき、レセプションにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第 15 条 当ホテルの責任

1. 当ホテルは、宿泊契約およびこれに関する契約の履行にあたり、またはそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償いたします。ただし、当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

第 16 条 契約した客室の提供ができないときの取扱い

1. 当ホテルで、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものといたします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害補償額に充当いたします。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第 17 条 寄託物等の取扱い

1. 宿泊客がレセプションにお預けになった物品について、滅失、毀損などの損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償いたします。ただし、現金および貴重品については、当ホテルがその種類および価額の申告を求めた場合で、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 15 万円を限度としてその損害を賠償いたします。
2. 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品または現金ならびに貴重品であってレセプションにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意または過失により滅失、毀損などの損害が生じた場合以外は、当ホテルは責任を負いかねます。ただし、宿泊客から、あらかじめ種類および価額の申告がなく、ホテルの責任に帰するものについては、15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償いたします。

第 18 条 宿泊客の手荷物または携帯品の保管

1. 宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限り責任をもって保管いたします。手荷物は、宿泊客がレセプションにおいてチェックインする際にお渡し、または客室にお届けいたします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物または携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、所有者の指示がない場合、または所有者が判明しないときは、遺失物法に基づき取り扱いいたします。
3. 本条第 2 項の場合における宿泊客の手荷物または携帯品の保管についての当ホテルの責任は、本条第 1 項の場合にあつては前条第 1 項の規定に、本条第 2 項の場合にあつては前条第 2 項の規定に準じるものといたします。
4. 拾得物は一定期間保管をし、その後は遺失物法に基づいて取り扱いいたします。

第 19 条 駐車場の責任

1. ホテル利用客が東急歌舞伎町タワー地下駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当ホテルの故意または過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに応じます。

第 20 条 宿泊客の責任

1. 宿泊客の故意または過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

第 21 条 個人情報の取扱い

1. 当ホテルでは、お客さまから提供される個人情報について、別に定める当ホテルのプライバシーポリシーに則り、適切に取り扱いいたします。

第 22 条 免責事項

1. 当ホテルからのコンピューター通信のご利用にあたっては、ご利用者ご自身の責任において行うものとします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルの故意または重過失による場合を除き、当ホテルは一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用に当ホテルが不適切と判断した行為があり、これにより当ホテルおよび第三者に損害が生じた場合には、当該損害を賠償していただきます。

第 23 条 約款の変更

1. 本約款は、民法に定める定型約款に該当し、宿泊客の一般の利益に適合する場合、または、変更の必要性および相当性があると認めた場合には、民法の規定に基づいて、本約款の各条項を変更いたします。
2. 本約款が変更された場合には、変更後の内容を Web サイトに掲載し、掲載の際に定める効力発生日から変更後の内容が適用されるものといたします。なお、本約款を変更する場合には、変更内容などを記載した書面または客室テレビ内インフォメーションなどを用いて適切な方法にて周知いたします。

注釈 第 1 宿泊料金等の内訳（第 2 条第 1 項および第 14 条第 1 項関係）

宿泊客が支払うべき総額は下記の合計となります。

- 宿泊料金 室料+サービス料
- 追加料金 飲食料およびその他の利用料金（手数料、サービス料含む）
- 税金 諸税
※ 税法が改正された場合はその改正された規定によるものといたします。

注釈 第 2 違約金（第 9 条第 2 項関係）

契約解除の通知を受けた日と申し込み人数に応じて下記のように定めます。

- 一般
 - 不泊 100%
 - 当日 100%
 - 前日 100%（15 時以降）
- 団体（10 室以上）
 - 不泊 100%
 - 当日 100%
 - 前日 100%
 - 7 日前 80%
 - 30 日前 50%
 - 60 日前 30%
 - 90 日前 20%
- 団体（31 室以上）
 - 不泊 100%
 - 当日 100%
 - 14 日前 100%
 - 30 日前 80%
 - 60 日前 50%
 - 90 日前 30%

- ※ %は、予約時の宿泊料金に対する違約金の比率を示します。(サービス料および消費税は含まない)
- ※宿泊パッケージ等、別途違約金を設定している場合は、そのパッケージのキャンセル規定に準じ違約金を収受します。
- ※ 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受いたします。
- ※各旅行会社からのお申し込みのキャンセルにつきましては、お申込みいただきました旅行会社の規定に準ずる事といたします。

レストラン利用規則

BELLUSTAR TOKYO のレストランでは、お客さまにご満足していただけるようご利用に関して、下記の通り利用規約を設けておりますので、了承くださいますようお願い申し上げます。

第 1 条 ご利用の拒否、および予約—契約の解除

次に掲げる場合において、ご利用（ご利用に際しての予約—契約を含む）をご遠慮いただいております。また、予約—契約を締結した後において、その事実が判明したときは、その時点で予約—契約を解除いたします。

1. 利用者に次の事由に該当する者がいる場合
 - (1) 暴力団、暴力団員、暴力団関係企業—団体の関係者などの反社会的勢力
 - (2) 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体
 - (3) 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者のあるもの
2. レストランもしくは従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝など、威圧的行為を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求した場合、またかつて同様の行為を当レストラン、もしくは他のレストランで行ったと認められる場合
3. 他の利用者に対し、著しい迷惑を及ぼす言動を行った場合
4. 利用しようとする者が明らかに伝染病にかかっている場合、もしくはその他、感染により罹患する恐れのある疾病にかかっている場合
5. 予約—契約の内容（使用目的）がお申込み時と異なり、明らかな虚偽の申告をした場合
6. 各レストランが定めるドレスコードを逸脱している場合（ドレスコードはスマートカジュアルスタイルでお願いしております）

第 2 条 利用規則の遵守

1. レストランを利用されるお客さまは当ホテル内において、別に定める BELLUSTAR TOKYO 利用規則にご承諾いただいたものといたします。

第 3 条 禁止事項

1. 次に掲げる事項につきましてはご遠慮くださいますよう、お願いいたします。
 - (1) 犬—猫—鳥などの動物、ペット類全般の持ち込み（ただし、法で定める介助犬は除く）
 - (2) 発火、または引火しやすい火薬や揮発性油類および危険性のある製品の持ち込み
 - (3) 強い香りまたは悪臭を発する物の持ち込み
 - (4) 他店、もしくは私的な飲食物の無断持ち込み
 - (5) 法令または公序良俗に反する行為、および他のお客さまの迷惑や不快感を与えるような言動
 - (6) 当ホテルで販売するテイクアウト商品以外の食品の持ち込み
 - (7) 店内でのマナーモードおよびサイレントモード以外の携帯電話の利用
 - (8) 許可なき机—椅子などの備品の移動

(9) その他法令で禁じられている行為

第 4 条 営業

1. 当ホテルの主なレストランは次のとおりとし、レストランなどの詳しい営業時間はウェブサイト、各所でご案内しております。

Restaurant Bellustar	45 階
Bar Bellustar	45 階
鉄板「天祐」	45 階
鮨「甚江」	45 階

2. 前項の営業は、必要な場合、もしくはやむを得ない場合には変更することがございます。

第 5 条 キャンセルポリシー

1. ご予約について、原則として料理内容の金額および個室料より、規定のキャンセル料を申し受けいたします。

5 日前	30%
3 日前～前日	50%
当日	100%

2. 料理がお決まりでない場合、ご予約レストランのご予約時刻での最低コース料金をご人数さま分申し受けいたします。

3. 天災などのやむを得ない理由でのキャンセルは該当いたしません。

第 6 条 免責事項

1. 当ホテルで販売しているテイクアウト商品で、ご購入後に消費期限を過ぎた場合、レストランはその責任を負いかねます。

2. メニューは、仕入れの状況により、変更をさせていただく場合がございます。

3. アレルギーのあるお客さまはあらかじめお申し出ください。お申し出がない場合、レストランはその責任を負いかねますのでご了承ください。

第 7 条 損害賠償

1. お客さまの過失によりレストランの施設—什器などを破損—損傷しないよう充分にご注意ください。

2. 故意に施設—什器備品などを破損—損傷した場合、相当額を弁償していただく場合がございますのでご了承ください。

第 8 条 ご利用人数の確定

1. ご予約の場合、ご利用人数につきましては、ご利用前日の午前中までにレストラン担当者にご連絡ください。

第 9 条 利用規約の変更

1. 本利用規約は、民法に定める定型約款に該当し、利用客の一般の利益に適合する場合、または、変更の必要性および相当性があると認めた場合には、民法の規定に基づいて、本利用規約の各条項を変更いたします。
2. 本利用規約が変更された場合には、変更後の内容を Web サイトに掲載し、掲載の際に定める効力発生日から変更後の内容が適用されるものといたします。なお、本利用規約を変更する場合には、変更内容などを記載した書面または客室テレビ内インフォメーションなどを用いて適切な方法にて周知いたします。

宴会規約

BELLUSTAR TOKYO では、ご宴会を円滑に執り行うため、下記の通り規約を定めておりますのでご了承くださいませようお願い申し上げます。

第 1 条 お申込み

1. 仮予約につきましては、宴会場のお申し込みの際に仮予約期間を設けております。仮予約の期間は原則としてお申し込み日より 1 週間（7 日間）とさせていただきます。この期間内にホテルに開催の有無をご連絡ください。仮予約期間内に当ホテルにご連絡のない場合には、開催の予定がないものとさせていただきます。
2. 成約につきましては、決定連絡後、宴会承り書の取り交わしまたはお申込金のお支払いをもって成約とさせていただきます。お申込金の金額は宴会の内容に基づいて、当ホテルより提示させていただきます。

第 2 条 内金

1. 当ホテルから提示いたしました金額を内金として、宴会の開催日の 7 日前までに当ホテルにお支払いいただきます。期間内にご入金がない場合は、宴会を取消しとさせていただきます場合がございます。

第 3 条 最終確認

1. お見積の人数および料理の数にご変更のある場合は、その都度ご連絡くださいますようお願いいたします。宴会の開催日の前々日正午までご変更を承りますが、減数に関しましては最終お見積の人数および料理の数の 10%迄とさせていただきます。このお申し込み者からのご通知をもって最終確認とさせていただきます。ご連絡のない場合にはお見積の通りとさせていただきます。

第 4 条 宴会時間

1. 宴会場のご使用開始から終了までのご契約時間（宴会時間）は所定の室料をお支払いいただき、この宴会時間を超過した場合は追加室料を申し受けます。ただし、次の宴会場使用時刻との関係で、ご利用時間の超過に応じられない場合もございます。

第 5 条 精算

1. 宴会終了後、確定したご利用金額（精算金額）につきましては、当ホテルが事前に確認したお支払い日までに、その費用をお支払いいただきます。精算金額に対して内金の過剰入金がある場合には、その差額を当ホテルより返金いたします。

第 6 条 装飾—余興などのお手配

1. 原則として宴会に関する装飾—装花—音楽—余興—音響照明およびパーティコンパニオンなどにつきましては、ホテルから指定業者に手配させていただきます。
2. ホテルの了解のもとに、お申し込み者が直接手配された業者の行う事柄については、宴会を円滑に運営するため、事前にホテルにご連絡ください。ホテル側の事前の同意を得ないで直接業者にご手配なさることはご遠慮ください。なお、お申し込み者手配の業者に対する指示に関してはホテルの指示に従っていただきます。

第 7 条 損害賠償

1. お申し込み者（お申し込み者側の全ての関係者—主催者—宴会出席者を含む）またはお申し込み者が手配された業者の故意または過失により当ホテルが損害（ホテル施設—什器備品などの破損—損傷—汚損など）を被った場合は、当該お申し込み者にその損害を賠償していただきます。

第 8 条 施設内における事故—紛失—盗難

1. 施設内においてお客さまの管理下で発生した事故—紛失—盗難につきましては、ホテル側は責任を負いかねますのでご了承ください。

第 9 条 契約締結の拒否

1. 宴会にご出席されるお客さまが、次の項目に抵触する場合、または天災や施設の故障、その他止むを得ない事由により宴会場を使用することができない場合は、宴会のお申し込みをお断りさせていただくことがございます。この場合、契約締結の拒否に伴う損害賠償などは負いかねますのでご了承ください。
 - (1) 法令または公序良俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき
 - (2) 他のお客さまに迷惑を及ぼす恐れがあると認められたとき。あるいは、迷惑を及ぼす言動をしたとき
 - (3) 第三者による営業妨害の恐れがあるとホテル側が判断したとき
 - (4) 暴力団、暴力団員、暴力団関係企業—団体の関係者などの反社会的勢力であることが判明したとき
 - (5) 暴力団などが事業活動を支配する法人その他団体であるとき
 - (6) 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者がいるとき
 - (7) 当ホテル、もしくは当ホテル従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝など威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求した場合、またはかつて、同様の行為を当ホテル、もしくは他のホテルで行ったと認められるとき
 - (8) この「宴会規約」および個別に結んだ契約に違反するとき

第 10 条 契約解除

1. 次の項目に該当、もしくは抵触した場合はホテル側より宴会をお断りするか、既にご契約をいただいている契約を解約させていただく場合がございますのでご了承ください。この場合、契約解除に伴う損害賠償は負いかねますのでご了承ください。

- (1) 宴会に出席する者が、法令または公序良俗に反する行為をなされる恐れがあると認められるとき
- (2) 他のお客さまに迷惑を及ぼす恐れがあると認められるとき
- (3) 第三者による営業妨害の恐れがあるとホテル側が判断したとき
- (4) 天災または施設の故障、その他止むを得ない事由により宴会場を使用することができないとき
- (5) 宴会に出席する者が、暴力団、暴力団員、暴力団関係企業一団体または関係者などの反社会的勢力であることが判明したとき
- (6) 宴会に出席する者が、暴力団などが事業活動を支配する法人その他団体であるとき
- (7) 宴会に出席する者が、法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者がいるとき
- (8) 宴会に出席する者が、当ホテルもしくは当ホテル従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝など威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求した場合、またはかつて、同様な行為を当ホテル、もしくは他のホテルで行ったと認められるとき
- (9) 宴会に出席する者が、明らかに伝染病にかかっている場合、もしくはその他、感染により罹患する恐れのある疾病にかかっているとき
- (10) 宴会の内容（使用目的）がお申込み時と異なり、明らかな虚偽の申告が判明したとき
- (11) その他この「宴会規約」および個別に結んだ契約に違反したとき

第 11 条 禁止事項

1. 次にあげる各項目につきましては禁止事項となっておりますのでご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

- (1) 犬一猫一鳥などの動物、ペット類全般の持ち込み（ただし、法で定める介助犬は除く）
- (2) 発火、または引火しやすい火薬や揮発性油類および危険性のある製品の持ち込み
- (3) 強い香りまたは悪臭を発する物の持ち込み
- (4) 法令または公序良俗に反する行為、および他のお客さまの迷惑や不快感を与えるような言動
- (5) 許可なきホテル備え付け品の移動
- (6) 使用目的以外でのご利用
- (7) その他の法令で禁じられている行為

第 12 条 取消料—日程変更

1. 成約後のお取消しおよび日程変更の場合には、開催日より起算した取消日—変更日に応じて、原則として下記の取消料および変更料をいただきます。

成約日～開催日 121 日以前 最も新しい見積総額の 10%＋実費

開催日 120 日前～90 日前	最も新しい見積総額の 20%+実費
開催日 89 日前～30 日前	最も新しい見積総額の 30%+実費
開催日 29 日前～8 日前	最も新しい見積総額の 50%+実費
開催日 7 日前～前日	最も新しい見積総額の 80%+実費
開催日当日	最も新しい見積総額の 100%+実費

※ 「最も新しいお見積総額」とは、お客さまとホテルにて取り交わした最新の見積書における、申込金ならびに入金済み金額を含んだ総額を指します

※ 「実費」とは既にご注文済みの印刷物などの費用およびその他外注品などの解約料を指します

※ 日程の延期につきましては、解約の場合に準じたお取消料とさせていただきます

第 13 条 個人情報の取り扱い

当ホテルでは、お客さまから提供される個人情報について、別に定める当ホテルのプライバシーポリシーに則り、適切に取り扱いいたします。

第 14 条 規約の変更

1. 本規約は、民法に定める定型約款に該当し、利用客の一般の利益に適合する場合、または、変更の必要性および相当性があると認めた場合には、民法の規定に基づいて、本規約の各条項を変更いたします。
2. 本規約が変更された場合には、変更後の内容を Web サイトに掲載し、掲載の際に定める効力発生日から変更後の内容が適用されるものといたします。なお、本規約を変更する場合には、変更内容などを記載した書面または客室テレビ内インフォメーションなどを用いて適切な方法にて周知いたします。

婚礼披露宴規約

BELLUSTAR TOKYO ではご披露宴を円滑に執り行うため、下記の通り規約を定めておりますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

第 1 条 契約の成立

1. 挙式一披露宴のご予約をいただく際には、申込書に必要事項をご記入いただき、申込者の署名および申込金のお支払いをいただきます。お預かりした申込金は挙式一披露宴における実施費用の一部とさせていただきます。なお、申込金は 10 万円となり、お支払いをもって契約の成立とします。

第 2 条 披露宴時間と追加室料

1. 宴会場などの使用時間は取り決めた使用時間内とさせていただきます。取り決めた使用時間をお客さまの都合により超過した場合は、所定の追加室料および延長に関わるその他の費用などを申し受けることがございます。ただし、次の宴会場使用時間との関連でご使用時間の延長に応じられない場合もございます。

第 3 条 お支払い

1. 披露宴の費用は、ホテルより提示する概算見積金額に対し、以下の金額を銀行振り込み、または現金にてお支払いください。指定した期日までにお支払いいただけない場合は、契約はその効力を失うものといたします。この場合、第 5 条に定める取消料を申し受けます。なお、過不足が発生した場合は披露宴開催日から 30 日以内に精算するものといたします。

開催日の 1 ヶ月前まで 概算見積金額の 50%

開催日の 7 日前まで 概算見積金額の 100%

第 4 条 人数確定後の変更

1. ホテルが指定した期日に最終確定した人数一数量より、披露宴にご出席されるお客さまの人数および物品の数量が減少した場合であっても、最終確定数の請求をさせていただきます。

第 5 条 取消料と期日変更

1. 既にご契約をいただいた挙式一披露宴のお取消料および期日変更の場合は、下記の取消料、および期日変更料を申し受けいたします。

取消料と期日変更料については、以下のとおりとなります。

成約日～181 日前 申込金の 50%

開催日 180 日前～121 日前 申込金全額および実費諸費用

開催日 120 日前～91 日前	申込金全額と最も新しい見積総額の 20% ならびに実費諸費用
開催日 90 日前～31 日前	申込金全額と最も新しい見積総額の 30% ならびに実費諸費用
開催日 30 日前～11 日前	申込金全額と最も新しい見積総額の 45% ならびに実費諸費用
開催日 10 日前～前日	申込金全額と最も新しい見積総額の 45% ならびに納品済物品費用、その他実費諸費用
開催日当日	申込金全額と最も新しい見積総額の 100% ならびに納品済物品費用、その他実費諸費用

※ 挙式—披露宴当日より起算

※ 取消料および期日変更料は税金—サービス料を除き、実費諸費用には税金を含みます

※ 「最も新しいお見積総額」とは、お客さまとホテルにて取り交わした最新の見積書における、申込金ならびに入金済み金額を含んだ総額を指します

※ 「実費」とは、既にご注文済みの印刷物などの費用およびその他外注品などの解約料を指します

※ 日程の延期につきましては、解約の場合に準じたお取消料とさせていただきます

第 6 条 装飾—余興などの手配

1. 装飾—装花—衣裳—美容着付—写真—音響—照明—余興—引出物など（企画プランニング、施工などを請け負う個人—企業を含む）については、ホテルより指定の業者に手配させていただきます。お客さまのご都合により、ホテル指定業者以外へ直接手配する場合は、挙式—披露宴を円滑に運営するため、事前にホテルの了解を得た上でご手配ください。なお、上記の場合、搬入—搬出—設置場所—方法などについてはホテルの指示に従っていただきます。なお、別途設置立ち合い料や取扱い手数料を申し受けることがございます。またエレクトリックギター、トランペット、太鼓、バンド、オーケストラの演奏などにつきましては、他会場へ影響を与えるため、使用をご遠慮いただく場合もございます。

第 7 条 損害賠償

1. お客さまの関係者あるいはお客さまが直接手配された業者はホテルの施設、什器備品などを破損、損傷させることのないよう充分ご注意ください。万一ホテルの施設、什器備品などに破損が生じた場合は、お客さまあるいはお客さまが直接手配された業者、関係者の方に、すみやかに修理していただくか、またはその修理、損害賠償金をご負担いただきます。

第 8 条 不可分債務

1. 挙式—披露宴における債務は、ご両家および新郎—新婦の不可分債務となることをご了承いただきます。

第9条 施設内における事故—盗難

1. 施設内においてお客さまの管理下で発生した事故—盗難につきましては、ホテル側は責任を負いかねますのでご了承ください。

第10条 禁止事項

1. 次に挙げる各項目は禁止事項となっておりますので、ご遠慮くださいますようお願い申し上げます。
 - (1) 大音響を発するもののお持ち込み、および使用
 - (2) 犬—猫—鳥などの動物、ペット類全般の持ち込み（ただし、法で定める介助犬は除く）
 - (3) 発火、または引火しやすい火薬や揮発性油類および危険性のある製品の持ち込み
 - (4) 強い香りまたは悪臭を発する物の持ち込み
 - (5) 法令または公序良俗に反する行為、賭博などの風紀を乱す行為およびその他のお客さまに著しく迷惑を及ぼすと認められる言動
 - (6) 暴力団とその関係者のご利用
 - (7) ホテルの備え付け品の移動
 - (8) ご予約時の使用目的以外のご利用
 - (9) その他法令で禁じられている行為

第11条 契約締結の拒否

1. 披露宴にご出席されるお客さまが、以下の項目に抵触する場合、または天災や施設の故障、その他やむを得ない事由により宴会場を使用することができない場合には、ご婚礼披露宴のお申し込みをお断りする場合がございます。この場合、ホテル側よりお申し込み者に対しての損害賠償は負いかねますので、ご了承ください。
 - (1) 法令または公序良俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき
 - (2) 他のお客さまに著しく迷惑を及ぼすと認められるとき
 - (3) 第三者による営業妨害の恐れがあるとホテル側が判断したとき
 - (4) 暴力団、暴力団員、暴力団関係企業—団体または関係者など反社会的勢力であるとき
 - (5) 暴力団、または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体であるとき
 - (6) 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者がいるとき
 - (7) 他のお客さまに影響を及ぼす恐れがあると認められたとき。あるいは、著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき
 - (8) 当ホテルもしくは当ホテル従業員に対し、暴力的要求行為を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき
 - (9) 宴会利用申出者の指定暴力団などにおける地位、宴会利用の目的—人数—態様などに照らし、他のお客さまの生命、身体、財産を害するおそれがあると認められる者がいるとき
 - (10) この「婚礼披露宴規約」および個別に結んだ契約に違反するとき

第 12 条 契約解除

- 次に挙げる項目につきましては、お客さま（以下お客さまのすべての関係者、出席者を含む）からの披露宴のお申し込みをお断りするか、既にご契約いただいている場合でも、解約させていただくことがございますのでご了承ください。なお、この場合の解約につきましては、解約に伴う損害賠償などはいたしかねますのでご了承ください。
 - (1) 披露宴に出席する者が、法令または公序良俗に反する行為をなさる恐れがあるとき
 - (2) 披露宴に出席する者が、他のお客さまに著しく迷惑を及ぼすと認められるとき
 - (3) 第三者による営業妨害の恐れがあるとホテル側が判断したとき
 - (4) 暴力団、暴力団員、暴力団関係企業一団体または関係者など反社会的勢力であるとき
 - (5) 暴力団、または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体であるとき
 - (6) 法人で、その役員に暴力団に該当する者がいるとき
 - (7) 当ホテルの他のお客さまならびに当ホテル、ホテルの従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝など、威圧的な不当要求を行う恐れがあると判断した場合、または、かつて同様の行為を当ホテル、もしくは他ホテルで行ったと認められるとき
 - (8) 天災または、施設の故障、その他止むを得ない事由により宴会場を使用することができないとき
 - (9) 披露宴に出席する者が、明らかに伝染病にかかっている場合、もしくはその他感染による罹患する恐れのある疾病にかかっているとき
 - (10) 披露宴に出席する者が、この「ご披露宴規約」に違反されたとき
 - (11) ホテルが指定する期日までに挙式—披露宴費用をお支払いいただけなかったとき

第 13 条 個人情報の取り扱い

- 当ホテルでは、お客さまから提供される個人情報について、別に定める当ホテルのプライバシーポリシーに則り、適切に取り扱いいたします。

第 14 条 規約の変更

- 本規約は、民法に定める定型約款に該当し、利用客の一般の利益に適合する場合、または、変更の必要性および相当性があると認めた場合には、民法の規定に基づいて、本規約の各条項を変更いたします。
- 本規約が変更された場合には、変更後の内容を Web サイトに掲載し、掲載の際に定める効力発生日から変更後の内容が適用されるものといたします。なお、本規約を変更する場合には、変更内容などを記載した書面または客室テレビ内インフォメーションなどを用いて適切な方法にて周知いたします。

Rules of Use

Your cooperation is greatly appreciated with regard to the following Rules of Use, which BELLUSTAR TOKYO sets for the safety and comfort of its guests, based on Article 10 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts, and Article 2 of the Terms of Use – Restaurants. Those who fail to observe the Rules of Use will be refused permission to stay at or use the hotel facilities pursuant to Article 7 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts, and Article 1 of the Terms of Use – Restaurants. Please also note that users may be responsible for damages resulting from accidents caused by the failure to observe the Rules of Use.

Article 1 Safety/Security Regulations

1. Please check the evacuation route maps placed on the inside of guestroom doors and at emergency stair spaces.
2. Please refrain from bringing heaters, cooking appliances or other equipment that may cause a fire, into the guestroom.
3. Smoking is prohibited in guestrooms. Please refrain from smoking outside designated smoking rooms or smoking areas (Chapter V, Section 2, Article 25 of the Health Promotion Act). This paragraph also applies to electronic cigarettes. Please note that if smoking is deemed to have taken place, guests may be charged for the cleaning of bedding, curtains, wallpaper, etc., as well as for repair and other costs.
4. Please do not put wet clothes or towels on lighting equipment or lamp shades to dry them. It is a fire hazard.
5. Please refrain from any other acts that may cause a fire.
6. Please make sure that your door is locked during your stay and when you leave your room (guestroom doors lock automatically).
7. Please use the internal lock and latch when you sleep. If there is a visitor, please check their identity through the peephole before opening the door. If the person looks suspicious, please contact the reception.
8. When filling the bath, please be careful not to leave the water running unattended (due to a nap or other distraction). Overflowing may cause a serious water leak.
9. Please refrain from letting non-staying visitors into your room.
10. Accommodation of unregistered guests is strictly prohibited.
11. If you arrive by car, please park in the designated parking area.
12. When using the hotel parking area, guests are responsible for the management of their own vehicle, regardless of whether or not the key has been deposited at the reception.

Article 2 Handling of Valuables and Lost Property

1. Please keep cash and valuables in the safety deposit box provided in your room during your stay.

Please note that the hotel cannot be held responsible for damages caused by the destruction, loss, damage, theft or the like, of cash or valuables if the above procedure is not followed.

2. Lost property found in the hotel will be kept for a certain period, and then handled in accordance with the Lost Property Act.

Article 3 Payments

1. The fees may be paid using currency, hotel vouchers or a credit card accepted by the hotel. However, please pay bills whenever requested by the hotel during your stay, or when using a restaurant.
2. Those wishing to change the scheduled period of stay should contact the reception staff in advance. If a stay is to be extended, please settle all the bills that are due.
3. Please present your room key (key card and case) to charge any bills from restaurants, bars or other facilities in the hotel, to your room. (You may be asked your name.) The charging of bills to your room may be refused in some cases.
4. Please note that a security deposit may be required upon arrival. Also, please pay any bills whenever requested to do so at the reception desk during your stay.
5. As a rule, the hotel cannot provide advance payments on your behalf for shopping, flight tickets, train/bus tickets, taxis, postal stamps, sending packages, etc.
6. Service charges may be added to your accommodation fee and food/drink bills. Tips to employees are not accepted.
7. External calls from your room will be charged at the hotel rate.

Article 4 Prohibited acts

The following acts are prohibited:

1. Bringing in any of the following items or engaging in acts that may disturb other guests:
 - (1) Dogs, cats, birds or other animals/pets in general (except for service dogs as defined by law)
 - (2) Combustible or flammable gunpowder, volatile oils or other hazardous materials
 - (3) Items that emit a foul or strong odor
 - (4) Unlicensed guns or swords
 - (5) Excessively large amounts of luggage or other items
 - (6) Other items the possession of which is prohibited by law
 - (7) Other acts that are prohibited by law
2. Gambling, disorderly conduct or other acts that may disturb or offend other guests
3. Hanging items that may spoil the appearance of the hotel, or displaying such items by the windows of a guestroom or a restaurant
4. Sales activities in guestrooms, the lobby or other parts of the hotel. without the hotel's permission
5. Distribution of advertisement/promotion materials or sales of goods without the hotel's

permission

6. Use of hotel facilities and equipment in places and for purposes other than those designated by the hotel, or use that may seriously damage their present condition
7. Presentation of photos and/or videos taken in the hotel for commercial purposes, without permission
8. Leaving personal belongings in the hallways and/or lobby
9. Use of the hallways, lobby, restaurants, bars and other commercial facilities while dressed in nightwear, yukata, pajamas, slippers or the like
10. Access to staff areas, emergency stairs, rooftop, penthouse, machine room and other facilities, except in emergencies or other unavoidable circumstances
11. Ordering food/drink deliveries from outside of the hotel (except from restaurants and the like that are affiliated with the hotel)
12. In case of damage, contamination or loss with regard to the hotel structure, furniture, equipment or other items, guests may be required to recompense actual expenses incurred.

Article 5 Termination of the Hotel Use Contract

Use of the premises/facilities will be refused in any of the following cases.

If the fact becomes known after a reservation/contract has been entered into, the reservation/contract will be terminated immediately. However, this article does not mean that the hotel can refuse use in cases other than those provided under Article 5 of the Hotel Business Act.

(1) If the user is a patient with a specific infectious disease defined in Article 4.2, Paragraph 1, No. 2 of the Hotel Business Act

(2) If any of the following applies to a user:

- a. An organized crime group specified in Article 2.2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (1991 Act No. 77) (hereafter referred to as “organized crime group”), a member of an organized crime group specified in Article 2.6 of the Act (hereafter referred to as “member of an organized crime group”), a person related to a company/organization affiliated with an organized crime group or any other antisocial force
- b. A corporation or any other group whose business activities are controlled by an organized crime group or a member of an organized crime group
- c. A corporation with an officer or officers who belong to an organized crime group or any other antisocial force

(3) Anyone making intimidating or violent demands, or those imposing burden beyond a reasonable extent concerning accommodation (except when the guest demands the removal of a social barrier in accordance with Article 7.2 or 8.2 of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities), or:

(4) Those who repeatedly make a demand specified under Article 5.6 of the Ordinance for Enforcement of the Hotel Business Act, which requires an excessive burden for its implementation and may seriously hinder the provision of the hotel’s accommodation-related

services to other guests or, those deemed to have made such a demand to this hotel or any other hotel in the past

Article 6 Ecological Activities

1. To protect resources, please cooperate in saving electricity and water.

Article 7 Personal Information

1. The hotel handles personal information provided by guests appropriately in accordance with the hotel's privacy policy.

Article 8 Amendment of the Rules of Use

1. The Rules of Use fall under the Standard Terms of Contract provided in the Civil Code. Provisions of the Rules will be amended in accordance with the Civil Code, if such amendment conforms to the general interest of the guests or is considered necessary or appropriate.
2. If the Rules of Use are amended, the amended content will be posted on the hotel's website and shall apply from the date of effect designated upon posting. Any amendment to the Rules of Use will be announced in writing, on guestroom TVs or by other appropriate means.

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Article 1 Scope of Application

1. The accommodation contract and related contracts concluded between the hotel and guests shall be in accordance with these Terms and Conditions for Accommodation Contracts, and any matters not stipulated herein shall be in accordance with laws and regulations or generally accepted practices.
2. Notwithstanding the preceding paragraph, if the hotel has entered into a special contract with the guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, the special contract shall prevail.

Article 2 Application for an Accommodation Contract

1. Those who wish to apply for an Accommodation Contract with the hotel shall provide the hotel with the following information:
 - (1) Name(s) and number of guests
 - (2) Dates of stay and scheduled time of arrival
 - (3) Hotel fee (in accordance with Note 1, in principle)
 - (4)
 - a. Name and contact information of the applicant
 - b. Name and contact information of the person paying for the accommodation
 - (5) Previous/next place of stay
 - (6) Other matters deemed necessary by the hotel
2. If, during a stay, a guest requests to extend the stay beyond the dates stipulated in Paragraph 1, No. 2, of this article, the hotel shall handle the request as an application for a new accommodation contract, made at the time of such request.

Article 3 Conclusion of an Accommodation Contract, and the like

1. The Accommodation Contract shall be deemed to have become effective when the hotel accepts the application under the preceding article. However, this shall not apply if the hotel can prove that it did not accept the application.
2. When a contract is concluded according to the preceding paragraph, a security deposit and application fee set forth by the hotel, not exceeding the hotel fee for the period of stay, shall be paid by the date designated by the hotel. This shall not apply if otherwise provided by the plan chosen by the guest.
3. The security deposit and application fee shall first be applied to the final payment of the accommodation and hotel usage fees payable, and when circumstances requiring the application of the provisions of Articles 6 and 20 hereof have arisen, to penalties and then to reparations.

- The remainder, if any, will be refunded at the time of payment as provided in Article 14 hereof.
4. Failure to pay the security deposit and application fee stipulated in Paragraph 2 of this article by the date designated by the hotel in accordance with the same paragraph, the accommodation contract shall become invalid. However, this shall only apply when the hotel has notified the guest of such a designated date for the payment of the security deposit and application fee.

Article 4 Request for Cooperation in Infection Prevention Measures at the Facility

1. The hotel may request those seeking accommodation to cooperate in accordance with Article 4.2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (1948 Law No. 138).

Article 5 Special Contract Not Requiring the Payment of the Security Deposit and Application Fee

1. Notwithstanding the provision of Paragraph 2 of Article 3, the hotel may enter into a special contract not requiring the payment of the security deposit and application fee referred to in the same paragraph after the conclusion of the contract.
2. If the hotel does not require the payment of the security deposit and application fee referred to in Paragraph 2 of Article 3, or if it does not designate the date such payments are due upon acceptance of the application for an accommodation contract, the application shall be handled as if the hotel has accepted the special contract in the previous paragraph.

Article 6 Rejection of the Conclusion of an Accommodation Contract

1. In any of the following cases, the hotel reserves the right to reject the conclusion of an accommodation contract.
 - (1) If the application for accommodation does not comply with the Terms and Conditions for Accommodation Contracts.
 - (2) If there are no guestrooms available due to being fully booked.
 - (3) If the person seeking accommodation is deemed likely to act contrary to provisions of the law or violate public order or good morals with regard to the accommodation.
 - (4) If the person seeking accommodation is a patient with a specific infectious disease defined in Article 4.2, Paragraph 1, No. 2 of the Hotel Business Act (“Patients, etc. with a Specific Infectious Disease”).
 - (5) If the person seeking accommodation is an organized crime group specified in Article 2.2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (1991 Act No. 77) (“organized crime group”), a member of an organized crime group specified in Article 2.6 of the Act (“member of an organized crime group”), a person related to a company/organization affiliated with an organized crime group or any other antisocial force.
 - (6) If the person seeking accommodation is a from a corporation or any other group whose business activities are controlled by an organized crime group or a member of an organized crime group.

- (7) If the person seeking accommodation is from a corporation with an officer or officers who belong to an organized crime group or any other antisocial force.
- (8) If the person seeking accommodation makes an intimidating or violent demand or imposes a burden beyond a reasonable extent against persons with disabilities (2016 Law No. 65, “Disability Discrimination Act”) concerning accommodation (except when the guest demands the removal of a social barrier in accordance with Article 7.2 or 8.2 of the Act for Eliminating Discrimination)
- (9) If the person seeking accommodation repeatedly makes a demand specified under Article 5.6 of the Ordinance for Enforcement of the Hotel Business Act, which requires an excessive burden for its implementation and may seriously hinder the provision of the hotel’s accommodation-related services to other guests.
- (10) If accommodation is not available due to natural disaster, facility breakdown or other unavoidable reasons.
- (11) If the person seeking accommodations is likely to cause serious disturbance to other guests due to drunkenness or other reasons, or uses language or conduct that is seriously disturbing to other guests (in accordance with the ordinance of the prefecture [city or special district if it has a public health center]).

Article 7 Explanation on the Refusal to Conclude an Accommodation Contract

1. If the hotel refuses to conclude an accommodation contract in accordance with the preceding article, the person seeking accommodation may request from the hotel an explanation on the reason for such refusal.

Article 8 The Guest’s Right to Cancel the Contract

1. The guest may cancel the accommodation contract by notifying the hotel.
2. If the guest cancels the accommodation contract in whole or in part due to a reason attributable to the guest (except when the hotel requests the payment of the security deposit and application fee in accordance with Article 3, Paragraph 2, hereof by the designated due date and the guest cancels the accommodation contract before the payment), a penalty shall apply according to Note 2. However, if the hotel has entered into a special contract under Article 5, Paragraph 1, hereof, this shall only apply if the hotel has notified the guest about the penalty payment obligation upon cancellation of the accommodation contract.
3. If a guest with a reservation made without a registered credit card has not arrived by 6:00 p.m. on the day of accommodation and failed to give prior notice, the hotel may deem that the guest has cancelled the accommodation contract.

Article 9 The Hotel's Right to Cancel the Contract

1. The hotel may cancel the accommodation contract in any of the following cases:
 - (1) If the guest is deemed likely to conduct or has conducted any act that may violate laws or be against public order or good morals with regard to accommodation.
 - (2) If the guest is obviously a patient with a disease that is contagious or has a disease that may be contracted by infection, or refuses to comply with the request for cooperation in infection prevention measures without good reason, regardless of the presence or absence of symptoms.
 - (3) If accommodation is not available due to natural disaster, facility breakdown or other unavoidable reasons.
 - (4) If the guest is likely to affect other guests due to drunkenness or other reasons, or uses language or conduct that is seriously disturbing to other guests.
 - (5) If the guest fails to comply with the prohibitions in the Rules on Use set forth by the hotel.
 - (6) If the guest smokes in areas other than the designated smoking room or smoking area.
 - (7) If the guest fails to comply with the prohibitions (only those necessary for fire prevention) in Rules on Use set forth by the hotel, by smoking in bed, tampering with fire-fighting equipment or other acts.
 - (8) If the guest is from an organized crime group, a member of an organized crime group, a person related to a company/organization affiliated with an organized crime group or any other antisocial force.
 - (9) If the guest seeking accommodation is a corporation or any other group whose business activities are controlled by an organized crime group or a member of an organized crime group.
 - (10) If the guest is from a corporation with an officer or officers who belong to an organized crime group or any other antisocial force.
 - (11) If the guest makes an intimidating or undue demand, including violence, threat or blackmail, or imposes a burden beyond a reasonable extent to the hotel or hotel workers, or the guest is found to have conducted similar acts at this hotel or any other hotel.
 - (12) If the guest repeatedly makes a demand specified under Article 5.6 of the Ordinance for Enforcement of the Hotel Business Act, which requires an excessive burden for its implementation and may seriously hinder the provision of the hotel's accommodation-related services to other guests.
2. If the hotel cancels the accommodation contract pursuant to the preceding paragraph, it will not charge for accommodation and other services that have not yet been provided to the guest.

Article 10 Registration of Accommodation

1. The guest shall register the following matters at the hotel reception on the day of accommodation:
 - (1) Name, age, sex and address of the guest
 - (2) Nationality, passport number, port and date of entry (a copy or a scanned image of the

passport) and previous/next place of stay in case of a non-Japanese guest without an address in Japan

(3) Date and scheduled time of departure

(4) Other matters deemed necessary by the hotel

2. If the guest is to pay the fees under Article 14 hereof using hotel vouchers, credit card or other means other than currency, such credentials shall be presented at the time of registration in the preceding paragraph.

Article 11 Hours of Use of the Guestroom

1. The guest is allowed to use the guestroom between 3:00 p.m. on the day of arrival and noon of the following day, in principle (except for accommodation plans with limited check-in/check-out hours). However, if staying for more than one night in succession, the guest may use the guestroom all day, except on the days of arrival and departure.

2. Notwithstanding the preceding paragraph, the hotel may allow use of the guestroom in hours other than those specified in the previous paragraph. In this case, the following additional charges shall apply:

(1) Extension between noon and 3:00 p.m. on the day of check-out—30% of the room rate

(2) Extension between 3:00 and 6:00 p.m. on the day of check-out—50% of the room rate

(3) Extension between 6:00 p.m. on the day of check-out and noon on the following day—100% of the room rate

Article 12 Observance of the Rules of Use

1. During the stay in the hotel, the guest shall observe the Rules of Use set forth separately by the hotel.

Article 13 Hours

1. The business hours of facilities in the hotel are displayed in detail at the respective facilities.

2. The hours in the preceding paragraph are subject to change when necessary or in unavoidable circumstances. Such changes will be notified by appropriate means.

Article 14 Payment of Fees

1. The breakdown of accommodation fees and the like, payable by the guest shall be as listed in Note 1.

2. The payment of accommodation fees and the like, described in the preceding paragraph, shall be paid at the reception using currency or hotel vouchers, credit card or other alternative means acceptable to the hotel, at the time of departure or when billed by the hotel.

3. The accommodation fees shall apply even if the hotel provides and makes available a room to the guest, but the guest decides not to stay.

Article 15 Responsibilities of the Hotel

1. If the hotel causes any damage to the guest in the course of performance or non-performance of the accommodation agreement and related contracts, the hotel shall compensate for such damage. However, this shall not apply to damages not attributable to the hotel.

Article 16 Handling of Unavailability of the Contracted Room

1. If it is impossible to provide the contracted room to the guest, the hotel shall find an alternative accommodation facility as similar as possible, with the consent of the guest.
2. Notwithstanding the preceding paragraph, if the hotel is unable to find an alternative accommodation facility, it shall pay compensation equivalent to a penalty charge to the guest to cover the amount of damages. However, no compensation shall be paid if the unavailability of the room is not attributable to the hotel.

Article 17 Handling of Deposited Articles

1. In case of loss, destruction or other damage of any article deposited by the guest at the reception, the hotel will compensate for such damage, except in cases of force majeure. However, if the guest fails to respond to the hotel's request to declare the type and value of cash and valuables, the hotel shall compensate up to a maximum of 150,000 yen.
2. With regard to items or cash and valuables brought into the hotel by the guest but not deposited with the reception, the hotel cannot be held responsible for loss, destruction or other damage unless it is due to the intent or negligence of the hotel. However, if the guest did not declare the type and value in advance and the damage is attributable to the hotel, the hotel shall compensate up to a maximum of 150,000 yen.

Article 18 Custody of Baggage or Personal Belongings of the Guest

1. If the guest's baggage arrives at the hotel before the guest, the hotel shall keep it in safe custody only if the hotel is aware of the arrival in advance. The baggage will be handed to the guest at the reception at the time of check-in or delivered to the guestroom.
2. If there is baggage or any personal belongings left behind after the guest checks out and there are no instructions from the owner or the owner is unknown, they shall be handled in accordance with the Lost Property Act.
3. The hotel's responsibility for keeping the guest's baggage or personal belongings in safe custody in the event of Paragraph 2 of this article, shall be in accordance with Paragraph 1 of the

preceding article in case of Paragraph 1 of this article, and with Paragraph 2 of the preceding article in case of Paragraph 2 of this article.

4. Articles that have been found shall be kept in safe custody for a certain period and then handled in accordance with the Lost Property Act.

Article 19 Responsibility for Parking

1. When a hotel guest uses the underground parking of the Tokyu Kabukicho Tower, the hotel takes no responsibility for management of the guest's car, regardless of whether or not the car key has been deposited with the hotel. However, if any damage is caused by intent or negligence of the hotel during the management of the parking lot, the hotel shall be liable for such damage.

Article 20 Responsibility of the Guest

1. If the hotel incurs any damage due to intent or negligence of the guest, the guest shall compensate the hotel for such damage.

Article 21 Handling of Personal Information

1. The hotel shall handle personal information provided by the guest appropriately in accordance with the separately provided hotel privacy policy.

Article 22 Disclaimer

1. Use of computer communications from the hotel shall be at the guest's own risk. The hotel cannot be held responsible for any damage incurred by the guest as a result of service interruption due to system failure or other reasons during the use of computer communications, except in the case of the hotel's gross negligence or willful misconduct. If there is any act during the use of computer communications that is deemed inappropriate by the hotel, and that causes damage to the hotel or a third party, such damage shall be compensated for by the guest.

Article 23 Amendment of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts

1. The Terms and Conditions for Accommodation Contracts fall under the Standard Terms of Contract provided in the Civil Code. Provisions of the Terms and Conditions will be amended in accordance with the Civil Code, if such amendment conforms to the general interest of the guests or is considered necessary or appropriate.
2. If the Terms and Conditions are amended, the amended content will be posted on the hotel's website and will apply from the date of effect designated upon posting. Any amendment to the

Terms and Conditions will be announced in writing, on guestroom TVs or by other appropriate means.

Note 1

Breakdown of Accommodation Fees, etc. (related to Article 2, Paragraph 1, and Article 14, Paragraph 1)

The total amount payable by the guest shall be the total of the following:

Accommodation fee Room rate + service charge

- Additional fees: food and drink and other use charges (including fees and service charges)
- Taxes

* When tax regulations are revised, the revised regulations shall apply.

Note 2

Penalties (related to Article 9, Paragraph 2)

Penalties are applied depending on the date of contract cancellation notice and the number of applicants:

- General
 - No-show: 100%
 - On the day: 100%
 - 1 day before: 100% (3:00 p.m. or later)
- Group (10 or more rooms)
 - No-show: 100%
 - On the day: 100%
 - 1 day before: 100%
 - 7 days before: 80%
 - 30 days before: 50%
 - 60 days before: 30%
 - 90 days before: 20%
- Group (31 rooms or more)
 - No-show: 100%
 - On the day: 100%
 - 14 days before: 100%
 - 30 days before: 80%
 - 60 days before: 50%
 - 90 days before: 30%

* The percentage represents the ratio of penalty to the accommodation fee at the time of reservation.
(The service charge and consumption tax are not included.)

* When there are separate penalty rates (e.g., with an accommodation package), penalties shall be

charged in accordance with the cancellation policy of the package.

* When the number of days of stay is reduced, a penalty for one day (first day) shall be charged regardless of the number of days reduced.

* For cancellation of an application through a travel agent, the cancellation policy of the travel agent shall apply.

Terms of Use - Restaurants

BELLUSTAR TOKYO's restaurants set the following Terms of Use to ensure satisfaction of its customers. Thank you for your understanding.

Article 1 Refusal of Use and Cancellation of Reservations/Contracts

In any of the following cases, please refrain from using a restaurant (including reservation and contract for use). If the fact becomes known after a reservation/contract has been made, the reservation/contract shall be cancelled immediately.

1. If customers include a person to which any of the following applies:
 - (1) An organized crime group, a member of an organized crime group, a person related to a company/organization affiliated with an organized crime group or any other antisocial force
 - (2) A corporation or any other group whose business activities are controlled by an organized crime group or a member of an organized crime group.
 - (3) A corporation with an officer or officers who belong to an organized crime group or any other antisocial force
2. If the customer makes an intimidating or undue demand, including violence, threat or blackmail, or imposes a burden beyond a reasonable extent to a restaurant or its workers, or the customer is found to have conducted similar acts at the restaurant or any other restaurant.
3. If the customer uses language or conduct that is seriously disturbing to other customers.
4. If the customer is obviously a patient with a disease that is contagious or has a disease that may be contracted by infection.
5. If the details of a reservation/contract (purpose of use) differ from those at the time of application and are obviously false.
6. If the customer does not abide by the dress code set by each restaurant (please observe a smart casual dress code).

Article 2 Observance of the Rules of Use

1. Customers of the restaurants shall be deemed to have agreed to the separately provided Rules of Use of BELLUSTAR TOKYO.

Article 3 Prohibitions

1. Please refrain from the following acts:
 - (1) Bringing in dogs, cats, birds or other animals/pets in general (except for service dogs as defined by law)
 - (2) Bringing in combustible or flammable gunpowder, volatile oils or other hazardous materials
 - (3) Bringing in items that emit a foul or strong odor

- (4) Bringing in food/drink or items from another shop/restaurant without permission
- (5) Any act that may violate laws, be against public order or good morals, or disturb or offend other customers
- (6) Bringing in food other than takeouts sold in the hotel
- (7) Use of a mobile phone in a restaurant, except in vibrate or silent mode
- (8) Moving tables, chairs or other equipment without permission
- (9) Other acts prohibited by law

Article 4 Hours

1. The main restaurants of the hotel are as follows. The hours of restaurants and other facilities are displayed in detail on the hotel’s website and at respective facilities.

Restaurant Bellustar	45F
Bar Bellustar	45F
Teppan “Ten Yu”	45F
Sushi “Jin- È”	45F

2. The hours in the preceding paragraph are subject to change when necessary or in unavoidable circumstances.

Article 5 Cancellation Policy

1. When a reservation is cancelled, a cancellation fee will be charged according to the price of food and private room charge, in principle.

5 days before	30%
3 to 1 day before	50%
On the day	100%

2. If specific food has not been ordered, the fee will be the same amount as the lowest-price course on the menu of the said restaurant at the time of reservation, multiplied by the number of customers.

3. This shall not apply to cancellations due to a natural disaster or other unavoidable reasons.

Article 6 Disclaimer

1. Restaurants cannot be held responsible for takeout items sold at the hotel that have passed their expiry date after purchase.

2. Menus are subject to change depending on availability of ingredients.

3. Please notify the restaurant in advance if you have any allergies. Please note that restaurants cannot be held responsible if such notice has not been given.

Article 7 Compensation for Damages

1. Please take care not to break or damage facilities, furniture, fixtures or other items in restaurants, due to negligence.
2. Please note that, if a facility, furniture, fixtures or other items are broken or damaged intentionally, customers may be required to compensate for the amount of damage caused.

Article 8 Confirmation of the Number of Customers

1. If you have a reservation, please contact the restaurant staff to confirm the number of customers, by the morning of the day before the reservation date.

Article 9 Amendment of the Terms of Use

1. The Terms of Use fall under the Standard Terms of Contract provided in the Civil Code. Provisions of the Terms of Use will be amended in accordance with the Civil Code, if such amendment conforms to the general interest of the customers or is considered necessary or appropriate.
2. If the Terms of Use are amended, the amended content will be posted on the hotel's website and will apply from the date of effect designated upon posting. Any amendment to the Terms of Use will be announced in writing, on guestroom TVs or by other appropriate means.

Terms of Use - Banquets

BELLUSTAR TOKYO sets the following Terms of Use to ensure smooth operation of banquets. Thank you for your understanding.

Article 1 Application

1. There is a provisional reservation period after the application for use of a banquet room. The provisional reservation period is one week (7 days) after the application, in principle. Please notify the hotel if the banquet will be held or not during this period. If you fail to notify the hotel of such decision during the provisional reservation period, it will be deemed that the banquet will not be held.
2. The reservation shall be confirmed after the notice of the decision, upon delivery of the confirmation form or payment of the application fee. The sum of the application fee will be presented by the hotel based on the content of the banquet.

Article 2 Deposit

1. Please pay the sum presented by the hotel as the deposit no later than 7 days prior to the day of the banquet. If the payment is not made by the due date, the reservation may be cancelled.

Article 3 Final Confirmation

1. Please notify the hotel whenever there is a change in the estimated number of attendees or meals. Changes can be made until noon two days before the day of the banquet. A reduction of up to 10% of the final estimated number of attendees or meals will be accepted. This notice from the applicant shall be deemed the final confirmation. If there is no notice, the estimated numbers will be deemed final.

Article 4 Duration of the Banquet

1. A predetermined room rate shall be charged for the contract hours (banquet hours) from the start to the end of use of the banquet hall, and if the banquet hours are exceeded, an additional room rate shall apply. However, extension of hours may not be possible due to the next use of the banquet hall.

Article 5 Payment

1. Please pay the payment amount finalized after the end of the banquet by the due date

confirmed by the hotel in advance. If the deposit amount is in excess of the payment amount, the hotel will refund the difference.

Article 6 Arrangements for Decoration, Entertainment, etc.

1. As a rule, the hotel shall arrange with its designated service providers for decorations, flower arrangements, music, entertainment, sound, lighting, party hostesses and other services related to the banquet.
2. For smooth operation of the banquet, please inform the hotel in advance about services of providers arranged by the applicant him/herself with consent of the hotel. Please refrain from arranging service providers without prior consent of the hotel. Service providers arranged by the applicant shall obey the instructions of the hotel.

Article 7 Compensation for Damages

1. If the hotel incurs any damage (e.g., breakage, damage, contamination, etc. of hotel facilities, furniture, fixtures and the like) due to the intent or negligence of the applicant (including all people related to the applicant, host and attendees of the banquet) or a service provider arranged by the applicant, the applicant shall compensate for the damage.

Article 8 Accidents/Losses/Thefts in the Facility

1. Please note that the hotel cannot be held responsible for any accident, loss or theft that occurs in the facility under the supervision of the customer.

Article 9 Refusal to Conclude a Contract

1. The application for the banquet may be refused if any attendee falls under any of the following, or the banquet hall cannot be used due to natural disaster, facility breakdown or other unavoidable reasons. In this case, please note that the hotel is not liable for compensation for damage associated with the refusal to conclude a contract.
 - (1) If an attendee is deemed likely to conduct an act that may violate laws or be against public order or good morals
 - (2) If an attendee is deemed likely to cause serious disturbance to other attendees or uses language or conduct that is seriously disturbing to others
 - (3) If the hotel determines that there is risk of interference of business by a third party.
 - (4) If an attendee is found to be an organized crime group, a member of an organized crime group, a person related to a company/organization affiliated with an organized crime group or any other antisocial force.
 - (5) If an attendee is a corporation or any other group whose business activities are controlled by

- an organized crime Group or a member of an organized crime group.
- (6) If an attendee is a corporation with an officer or officers who belong to an organized crime group or any other antisocial force.
 - (7) If an attendee makes an intimidating or undue demand, including violence, threat and blackmail, or imposes a burden beyond a reasonable extent to the hotel or its workers, or the attendee is found to have conducted similar acts at this hotel or any other hotel.
 - (8) If an attendee violates this Terms of Use – Banquets or other individually concluded contracts.

Article 10 Cancellation of Contracts

1. Please note that, if an attendee falls under or violates any of the following, the hotel may refuse the use of the banquet hall or cancel the contract that has already been concluded. Please also note that the hotel cannot be held responsible for any compensation for damages arising from the cancellation in this case.
 - (1) If an attendee of the banquet is deemed likely to conduct an act that may violate laws or be against public order or good morals.
 - (2) If there is possibility of disturbance to other customers.
 - (3) If the hotel determines that there is risk of interference of business by a third party.
 - (4) If the banquet hall cannot be used due to natural disaster, facility breakdown or other unavoidable reasons.
 - (5) If an attendee of the banquet is found be an organized crime group, a member of an organized crime group, a person related to a company/organization affiliated with an organized crime group or any other antisocial force.
 - (6) If an attendee of the banquet is a corporation or any other group whose business activities are controlled by an organized crime group or a member of an organized crime group.
 - (7) If an attendee of the banquet is a corporation with an officer or officers who belong to an organized crime group or any other antisocial force.
 - (8) If an attendee of the banquet makes an intimidating or undue demand, including violence, threat and blackmail, or imposes a burden beyond a reasonable extent to the hotel or its workers, or the attendee is found to have conducted similar acts at this hotel or any other hotel.
 - (9) If an attendee of the banquet is obviously a patient with a disease that is contagious or has a disease that may be contracted by infection.
 - (10) If the details of the banquet (purpose of use) are different from those at the time of application and are obviously false.
 - (11) Other cases where the Terms of Use – Banquets and individually concluded contracts are violated

Article 11 Prohibitions

1. Please refrain from the following prohibited acts:

- (1) Bringing in dogs, cats, birds or other animals/pets in general (except for service dogs as defined by law)
- (2) Bringing in combustible or flammable gunpowder, volatile oils or other hazardous materials
- (3) Bringing in items that emit a foul or strong odor
- (4) Any act that may violate laws, be against public order or good morals, or disturb or offend other customers
- (5) Moving hotel equipment without permission
- (6) Use of facilities for purposes other than the intended use
- (7) Other acts prohibited by law

Article 12 Cancellation Fees/Changes of the Dates

1. If a reservation is cancelled or the date is changed after confirmation of the application, the following cancellation and alteration fees apply according to the number of days before the scheduled date of the banquet:

Date of confirmation to 121 days before the banquet:

10% of the latest total estimated amount + actual cost

120 to 90 days before: 20% of the latest total estimate + actual cost

89 to 30 days before: 30% of the latest total estimate + actual cost

29 to 8 days before: 50% of the latest total estimate + actual cost

7 days to 1 day before 80% of the latest total estimate + actual cost

On the day 100% of the latest total estimate + actual cost

* "The latest estimate" is defined as the total of the application fee and the amount already paid, as stated in the latest quotation exchanged between the customer and hotel.

"Actual expenses" include the costs of printing and other items that have already been ordered and the cancellation fees for outsourced and other items.

* In the case of postponements, cancellation fees shall apply as in the case of a cancellation.

Article 13 Handling of Personal Information

The hotel shall handle personal information provided by the guest appropriately in accordance with the separately provided hotel privacy policy.

Article 14 Amendment of the Terms of Use

1. The Terms of Use fall under the Standard Terms of Contract provided in the Civil Code. Provisions of the Terms of Use will be amended in accordance with the Civil Code, if such amendment conforms to the general interest of the guests or is considered necessary or appropriate.

2. If the Terms of Use are amended, the amended content will be posted on the hotel's website and will apply from the date of effect designated upon posting. Any amendment to the Terms of Use will be announced in writing, on guestroom TVs or by other appropriate means.

Terms of Use – Wedding Receptions

BELLUSTAR TOKYO sets the following Terms of Use to ensure smooth operation of wedding receptions. Thank you for your understanding.

Article 1 Finalization of the Contract

1. To make a reservation for a wedding ceremony/reception, please fill in and sign the application form and pay the application fee, which will be used as a part of the cost to hold the ceremony/reception. The contract will be finalized upon payment of the application fee of 100,000 yen.

Article 2 Hours of the Reception and Additional Room Rate

1. The banquet room and other facilities can be used within the predetermined hours. In case of an extension for reasons attributable to the customer, a prescribed additional fee and other costs related to the extension may be charged. However, extension of hours may not be possible due to the next use of the banquet hall.

Article 3 Payment

1. Please pay the following amounts to cover the estimate presented by the hotel either by bank transfer or in cash. If payments are not made by the due dates, the contract will become invalid. In this case, a cancellation fee stipulated under Article 5 shall apply. If there is any surplus or shortage, it will be adjusted within 30 days from the date of the reception.
By 1 month before the date of the reception: 50% of the estimate
By 7 days before the date of the reception: 100% of the estimate

Article 4 Change of the Number of Guests after Confirmation

1. Even if the number of guests attending or items used for the reception is smaller the number that was finalized on the date designated by the hotel, the hotel will charge for the finalized guests/items.

Article 5 Cancellation Fees and Change of Date

1. For cancellations or changes of the dates of an already contracted wedding ceremony/reception, the following cancellation and alteration fees will be charged.

Date of contract to 181 days before	50% of the application fee
180 to 121 days before	Full amount of the application fee + actual expenses

120 to 91 days before	Full amount of the application fee + 20% of the latest estimate + actual expenses
90 to 31 days before	Full amount of the application fee + 30% of the latest estimate + actual expenses
30 to 11 days before	Full amount of the application fee + 45% of the latest estimate + actual expenses
10 to 1 day before	Full amount of the application fee + 45% of the latest estimate + costs of items that have already been delivered and other actual expenses
On the day	Full amount of the application fee + 100% of the latest estimate + costs of items that have already been delivered and other actual expenses

- * Calculated from the day of the wedding ceremony/reception
- * The cancellation and alteration fees do not include tax/service charges, but actual expenses include tax.
- * “The latest estimate” is defined as the total of the application fee and the amount already paid, as stated in the latest quotation exchanged between the customer and hotel.
- * “Actual expenses” include the costs of printing and other items that have already been ordered and the cancellation fees for outsourced and other items.
- * In the case of postponements, cancellation fees shall apply as in the case of a cancellation.

Article 6 Arrangements for Decoration, Entertainment, etc.

1. The hotel shall arrange with its designated service providers for decorations, flower arrangements, hair/makeup/dressing, sound, lighting, entertainment, guest souvenirs and other services (including individuals/companies that undertake planning, installation, etc.). For smooth operation of the wedding ceremony/reception, please obtain the consent of the hotel in advance if you are directly arranging with service providers other than those designated by the hotel. In such cases, please follow the instructions of the hotel concerning carrying in/out, installation locations and methods. Furthermore, separate installation supervision and handling fees may apply. Applicants may be requested to refrain from using electric guitars, trumpets, drums, bands or orchestral performances as these may impact on other venues in the hotel.

Article 7 Compensation for Damages

1. Service providers arranged directly by the customer and other related persons must take special care not to break or damage facilities, furniture, fixtures or other items of the hotel. In the event of any facility, furniture, fixture or other item of the hotel being damaged, the customer or the

service provider arranged directly by the customer must repair such damage immediately or pay for the repair of the damage.

Article 8 Indivisible Obligations

1. Please note that obligations pertaining to wedding ceremonies and receptions are indivisible among the bride, groom and their families.

Article 9 Accidents/Thefts in the Facility

1. Please note that the hotel cannot be held responsible for any accidents or thefts that occur in the facility under the supervision of the customer.

Article 10 Prohibitions

1. Please refrain from the following prohibited acts:
 - (1) Bringing in items that emit a loud sound
 - (2) Bringing in dogs, cats, birds or other animals/pets in general (except for service dogs as defined by law)
 - (3) Bringing in combustible or flammable gunpowder, volatile oils or other hazardous materials
 - (4) Bringing in items that emit a foul or strong odor
 - (5) Any act that may violate laws, be against public morals (e.g., gambling), or seriously disturb other customers
 - (6) Use by an organized crime group or related persons
 - (7) Moving hotel equipment
 - (8) Use of facilities for purposes other than the intended use at the time of reservation
 - (9) Other acts prohibited by law

Article 11 Refusal to Conclude a Contract

1. The application for the wedding ceremony/reception may be refused if any attendee of the reception falls under any of the following, or the banquet hall cannot be used due to natural disaster, facility breakdown or other unavoidable reasons. In this case, please note that the hotel is not liable for compensation for damage incurred by the applicant.
 - (1) If an attendee is deemed likely to conduct an act that may violate laws or be against public order or good morals
 - (2) If an attendee is deemed likely to cause serious disturbance to other guests
 - (3) If the hotel determines that there is risk of interference of business by a third party.
 - (4) If an attendee is found to be an organized crime group, a member of an organized crime group, a person related to a company/organization affiliated with an organized crime group or any

other antisocial force.

- (5) If an attendee is a corporation or any other group whose business activities are controlled by an organized crime group or a member of an organized crime group.
- (6) If an attendee is a corporation with an officer or officers who belong to an organized crime group or any other antisocial force.
- (7) If an attendee is likely to affect other guests or has used language or conduct that is seriously disturbing to other guests.
- (8) If an attendee makes an intimidating or undue demand, including violence, threat and blackmail, or imposes a burden beyond a reasonable extent to the hotel or its workers.
- (9) If an attendee is deemed likely to harm the lives, physical safety or assets of other guests, based on the review of the position of the applicant in a designated organized crime group, the purpose of use, number of attendees, type of banquet and other matters.
- (10) If an attendee violates this Terms of Use – Wedding Ceremonies/Receptions or other individually concluded contracts.

Article 12 Cancellation of Contracts

1. Please note that, if a customer (including all related people and attendees) falls under or violates any of the following, the hotel may refuse the application for the reception or cancel the contract that has already been concluded. Please also note that the hotel cannot be held responsible for compensation for damages arising from the cancellation in such case.
 - (1) If an attendee of the reception is deemed likely to conduct an act that may violate laws or be against public order or good morals.
 - (2) If an attendee of the reception is deemed likely to seriously disturb other guests.
 - (3) If the hotel determines that there is risk of interference of business by a third party.

 - (4) If an attendee is an organized crime group, a member of an organized crime group, a person related to a company/organization affiliated with an organized crime group or any other antisocial force.
 - (5) If an attendee is a corporation or any other group whose business activities are controlled by an organized crime group or a member of an organized crime group.
 - (6) If an attendee is a corporation with an officer or officers who belong to an organized crime group or any other antisocial force.
 - (7) If an attendee makes an intimidating or undue demand, including violence, threat and blackmail, or imposes a burden beyond a reasonable extent to the hotel or its workers, or the attendee is found to have conducted similar acts at this hotel or any other hotel.
 - (8) If the banquet hall cannot be used due to natural disaster, facility breakdown or other unavoidable reasons.
 - (9) If an attendee of the reception is obviously a patient with a disease that is contagious or has a disease that may be contracted by infection.

(10) If an attendee violates the Terms of Use – Wedding Receptions

(11) If the fees for the wedding ceremony/reception have not been paid by the due date designated by the hotel.

Article 13 Handling of Personal Information

1. The hotel shall handle personal information provided by the guest appropriately in accordance with the separately provided hotel privacy policy.

Article 14 Amendment of the Terms of Use

1. The Terms of Use fall under the Standard Terms of Contract provided in the Civil Code. Provisions of the Terms of Use will be amended in accordance with the Civil Code, if such amendment conforms to the general interest of the guests or is considered necessary or appropriate.

2. If the Terms of Use are amended, the amended content will be posted on the hotel's website and will apply from the date of effect designated upon posting. Any amendment to the Terms of Use will be announced in writing, on guestroom TVs or by other appropriate means.

BELLUSTAR TOKYO 이용 규칙

BELLUSTAR TOKYO 에서는 고객이 안전하고 쾌적하게 체류할 수 있도록 숙박 약관 제 10 조 및 레스토랑 이용 규약 제 2 조에 근거하여 다음과 같이 이용 규칙을 정하고 있으므로 협조하여 주시기 바랍니다. 이 이용 규칙을 준수하지 않는 경우 숙박 약관 제 7 조 및 레스토랑 이용 규약 제 1 조에 따라 숙박 또는 호텔 내의 시설 이용을 거절합니다. 또한 이 이용 규칙을 지키지 못함으로써 발생한 사고에 대해서는 고객께서 손해를 부담하셔야 할 수도 있으므로 특별히 유의하여 주시기 바랍니다.

제 1 조 안전과 보안 상 지켜야 하는 사항

1. 「대피 경로도」는 각 객실 도어 안쪽 및 비상계단 공간에 표시되어 있으므로 확인하여 주십시오.
2. 객실에 난방용, 취사용 등의 화기 및 기타 화재의 원인이 되는 물품의 반입은 삼가 주십시오.
3. 객실 내는 금연입니다. 지정된 흡연실, 흡연장 이외에서의 흡연은 삼가 주십시오(건강증진법 제 5 장 제 2 절 25 조). 또한 본 항목에는 전자담배도 적용되므로 양지하여 주십시오. 흡연이 판명된 경우에는 침구, 커튼, 벽지 등의 클리닝 비용 및 기타 보수 등에 드는 비용을 청구할 수도 있음을 양해하여 주시기 바랍니다.
4. 젖은 의류와 타월 등을 건조시키기 위해 조명기구에 올려 놓거나 램프 갓에 걸어 두면 화재의 원인이 됩니다. 매우 위험하므로 삼가 주십시오.
5. 기타 화재의 원인이 되는 행위는 삼가 주십시오.
6. 숙박 중, 객실에서 나올 때는 반드시 잠금장치를 확인하여 주십시오(당 호텔은 자동 잠금장치가 되어 있습니다).
7. 취침 중에는 안쪽 열쇠 및 걸쇠를 걸어 주십시오. 방문객이 있는 경우에는 부주의하게 문을 열지 마시고 도어스코프를 확인하여 주십시오. 만일 수상한 사람이라고 생각되는 경우에는 리셉션으로 연락하여 주십시오.
8. 욕조에 물을 채우는 중, 잠이 들거나 그 밖의 사유로 인해 마개 여는 것을 잊으면 물이 넘쳐흘러 중대한 누수 사고가 발생할 수도 있으므로 주의하여 주십시오.
9. 외래 고객과 객실 내에서 면회하는 행위는 삼가 주십시오.
10. 숙박 등록자 이외의 분의 숙박은 엄금합니다.
11. 차량 이용 고객께서는 소정의 주차장에 주차하여 주시기 바랍니다.
12. 당 호텔 이용객이 주차장을 이용하는 경우, 차량 키의 기탁 여부와 관계 없이 차량 관리 책임은 지지 않는 것으로 합니다.

제 2 조 귀중품, 유실물의 취급에 관하여

1. 체류 중 현금, 귀중품의 보관은 객실에 비치된 금고를 이용하여 주십시오. 위의 절차를 거치지 않고 현금, 귀중품의 멸실, 분실, 훼손, 도난 등으로 인해 발생한 손해에 대해서는 배상하지 못하므로 양해하여 주시기 바랍니다.
2. 호텔 내의 유실물 처리는 일정 기간 호텔이 보관하고, 그 이후에는 유실물법에 따라 처리합니다.

제 3 조 지불에 관하여

1. 요금은 통화 또는 당 호텔이 인정한 숙박권, 신용카드로 지불하셔야 합니다. 단, 체류 중이거나 레스토랑 이용 중, 당 호텔로부터 계산서를 제시 받으면 그때마다 정산하여 주시기 바랍니다.
2. 예정된 숙박 일수를 변경하실 경우에는 미리 리셉션 직원에게 연락하여 주십시오. 연장하실 경우에는 지금까지의 이용 대금을 지불하여 주시기 바랍니다.
3. 호텔 내의 레스토랑, 바 등의 이용 요금을 객실에 부과하는 경우에는 객실 키(카드 키와 키 케이스)를 제시하여 주십시오.(성함을 묻는 경우도 있습니다) 객실에 부과하는 것을 거절하는 경우도 있습니다.
4. 도착 시 예치금을 지불하셔야 할 수도 있음을 양해하여 주시기 바랍니다. 또한 체류 중, 프런트로부터 계산서를 제시 받으면 그때마다 프런트에서 정산하여 주시기 바랍니다.
5. 물품 구입비, 항공권, 열차와 버스 등의 티켓 요금, 택시 요금, 우표 요금, 화물 발송 요금 등의 대체 지급은 원칙적으로 거절합니다.
6. 숙박료 및 음식 요금에는 죄송하지만 서비스 요금이 부과되는 경우가 있습니다. 단, 종업원에 대한 팁은 받지 않습니다.
7. 객실에서 호텔 외부로 전화를 거실 때는 호텔 규정의 이용 요금이 가산됩니다.

제 4 조 금지사항

1. 호텔 내의 다른 고객에게 불편을 끼치는 물품의 반입
 - (1) 개, 고양이, 새 등의 동물, 애완동물류 전반(단, 법으로 정하는 보조조건은 제외)
 - (2) 발화 또는 인화하기 쉬운 화약이나 휘발유류 및 위험성이 있는 제품
 - (3) 악취 및 강한 냄새를 풍기는 물품
 - (4) 허가증이 없는 총포, 도검류
 - (5) 현저하게 많은 양의 수하물 및 물품
 - (6) 기타 법령에 의해 소지가 금지되어 있는 물품
 - (7) 기타 법령에 의해 금지되어 있는 행위
2. 호텔 내에서 도박이나 풍기, 치안을 어지럽히는 행위, 다른 고객에게 불편을 끼치거나 불쾌감을 주는 행위
3. 호텔의 외관을 손상시킬 만한 물품을 객실이나 레스토랑의 창문에 걸어두거나 창가에 진열하는 행위
4. 당 호텔의 허가 없이 객실이나 로비 등 호텔 관내에서 실시하는 영업 행위
5. 당 호텔의 허가 없이 광고, 선전물을 배포하거나 물품을 판매하는 행위
6. 호텔 내에서 시설, 비품을 소정의 장소나 용도 이외로 사용하거나 현상태를 현저하게 손상시키는 이용
7. 호텔 내에서 촬영된 사진 등을 허가 없이 영업 상의 목적으로 공개하는 행위
8. 복도나 로비에 소지품을 방치하는 행위
9. 나이트웨어, 유카타, 파자마, 슬리퍼 등으로 복도, 로비 및 레스토랑, 바 등의 영업시설을 이용하는 행위
10. 긴급사태 또는 부득이한 사정이 없음에도 불구하고 호텔 종업원 구역, 비상계단, 옥상, 옥탑, 기계실 등의 시설에 출입하는 행위

11. 호텔 외부의 음식물 배달(단, 호텔이 제휴한 음식점 등은 가능)
12. 호텔 건조물, 가구, 비품 및 기타 물품이 손상, 오염 또는 분실된 경우, 그 상당액을 배상하여야 하는 경우가 있습니다

제 5 조 호텔 이용 계약의 해지

- (1) 호텔 이용자가 여관업법 제 4 조의 2 제 1 항 제 2 호에 규정된 특정 감염증 환자 등인 경우
- (2) 호텔 이용자 중에 다음 사유에 해당하는 사람이 있는 경우
 - 가. 「폭력단원에 의한 부당한 행위 방지 등에 관한 법률」(1991년 법률 제 77호) 제 2 조 제 2 호에 규정된 폭력단(이하 「폭력단」이라 한다), 동조 제 2 조 제 6 호에 규정된 폭력단원(이하 「폭력단원」이라 한다), 폭력단 관계 기업·단체의 관계자 등 반사회 세력
 - 나. 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체
 - 다. 법인이며, 그 임원 중에 폭력단 등의 반사회 세력에 해당하는 사람이 있는 경우
- (3) 호텔 이용자가 숙박에 관하여 위압적 또는 폭력적 요구 행위를 하거나 또는 합리적인 범위를 넘는 부담을 요구한 경우(단, 숙박객이 장애인 차별해소법 제 7 조 제 2 항 또는 제 8 조 2 항의 규정에 따른 사회적 장벽의 제거를 요구하는 경우에는 제외한다.)
- (4) 숙박객이 당 호텔에 대해서 그 실시예 수반하는 부담이 과중하여 다른 숙박자에 대한 숙박에 관한 서비스의 제공을 현저하게 저해할 우려가 있는 요구로서, 여관업법 시행규칙 제 5 조의 6 에서 정한 것을 반복한 경우. 또는 일찍이 동일한 행위를 당 호텔 또는 다른 호텔에서 했다고 판명된 경우에는 이용을 금지합니다.

제 6 조 에콜로지 활동

1. 자원을 소중하게 사용하기 위해 절전, 절수에 협조하여 주시기 바랍니다.

제 7 조 이용 규칙의 변경

1. 본 이용 규칙은 민법에서 정한 정형화된 약관에 해당하며, 이용객의 일반적인 이익에 적합한 경우 또는 변경의 필요성 및 상당성이 있다고 인정되는 경우에는 민법의 규정에 따라 본 이용 규칙의 각 조항을 변경합니다.
2. 본 이용 규약이 변경된 경우에는 변경 후의 내용을 웹사이트에 게재하고, 게재 시에 정한 효력 발생일부터 변경 후의 내용이 적용되는 것으로 합니다. 또한 본 이용 규약을 변경하는 경우에는 변경 내용 등을 기재한 서면 또는 객실 텔레비전 내 인포메이션 등을 이용하여 적절한 방법으로 주지합니다.

숙박 약관

제 1 조 적용 범위

1. 당 호텔이 숙박객과 체결하는 숙박 계약 및 이와 관련된 계약은 이 약관에서 정하는 바에 따르는 것으로 하며, 이 약관에서 정하지 아니한 사항에 대해서는 법령 또는 일반적으로 확립된 관습에 따르는 것으로 합니다.
2. 당 호텔이 법령 및 관습에 어긋나지 않는 범위 내에서 특약에 응한 경우에는 전항의 규정에도 불구하고, 그 특약이 우선시되는 것으로 합니다.

제 2 조 숙박 계약 신청

1. 당 호텔에 숙박 계약을 신청하고자 하는 사람은 다음 사항을 당 호텔에 신고하셔야 합니다.
 - (1) 숙박자명 및 숙박 인원수
 - (2) 숙박일 및 도착 예정 시각
 - (3) 숙박요금(원칙적으로 주석 제 1 에 의함)
 - (4) a.신청자명 및 그 연락처 b.숙박요금의 지불자명 및 그 연락처
 - (5) 이전 숙박지 및 이후 숙박지
 - (6) 기타 당 호텔이 필요하다고 인정하는 사항
2. 숙박객이 숙박 중에 본 조 제 1 항 제 2 호의 숙박일을 초과하여 숙박의 계속을 신청하신 경우, 당 호텔은 그 신청이 있었던 시점에서 새로운 숙박 계약의 신청이 있었던 것으로 취급합니다.

제 3 조 숙박 계약의 성립 등

1. 숙박 계약은 당 호텔이 전조의 신청을 승낙했을 때 성립하는 것으로 합니다. 단, 당 호텔이 승낙을 하지 않았음을 증명했을 때는 예외로 합니다.
2. 전항의 규정에 따라 숙박 계약이 성립되었을 때는 숙박 기간의 숙박료를 한도로 당 호텔이 정하는 신청금을 당 호텔이 지정하는 기일까지 지불하셔야 합니다. 플랜에 따라 별도로 정한 경우에는 예외로 합니다.
3. 예치금 및 신청금은 먼저 숙박객이 최종적으로 지불해야 하는 숙박요금 및 호텔 이용 요금에 총당하며, 본 약관 제 6 조 및 제 20 조의 규정을 적용하는 사태가 발생했을 때는 위약금에 이어 배상금의 순서로 총당되며, 잔액이 있으면 본 약관 제 14 조의 규정에 따른 요금 지불 시에 환불해 드립니다.
4. 본 조 제 2 항의 예치금과 신청금을 동항의 규정에 따라 당 호텔이 지정한 기일까지 지불할 수 없는 경우, 숙박 계약은 그 효력을 상실하는 것으로 합니다. 단, 예치금과 신청금의 지불 기일을 지정함에 있어서 당 호텔이 그 취지를 숙박객에게 고지한 경우에 한합니다.

제 4 조 시설 내의 감염 방지 대책에 대한 협력 요청

1. 당 호텔은 숙박하려는 사람에게 여관업법(1948 년 법률 제 138 호) 제 4 조의 2 제 1 항의 규정에 따른 협력을 요청할 수 있습니다

제 5 조 예치금, 신청금의 지불을 필요로 하지 않는 특약

1. 전조 제 3 항의 규정에도 불구하고, 당 호텔은 계약 성립 후 동항의 예치금과 신청금의 지불을

필요로 하지 않는 특약에 응할 수 있습니다.

2. 숙박 계약의 신청 승낙 시에 당 호텔이 전조 제 3 항의 예치금과 신청금의 지불을 요구하지 않은 경우 및 해당 신청금의 지불 기일을 지정하지 않은 경우에는 전항의 특약에 따른 것으로 취급합니다.

제 6 조 숙박 계약 체결의 거부

1. 당 호텔은 다음에 기재된 경우에 숙박 계약 체결에 응하지 않는 경우가 있습니다.
 - (1) 숙박 신청이 이 약관에 따르지 않는 경우
 - (2) 만실(원)로 인해 객실의 여유가 없는 경우
 - (3) 숙박하려는 사람이 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공질서 또는 선량한 풍속에 반하는 행위를 할 우려가 있다고 인정되는 경우
 - (4) 숙박하려는 사람이 여관업법 제 4 조의 2 제 1 항 제 2 호에 규정된 특정 감염증의 환자 등(이하, 「특정 감염증 환자 등」 이라 한다)인 경우.
 - (5) 숙박하려는 사람이 「폭력단원에 의한 부당한 행위 방지 등에 관한 법률」(1991 년 법률 제 77 호) 제 2 조 제 2 호에서 규정하는 폭력단(이하 「폭력단」 이라 한다), 동조 제 2 조 제 6 호에서 규정하는 폭력단원(이하 「폭력단원」 이라 한다), 폭력단 관계 기업·단체의 관계자 등 반사회적 세력인 경우.
 - (6) 숙박하려는 사람이 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체인 경우
 - (7) 숙박하려는 사람이 법인이며, 그 임원 중에 폭력단원에 해당하는 사람이 있는 경우
 - (8) 숙박하려는 사람이 숙박에 관해 위압적 또는 폭력적인 요구행위를 하거나 또는 합리적인 범위를 넘는 부담을 요구한 경우(단, 숙박하려는 사람이 장애를 이유로 하는 차별 해소 추진에 관한 법률(2016 년 법률 제 65 호. 이하 「장애인 차별해소법」 이라 한다. 제 7 조 제 2 항 또는 제 8 조 2 항의 규정에 따른 사회적 장벽의 제거를 요구하는 경우에는 제외)
 - (9) 숙박하려는 사람이 당 호텔에 대해서 그 실시예 수반하는 부담이 과중하여 다른 숙박자에 대한 숙박에 관한 서비스 제공을 현저히 저해할 우려가 있는 요구로서, 여관업법 시행규칙 제 5 조의 6 에서 정한 것을 반복한 경우
 - (10) 천재지변, 시설의 고장 및 기타 부득이한 사유로 인하여 숙박시킬 수 없는 경우
 - (11) 숙박하려는 사람이 만취 등으로 인해 다른 숙박자에게 현저하게 불편을 끼칠 우려가 있는 경우 및 숙박자에게 현저하게 불편을 끼칠 우려가 있는 언동을 한 경우(도도부현(보건소를 설치한 시 또는 특별구인 경우에는 시 또는 특별구)의 조례에 따른다).

제 7 조 숙박 계약 체결 거부의 설명

1. 숙박하려는 사람은 당 호텔에 대해서 당 호텔이 전조에 따라 숙박 계약 체결에 응하지 아니하는 경우 그 이유에 대한 설명을 요구할 수 있습니다.

제 8 조 숙박객의 계약 해지권

1. 숙박객은 당 호텔에 신청하여 숙박 계약을 해지할 수 있습니다.
2. 당 호텔은 숙박객이 숙박객의 귀책 사유로 인하여 숙박 계약의 전부 또는 일부를 해지한 경우(본 약관 제 3 조 제 2 항의 규정에 따라 당 호텔이 신청금의 지불 기일을 지정하여 그 지불을 요구한

경우로, 그 지불 전에 숙박객이 숙박 계약을 해지한 경우는 제외합니다)에는 주석 제 2 의 규정에 따라 위약금을 수령합니다. 단, 당 호텔이 본 약관 제 5 조 제 1 항의 특약에 응한 경우에는 그 특약에 응함에 있어 숙박객이 숙박 계약을 해지한 경우의 위약금 지불 의무에 관하여 당 호텔이 숙박객에게 고지한 경우에 한합니다.

3. 당 호텔은 신용카드를 등록하지 않은 숙박객이 연락 없이 숙박일 당일 18 시가 되어도 도착하지 않는 경우, 해당 숙박 계약은 숙박객에 의해 해지된 것으로 간주하는 경우가 있습니다.

제 9 조 당 호텔에 의한 계약의 해지

1. 당 호텔은 아래와 같은 경우에는 숙박 계약을 해지할 수 있습니다.
 - (1) 숙박객이 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공질서 또는 선량한 풍속에 반할 우려가 있다고 인정되는 경우 또는 동 행위를 했다고 인정되는 경우
 - (2) 숙박객이 전염병 환자임이 명백하게 인정되는 경우 또는 기타 감염으로 인하여 이환될 우려가 있는 질병에 걸려 있는 경우, 증상의 유무와 관계 없이 감염 방지 대책의 협조 요청에 정당한 사유 없이 응하지 아니하는 경우
 - (3) 천재지변, 시설의 고장 및 기타 부득이한 사유로 인해 숙박시키지 못하는 경우
 - (4) 숙박하려는 사람이 만취 등으로 인해 다른 숙박객에게 영향을 미칠 우려가 있다고 인정되는 경우. 또는 현저하게 불편을 끼치는 언동을 한 경우
 - (5) 당 호텔이 정한 이용 규칙의 금지사항을 따르지 않은 경우
 - (6) 지정된 흡연실, 흡연장 이외에서 흡연한 경우
 - (7) 침실에서 누워서 흡연하거나, 소방용 설비 등에 짓곳은 장난을 치거나 그 밖에 당 호텔이 정한 이용 규칙의 금지사항(화재 예방 상 필요한 것에 한함)을 준수하지 않은 경우
 - (8) 숙박하려는 사람이 폭력단, 폭력단원, 폭력단 관계 기업·단체의 관계자 등 반사회적 세력인 경우
 - (9) 숙박하려는 사람이 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체인 경우
 - (10) 숙박하려는 사람이 법인이며, 그 임원 중에 폭력단원에 해당하는 사람이 있는 경우
 - (11) 숙박하려는 사람이 숙박 시설 또는 숙박 시설 종업원에 대해서 폭력, 협박, 공갈 등 위압적인 부당한 요구를 하거나 합리적인 범위를 넘는 부담을 요구한 경우 또는 일찍이 동일한 행위를 당 호텔 또는 다른 호텔에서 했다고 판명된 경우
 - (12) 그 실시에 수반하는 부담이 과중하여 다른 숙박자에 대한 숙박에 관한 서비스 제공을 현저하게 저해할 우려가 있는 요구로서, 여관업법 시행규칙 제 5 조의 6 에서 정한 것을 반복한 경우
2. 당 호텔이 전항의 규정에 근거하여 숙박 계약을 해지한 경우에는 숙박객이 아직 제공받지 않은 숙박 서비스 등의 요금은 받지 않습니다.

제 10 조 숙박의 등록

1. 숙박객은 숙박일 당일, 당 호텔의 리셉션에서 다음 사항을 등록하셔야 합니다.
 - (1) 숙박객의 성명, 연령, 성별 및 주소
 - (2) 일본 국내에 주소가 없는 외국인인 경우에는 국적, 여권번호, 입국지 및 입국 연월일(여권 사본 또는 스캐너로 복사), 이전 숙박지 및 이후 숙박지
 - (3) 출발일 및 출발 예정 시각

(4) 기타 당 호텔이 필요하다고 인정하는 사항

2 숙박객이 본 약관 제 14 조의 요금을 숙박권, 신용카드 등 통화를 대신할 수 있는 방법으로 지불하고자 하는 경우에는 사전에 전항의 등록 시에 이를 제시하여 주시기 바랍니다.

제 11 조 객실 사용 시간

1. 숙박객이 당 호텔의 객실을 사용할 수 있는 시간은 원칙적으로 오후 3 시부터 익일 정오까지로 합니다(체크인/체크아웃 시간이 한정된 숙박 플랜은 제외). 단, 연속으로 숙박하는 경우에는 도착일 및 출발일을 제외하고 종일 사용할 수 있습니다.

2. 당 호텔은 전항의 규정에 관계 없이 동항에 규정된 시간 외의 객실 사용에 응할 수 있습니다. 이 경우에는 다음에 기재된 추가 요금을 수령합니다.

(1) 체크아웃일의 정오부터 오후 3 시까지 초과...객실료의 30%

(2) 체크아웃일의 오후 3 시부터 오후 6 시까지 초과...객실료의 50%

(3) 체크아웃일의 오후 6 시부터 익일 정오까지 초과... 객실료의 100%

제 12 조 이용 규칙 준수

1. 숙박객은 당 호텔 내에서는 별도로 정하는 BELLUSTAR TOKYO 이용 규칙을 준수하셔야 합니다.

제 13 조 영업

1. 당 호텔 시설 등의 상세한 영업 시간은 각 장소의 표시 등으로 안내해 드립니다.

2. 전항의 영업시간은 필요 또는 부득이한 경우에는 임시로 변경될 수 있습니다. 그 경우에는 적절한 방법으로 알려 드립니다.

제 14 조 요금의 지불

1. 숙박객이 지불해야 하는 숙박요금 등의 내역은 주석 제 1 에 기재된 바와 같습니다.

2. 전항의 숙박요금 등의 지불은 통화 또는 당 호텔이 인정한 숙박권, 신용카드 등 통화를 대신할 수 있는 방법으로 숙박객의 출발 시 또는 당 호텔이 청구했을 때 리셉션에서 지불하여 주십시오.

3. 당 호텔이 숙박객에게 객실을 제공하여 사용 가능하게 된 후, 숙박객이 임의로 숙박하지 않은 경우에도 숙박요금은 부과됩니다.

제 15 조 당 호텔의 책임

1. 당 호텔은 숙박 계약 및 이에 관한 계약을 이행함에 있어 또는 이들의 불이행으로 인하여 숙박객에게 손해를 입힌 경우에는 그 손해를 배상합니다. 단, 당 호텔의 귀책 사유가 아닌 경우에는 예외로 합니다.

제 16 조 계약한 객실을 제공할 수 없는 경우의 조치

1. 당 호텔에서 숙박객에게 계약한 객실을 제공할 수 없는 경우에는 숙박객의 양해를 구하고 최대한 동일한 조건의 다른 숙박 시설을 알선하도록 하겠습니다.

2. 당 호텔은 전항의 규정에도 불구하고 다른 숙박 시설을 알선할 수 없는 경우에는 위약금

상당액의 보상료를 숙박객에게 지불하고, 그 보상료는 손해보상액에 충당합니다. 단, 객실을 제공하지 못하는 것이 당 호텔의 귀책 사유가 아닌 경우에는 보상료를 지불하지 않습니다.

제 17 조 기탁물의 취급

1. 숙박객이 리셉션에 맡긴 물품에 관해서 멸실, 훼손 등의 손해가 발생한 경우에는 그것이 불가항력인 경우를 제외하고 당 호텔은 그 손해를 배상합니다. 단, 현금 및 귀중품에 대해서는 당 호텔이 그 종류 및 가액의 명고를 요구했지만, 숙박객이 그것을 실시하지 않았을 때는 당 호텔은 15 만엔을 한도로 그 손해를 배상합니다.
2. 숙박객이 당 호텔 내에 가지고 오신 물품 또는 현금 및 귀중품 중에 리셉션에 맡기지 않은 것에 대해서 당 호텔의 고의 또는 과실로 인해 멸실, 훼손 등의 손해가 발생한 경우 이외에는 당 호텔은 책임을 지지 않습니다.

단, 숙박객으로부터 사전에 종류 및 가격의 명시가 없었던 것에 대해서는 당 호텔의 귀책 사유가 있는 경우에는 15 만엔을 한도로 당 호텔은 그 손해를 배상합니다.

제 18 조 숙박객의 수하물 또는 휴대품 보관

1. 숙박객의 수하물이 숙박 전에 당 호텔에 도착한 경우에는 그 도착 전에 당 호텔이 알고 있었던 경우에 한하여 책임을 지고 보관해 드립니다. 수하물은 숙박객이 리셉션에서 체크인 할 때 건네 드리거나 또는 객실로 보내 드립니다.
2. 숙박객이 체크아웃한 후 숙박객의 수하물 또는 휴대품이 당 호텔에서 발견된 경우, 소유자의 지시가 없거나 소유자가 판명되지 않은 경우에는 유실물법에 따라 처리합니다.
3. 본 조 제 2 항의 경우에 숙박객의 수하물 또는 휴대품의 보관에 대한 당 호텔의 책임은 본 조 제 1 항의 경우에는 전조 제 1 항의 규정에 준하며, 본 조 제 2 항의 경우에는 전조 제 2 항의 규정에 준하는 것으로 합니다.
4. 습득물은 일정기간 보관을 하고 그 이후에는 유실물법에 의거하여 취급합니다.

제 19 조 주차의 책임

1. 호텔 이용객이 도큐 가부키초타워 지하 주차장을 이용하시는 경우, 자동차 키 기탁 여부와 관계 없이 당 호텔은 차량의 관리 책임까지 지지 않습니다. 단, 주차장 관리 시에 당 호텔의 고의 또는 과실로 인해 손해를 입었을 때는 그 배상 책임에 응합니다.

제 20 조 숙박객의 책임

1. 숙박객의 고의 또는 과실로 인해 당 호텔이 손해를 입은 경우에는 해당 숙박객은 당 호텔에 대해서 그 손해를 배상하셔야 합니다.

제 21 조 개인정보의 취급

1. 당 호텔에서는 고객으로부터 제공 받은 개인정보에 관해서 별도로 정하는 당 호텔의 개인정보보호정책에 따라 적절하게 취급합니다.

제 22 조 면책사항

1. 당 호텔에서 컴퓨터 통신을 이용할 경우에는 이용자 자신의 책임 하에 실시하는 것으로 합니다. 컴퓨터 통신 이용 중에 시스템 장애 및 기타 이유로 인해 서비스가 중단되어 그 결과 이용자가 어떠한 손해를 입은 경우에도 당 호텔의 고의 또는 중대한 과실로 인한 경우를 제외하고 당 호텔은 일체의 책임을 지지 않습니다. 또한 컴퓨터 통신의 이용에 당 호텔이 부적절하다고 판단한 행위가 있어, 이로 인해 당 호텔 및 제 3 자에게 손해가 발생한 경우에는 해당 손해를 배상하셔야 합니다.

제 23 조 약관의 변경

1. 본 약관은 민법에서 정한 정형화된 약관에 해당하며, 숙박객의 일반적인 이익에 적합한 경우 또는 변경의 필요성 및 상당성이 있다고 인정되는 경우에는 민법의 규정에 근거하여 본 약관의 각 조항을 변경하겠습니다.
2. 본 약관이 변경된 경우에는 변경 후의 내용을 웹사이트에 게재하고, 게재 시에 규정하는 효력 발생일부터 변경 후의 내용이 적용되는 것으로 합니다. 또한 본 약관을 변경할 경우에는 변경 내용 등을 기재한 서면 또는 객실 텔레비전 내 인포메이션 등을 이용하여 적절한 방법으로 주지하겠습니다.

주석 제 1 숙박요금 등의 내역(제 2 조 제 1 항 및 제 14 조 제 1 항 관계)

숙박객이 지불해야 하는 총액은 아래의 합계입니다.

- 숙박요금 ①객실료+서비스료
- 추가요금 ②음식료 및 기타 이용 요금(수수료, 서비스료 포함)
- 세금 각종 세금
※세법이 개정된 경우에는 그 개정된 규정에 따릅니다.

주석 제 2 위약금(제 9 조 제 2 항 관계)

계약 해지 통지를 받은 날짜와 신청 인원수에 따라 아래와 같이 정합니다.

- 일반
 - 미박 100%
 - 당일 100%
 - 전날 100%(15 시 이후)
- 단체(10 실 이상)
 - 미박 100%
 - 당일 100%
 - 전날 100%
 - 7 일 전 80%
 - 30 일 전 50%
 - 60 일 전 30%
 - 90 일 전 20%

■ 단체(31 실 이상)

미박 100%

당일 100%

14 일 전 100%

30 일 전 80%

60 일 전 50%

90 일 전 30%

※%는 예약 시의 숙박요금에 대한 위약금의 비율을 나타냅니다.(서비스료 및 부가세 미포함)

※숙박 패키지 등, 별도 위약금이 설정된 경우에는 그 공시액을 위약금으로 수령합니다.

※계약일수가 단축된 경우에는 그 단축일수에 관계 없이 1 일치(첫날)의 위약금을 수령합니다.

※숙박 패키지 등, 별도 위약금이 설정된 경우에는 그 공시액을 위약금으로 수령합니다

※각 여행사로부터의 신청 취소에 관해서는 신청한 여행사의 규정에 준하는 것으로 합니다.

레스토랑 이용 규약

BELLUSTAR TOKYO 의 레스토랑에서는 고객이 만족하실 수 있도록 이용과 관련하여 아래와 같이 이용 규약을 정하고 있음을 양해하여 주시기 바랍니다.

제 1 조 이용의 거부 및 예약·계약의 해지

다음에 기재하는 사항에 해당되는 경우, 이용(이용 시의 예약·계약을 포함한다)을 거절하고 있습니다. 또한 예약·계약을 체결한 후에 그 사실이 판명된 경우는 그 시점에서 예약·계약을 해지합니다.

1. 이용자에게 다음과 같은 사유에 해당하는 사람이 있는 경우
 - (1) 폭력단, 폭력단원, 폭력단 관계 기업·단체의 관계자 등 반사회적 세력
 - (2) 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체
 - (3) 법인이며, 그 임원 중에 폭력단원에 해당하는 사람이 있는 경우
2. 레스토랑 혹은 종업원에 대해서 폭력, 협박, 공갈 등, 위압적 행위를 하거나 또는 합리적인 범위를 넘는 부담을 요구한 경우, 또는 일찍이 동일한 행위를 당 레스토랑 또는 다른 레스토랑에서 했다고 판명된 경우
3. 다른 이용자에 대해서 현저하게 불편을 끼치는 언동을 한 경우
4. 이용하려는 사람이 명백하게 전염병에 걸려 있는 경우 또는 기타 감염으로 인하여 이환될 우려가 있는 질병에 걸려 있는 경우
5. 예약·계약의 내용(사용 목적)이 신청 시와 달라 명백한 허위 신고를 한 경우
6. 각 레스토랑이 정하는 복장 규정을 위반하는 경우(복장 규정은 스마트 캐주얼 스타일로 하여 주시기 바랍니다)

제 2 조 이용 규칙의 준수

1. 레스토랑을 이용하시는 고객은 당 호텔 내에서 별도로 정하는 BELLUSTAR TOKYO 이용 규칙에 승낙한 것으로 간주됩니다.

제 3 조 금지사항

1. 다음에 기재하는 사항은 삼가 주시기 바랍니다.
 - (1) 개, 고양이, 새 등의 동물, 애완동물류 전반의 반입(단, 법으로 정하는 보조조건은 제외)
 - (2) 발화 또는 인화하기 쉬운 화약이나 휘발성 유류 및 위험성이 있는 제품의 반입
 - (3) 강한 냄새 또는 악취를 풍기는 물품의 반입
 - (4) 다른 가게 혹은 사적인 음식물의 무단 반입
 - (5) 법령 또는 선량한 풍속 기타 사회질서에 위반하는 행위 및 다른 고객에게 불편을 끼치거나 불쾌감을 줄 수 있는 언동
 - (6) 당 호텔에서 판매하는 테이크아웃 상품 이외의 식품 반입
 - (7) 점내의 매너 모드 및 사일런트 모드 이외의 휴대전화 이용
 - (8) 허가 없이 책상, 의자 등의 비품 이동
 - (9) 기타 법령으로 금지되어 있는 행위

제 4 조 영업

1. 당 호텔의 주요 레스토랑은 다음과 같으며, 레스토랑 등 자세한 영업시간은 웹사이트, 각 장소에서 안내하고 있습니다.

Restaurant Bellustar 45 층

Bar Bellustar 45 층

철판요리 「덴유」 45 층

스시 「진에」 45 층

2. 전항의 영업은 필요한 경우 혹은 부득이한 경우에는 변경될 수 있습니다.

제 5 조 취소 정책

1. 예약에 대해서 원칙적으로 요리 내용의 금액 및 개인실 요금에 근거하여 규정된 취소료를 받습니다.

5 일 전 30%

3 일 전~전날 50%

당일 100%

2. 요리가 정해지지 않은 경우, 예약 레스토랑의 예약 시간의 최저 코스 요금을 인원수만큼 수령합니다.
3. 천재지변 등 부득이한 사유로 인해 취소하는 경우에는 해당되지 않습니다.

제 6 조 면책사항

1. 당 호텔에서 판매하는 테이크아웃 상품을 구입한 후에 소비기한이 지난 경우, 레스토랑은 책임을 지지 않습니다.
2. 메뉴는 입하 상황에 따라 변경되는 경우가 있습니다.
3. 알레르기가 있는 고객은 사전에 알려 주십시오. 알리지 않은 경우 레스토랑은 책임을 지지 않음을 양해하여 주시기 바랍니다.

제 7 조 손해배상

1. 고객의 과실로 인해 레스토랑의 시설, 집기 등을 파손 및 손상시키지 않도록 세심한 주의를 기울여 주십시오.
2. 고의로 시설, 집기 비품 등을 파손 및 손상시킨 경우, 상당액을 변상하셔야 하는 경우가 있음을 양해하여 주시기 바랍니다.

제 8 조 이용 인원수 확정

1. 예약하시는 경우, 이용 인원수는 이용 전날 오전까지 레스토랑 담당자에게 연락하여 주십시오.

제 9 조 이용 규약의 변경

1. 본 이용 규약은 민법에서 정한 정형화된 약관에 해당하며, 이용객의 일반적인 이익에 적합한 경우 또는 변경의 필요성 및 상당성이 있다고 인정되는 경우에는 민법의 규정에 따라 본 이용

규약의 각 조항을 변경합니다.

2. 본 이용 규약이 변경된 경우에는 변경 후의 내용을 웹사이트에 게재하고, 게재 시에 정한 효력 발생일부터 변경 후의 내용이 적용되는 것으로 합니다. 또한 본 이용 규약을 변경하는 경우에는 변경 내용 등을 기재한 서면 또는 객실 텔레비전 내 인포메이션 등을 이용하여 적절한 방법으로 주지합니다.

연회 규약

BELLUSTAR TOKYO 에서는 연회를 원활하게 진행하기 위하여 아래와 같이 규약을 정했으므로 양해하여 주시기 바랍니다.

제 1 조 신청

1. 임시 예약

연회장의 신청 시에 임시 예약 기간을 설정하고 있습니다. 임시 예약 기간은 원칙적으로 신청일부터 1주일(7일간)입니다. 이 기간 내에 호텔에 개최 여부를 연락하여 주십시오. 임시 예약 기간 내에 당 호텔에 연락하지 않는 경우에는 개최 예정이 없는 것으로 간주합니다.

2. 성약

결정 연락 후, 연회 접수서를 주고받거나 신청금을 지불함으로써 성약됩니다. 신청금의 금액은 연회의 내용에 따라 당 호텔에서 제시해 드립니다.

제 2 조 선불금

1. 당 호텔에서 제시한 금액을 선불금으로 연회 개최일 7 일 전까지 당 호텔에 지불하셔야 합니다. 기간 내에 입금하지 않는 경우 연회가 취소될 수 있습니다.

제 3 조 최종 확인

1. 견적의 인원수 및 요리수에 변동이 생긴 경우에는 그때마다 연락하여 주시기 바랍니다. 연회 개최일의 전전날 정오까지 변경 가능한데, 최종 견적의 인원수 및 요리수의 10%까지 감소 가능합니다. 이 신청자로부터의 통지를 통해 최종 확인하겠습니다. 연락이 없는 경우에는 견적대로 진행합니다.

제 4 조 연회 시간

1. 연회장의 사용 시작부터 종료까지의 계약 시간(연회 시간)은 소정의 객실료를 지불하셔야 합니다. 이 연회 시간을 초과한 경우에는 추가실료를 수령합니다. 단, 다음번 연회장 사용 시간과의 관계로 인해 이용 시간 초과에 대응해 드리지 못하는 경우도 있습니다.

제 5 조 정산

1. 연회 종료 후, 확정된 이용 금액(정산 금액)에 대해서는 당 호텔이 사전에 확인한 지불일까지 그 비용을 지불하셔야 합니다. 정산 금액에 대한 선불금이 과다 입금된 경우에는 그 차액을 당 호텔에서 환불해 드립니다.

제 6 조 장식·여흥 등의 준비

1. 원칙적으로 연회에 관한 장식, 꽃 장식, 음악, 여흥, 음향 조명 및 파티 도우미 등은 호텔에서 지정 업자를 통해 준비합니다.

2. 호텔의 양해를 받아 신청자가 직접 선정한 업체가 실시하는 이벤트에 관해서는 연회를 원활하게 운영하기 위해 사전에 호텔에 연락하여 주십시오. 호텔측의 사전 동의를 받지 않고 직접

업체에게 준비시키는 행위는 삼가 주시기 바랍니다. 또한 신청자가 선정한 업체에 대한 지시에 관해서는 호텔의 지시에 따라 주시기 바랍니다.

제 7 조 손해배상

1. 신청자(신청자측의 모든 관계자·주최자·연회 참석자를 포함한다) 또는 신청자가 선정한 업체의 고의 또는 과실로 인해 당 호텔이 손해(호텔 시설·집기 비품 등의 파손·손상·오손 등)를 입은 경우에는 해당 신청자가 그 손해를 배상하여 주십시오.

제 8 조 시설 내의 사고·분실·도난

1. 시설 내에서 고객의 관리 하에 발생한 사고, 분실, 도난에 관해서 호텔측은 책임을 지지 않으므로 양해하여 주시기 바랍니다.

제 9 조 계약 체결의 거부

1. 연회에 참석하시는 고객이 다음 항목에 저촉되는 경우 또는 천재지변이나 시설의 고장 및 기타 부득이한 사유로 인해 연회장을 사용할 수 없는 경우에는 연회 신청을 거절할 수 있습니다. 이 경우 계약 체결 거부에 따른 손해배상 등은 하지 않음을 양해하여 주시기 바랍니다.
 - (1) 법령 또는 선량한 풍속 기타 사회질서에 위반하는 행위를 할 우려가 있다고 인정되는 경우
 - (2) 다른 고객에게 불편을 끼칠 우려가 있다고 인정된 경우. 혹은 불편을 끼치는 언동을 한 경우
 - (3) 제 3 자에 의한 영업 방해의 우려가 있다고 호텔측이 판단한 경우
 - (4) 폭력단, 폭력단원, 폭력단 관계 기업·단체의 관계자 등 반사회적 세력으로 판명된 경우
 - (5) 폭력단 등이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체인 경우
 - (6) 법인이며, 그 임원 중에 폭력단원에 해당하는 사람이 있는 경우
 - (7) 당 호텔 또는 당 호텔 종업원에 대해서 폭력, 협박, 공갈 등 위압적인 부당한 요구를 하거나 합리적인 범위를 넘는 부담을 요구한 경우, 또는 일찍이 동일한 행위를 당 호텔 또는 다른 호텔에서 했다고 인정되는 경우
 - (8) 본 「연회 규약」 및 개별적으로 체결한 계약을 위반하는 경우

제 10 조 계약 해지

1. 다음 항목에 해당 또는 저촉되는 경우에는 호텔측에서 연회를 거절하거나 이미 계약을 체결한 계약을 해지하는 경우가 있음을 양해하여 주시기 바랍니다. 이 경우 계약 해지에 따른 손해배상은 하지 않음을 양해하여 주시기 바랍니다.
 - (1) 연회에 참석하는 사람이 법령 또는 선량한 풍속 기타 사회질서에 위반하는 행위를 할 우려가 있다고 인정되는 경우
 - (2) 다른 고객에게 불편을 끼칠 우려가 있다고 인정되는 경우
 - (3) 제 3 자에 의한 영업 방해의 우려가 있다고 호텔측이 판단한 경우
 - (4) 천재지변 또는 시설의 고장 및 기타 부득이한 사유로 인해 연회장을 사용할 수 없는 경우
 - (5) 연회에 참석하는 사람이 폭력단, 폭력단원, 폭력단 관계 기업·단체 또는 관계자 등의 반사회적 세력으로 판명된 경우

- (6) 연회에 참석하는 사람이 폭력단 등이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체인 경우
- (7) 연회에 참석하는 사람이 법인이며, 그 임원 중에 폭력단원에 해당하는 사람이 있는 경우
- (8) 연회에 참석하는 사람이 당 호텔 혹은 당 호텔 종업원에 대해서 폭력, 협박, 공갈 등 위압적인 부당한 요구를 하거나 합리적인 범위를 넘는 부담을 요구한 경우 또는 과거에 이와 유사한 행위를 당 호텔 또는 다른 호텔에서 했다고 인정되는 경우
- (9) 연회에 참석하는 사람이 명백하게 전염병에 걸려 있거나 또는 기타 감염으로 인하여 이환될 우려가 있는 질병에 걸려 있는 경우
- (10) 연회의 내용(사용 목적)이 신청 시와 달라 명백한 허위의 신고가 판명된 경우
- (11) 기타 이 「연회 규약」 및 개별적으로 체결한 계약을 위반한 경우

제 11 조 금지사항

1. 다음에 기재한 각 항목은 금지사항이므로 삼가하여 주시기 바랍니다.

- (1) 개, 고양이, 새 등의 동물, 애완동물류 전반의 반입(단, 법으로 정하는 보조조건은 제외)
- (2) 발화 또는 인화하기 쉬운 화약이나 휘발성 유류 및 위험성이 있는 제품의 반입
- (3) 강한 냄새 또는 악취를 풍기는 물품 반입
- (4) 법령 또는 선량한 풍속 기타 사회질서에 위반하는 행위 및 다른 고객에게 불편을 끼치거나 불쾌감을 줄 수 있는 언동
- (5) 허가 없는 호텔 비치품의 이동
- (6) 사용 목적 이외의 이용
- (7) 기타 법령에 의해 금지되어 있는 행위

제 12 조 취소료·일정 변경

1. 성약 후에 취소 및 일정 변경을 하는 경우에는 개최일부터 기산한 취소일·변경일에 따라 원칙적으로 아래의 취소료 및 변경료를 수령합니다.

성약일부터 개최일의 121 일 이전 가장 새로운 견적 총액의 10%+실비

개최일 120 일 전부터 90 일 전까지 가장 새로운 견적 총액의 20%+실비

개최일 89 일 전부터 30 일 전까지 가장 새로운 견적 총액의 30%+실비

개최일 29 일 전부터 8 일 전까지 가장 새로운 견적 총액의 50%+실비

개최일 7 일 전부터 전날까지 가장 새로운 견적 총액의 80%+실비

개최일 당일 가장 새로운 견적 총액의 100%+실비

※ 「가장 새로운 견적 총액」이란, 고객과 호텔이 주고받은 최신 견적서의 신청금 및 입금한 금액을 포함한 총액을 말합니다

※ 「실비」란, 이미 주문한 인쇄물 등의 비용 및 기타 외주품 등의 해지료를 말합니다

※ 일정의 연기에 관해서는 해지하는 경우에 준한 취소료가 발생합니다

제 13 조 개인정보 취급

당 호텔에서는 고객으로부터 제공 받은 개인정보에 대해서 별도로 정하는 당 호텔의 개인정보보호정책에 준거하여 적절하게 취급합니다.

제 14 조 규약의 변경

1. 본 규약은 민법에서 정한 정형화된 약관에 해당하며, 이용객의 일반적인 이익에 적합한 경우 또는 변경의 필요성 및 상당성이 있다고 인정된 경우에는 민법 규정에 근거하여 본 규약의 각 조항을 변경합니다.
2. 본 규약이 변경된 경우에는 변경 후의 내용을 웹사이트에 게재하고, 게재 시에 정한 효력 발생일부터 변경 후의 내용이 적용되는 것으로 합니다. 또한 본 규약을 변경하는 경우에는 변경 내용 등을 기재한 서면 또는 객실 텔레비전 내 인포메이션 등을 이용하여 적절한 방법으로 주지합니다.

혼례 피로연 규약

BELLUSTAR TOKYO 에서는 피로연을 원활하게 진행하기 위하여 아래와 같이 규약을 정했으므로 양해하여 주시기 바랍니다.

제 1 조 계약의 성립

1. 결혼식·피로연을 예약하실 경우에는 신청서에 필요 사항을 기입해 주시고 신청자의 서명 및 신청금을 지불하셔야 합니다. 수령한 신청금은 결혼식·피로연 실시 비용의 일부로 사용됩니다. 또한 신청금은 10 만엔이며 지불 후에 계약이 성립되는 것으로 합니다.

제 2 조 피로연 시간과 추가실료

1. 연회장 등의 사용 시간은 정해진 사용 시간 내로 합니다. 정해진 사용 시간을 고객의 사정에 의해 초과한 경우에는 소정의 추가실료 및 연장에 관련된 기타 비용 등을 수령하는 경우가 있습니다. 단, 다음번 연회장 사용 시간과의 관계로 인해 사용 시간 연장에 대응해 드리지 못하는 경우도 있습니다.

제 3 조 지불

1. 피로연 비용은 호텔에서 제시하는 개산 견적 금액에 대해 아래의 금액을 은행 송금 또는 현금으로 지불하여 주십시오. 지정된 기일까지 지불하지 않는 경우에는 계약은 그 효력을 상실하는 것으로 합니다. 이 경우, 제 5 조에서 정하는 취소료를 수령합니다. 또한 과부족이 발생한 경우에는 피로연 개최일부터 30 일 이내에 정산하는 것으로 합니다.

개최일의 1 개월 전까지 개산 견적 금액의 50%

개최일의 7 일 전까지 개산 견적 금액의 100%

제 4 조 인원수 확정 후의 변경

1. 호텔이 지정한 기일에 최종 확정된 인원수·수량보다 피로연에 참석하는 고객의 인원수 및 물품의 수량이 감소된 경우라 해도 최종 확정수를 청구합니다.

제 5 조 취소료와 기일 변경

1. 이미 계약한 결혼식·피로연을 취소하거나 또는 기일을 변경하는 경우에는 아래의 취소료 및 기일 변경료를 수령합니다.

- 취소료와 기일 변경료

신청일부터 181 일 전까지 신청금의 50%

180 일 전부터 121 일 전까지 신청금 전액 및 실비 제반 비용

120 일 전부터 91 일 전까지 신청금 전액과 가장 새로운 견적 총액의 20% 및 실비 제반 비용

90 일 전부터 31 일 전까지 신청금 전액과 가장 새로운 견적 총액의 30% 및 실비 제반 비용

30 일 전부터 11 일 전까지 신청금 전액과 가장 새로운 견적 총액의 45% 및 실비 제반 비용

10 일 전부터 전날까지 신청금 전액과 가장 새로운 견적 총액의 45% 및 납품된 물품 비용, 기타 실비 제반 비용

개최일 당일 신청금 전액과 가장 새로운 견적 총액의 100% 및 납품된 물품 비용, 기타 실비 제반 비용

※ 결혼식·피로연 당일부터 기산

※ 취소료 및 기일 변경료는 세금·서비스료가 제외되고, 실비 제반 비용에는 세금이 포함됩니다

※ 「가장 새로운 견적 총액」이란, 고객과 호텔이 주고받은 최신 견적서의 신청금 및 입금한 금액을 포함한 총액을 말합니다

※ 「실비」란, 이미 주문한 인쇄물 등의 비용 및 기타 외주품 등의 해지료를 말합니다

※ 일정의 연기에 관해서는 해지하는 경우에 준한 취소료가 발생합니다

제 6 조 장식·여흥 등의 준비

1. 장식, 꽃 장식, 의상, 미용, 옷 착용 도움, 사진, 음향, 조명, 여흥, 답례품 등(기획 플래닝, 시공 등을 하청 받는 개인·기업을 포함한다)에 대해서는 호텔에서 지정한 업자를 통해 준비하겠습니다. 고객의 사정에 따라 호텔 지정 업자 이외에게 직접 준비시킬 경우에는 결혼식·피로연을 원활히 운영하기 위해 사전에 호텔의 양해를 얻은 후에 선정하여 주십시오. 또한 상기의 경우, 반입, 반출, 설치 장소, 방법 등에 대해서는 호텔의 지시에 따르셔야 합니다. 또한 별도의 설치 입회료와 취급 수수료를 받는 경우가 있습니다. 또한 전기기타, 트럼펫, 북, 밴드, 오케스트라 연주 등은 다른 장소에 영향을 미치기 때문에 사용을 금지하는 경우도 있습니다.

제 7 조 손해배상

1. 고객의 관계자 혹은 고객이 직접 선정한 업자는 호텔의 시설, 집기 비품 등을 파손, 손상시키는 일이 없도록 세심한 주의를 기울여 주십시오. 만일 호텔의 시설, 집기 비품 등이 파손된 경우에는 고객 혹은 고객이 직접 선택한 업자, 관계자가 신속하게 수리하거나 또는 그 수리, 손해배상금을 부담하셔야 합니다.

제 8 조 불가분 채무

1. 결혼식·피로연에서의 채무는 양가 및 신랑·신부의 불가분 채무가 되는 것을 양해하여 주십시오.

제 9 조 시설 내에서의 사고·도난

1. 시설 내에서 고객의 관리 하에 발생한 사고·도난에 대해서는 호텔측은 책임을 지지 않으므로 양해하여 주시기 바랍니다.

제 10 조 금지사항

1. 다음에 게재하는 각 항목은 금지사항이므로 삼가 주시기 바랍니다.

(1) 큰 음향을 내는 물품의 반입 및 사용

(2) 개, 고양이, 새 등의 동물, 애완동물류 전반의 반입(단, 법으로 정하는 보조견은 제외)

(3) 발화 또는 인화하기 쉬운 화약이나 휘발성 유류 및 위험성이 있는 제품의 반입

(4) 강한 냄새 또는 악취를 풍기는 물품의 반입

- (5) 법령 또는 선량한 풍속 기타 사회질서에 위반하는 행위, 도박 등 풍기를 문란하게 하는 행위 및 그 밖의 고객에게 현저하게 불편을 끼친다고 인정되는 언동
- (6) 폭력단과 그 관계자의 이용
- (7) 호텔의 비치품 이동
- (8) 예약 시의 사용 목적 이외의 이용
- (9) 기타 법령에 의해 금지되어 있는 행위

제 11 조 계약 체결 거부

1. 피로연 참석 고객이 아래 항목에 저촉되는 경우 또는 천재지변이나 시설물 고장 및 기타 부득이한 사유로 연회장을 사용할 수 없는 경우에는 혼례 피로연 신청을 거절할 수 있습니다. 이 경우 호텔측에서 신청자에 대한 손해배상은 하지 않으므로 양해하여 주시기 바랍니다.
 - (1) 법령 또는 선량한 풍속 기타 사회질서에 위반하는 행위를 할 우려가 있다고 인정되는 경우
 - (2) 다른 고객에게 현저하게 불편을 끼친다고 인정되는 경우
 - (3) 제 3 자에 의한 영업 방해의 우려가 있다고 호텔측이 판단한 경우
 - (4) 폭력단, 폭력단원, 폭력단 관계 기업·단체 또는 관계자 등의 반사회적 세력인 경우
 - (5) 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체인 경우
 - (6) 법인이며, 그 임원 중에 폭력단원에 해당하는 사람이 있는 경우
 - (7) 다른 고객에게 영향을 미칠 우려가 있다고 인정된 경우. 또는 현저하게 불편을 끼치는 언동을 한 경우
 - (8) 당 호텔 혹은 당 호텔 종업원에게 폭력적 요구 행위를 하거나 합리적인 범위를 넘는 부담을 요구한 경우
 - (9) 연회 이용 신청자의 지정 폭력단 등의 지위, 연회 이용의 목적·인원·태도 등에 비추어 다른 고객의 생명, 신체, 재산을 해칠 우려가 있다고 인정되는 사람이 있는 경우
 - (10) 이 「혼례 피로연 규약」 및 개별적으로 맺은 계약을 위반하는 경우

제 12 조 계약 해지

1. 다음에 기재하는 항목에 저촉되는 경우, 고객(이하 고객의 모든 관계자, 참석자를 포함)의 피로연 신청을 거절하거나, 이미 계약하신 경우라도 해지하는 경우가 있으므로 양해하여 주십시오. 또한, 이 경우의 해지에 대해서는 해지에 따른 손해배상 등은 하지 않으므로 양해하여 주시기 바랍니다.
 - (1) 피로연에 참석하는 사람이 법령 또는 선량한 풍속 기타 사회질서에 위반하는 행위를 할 우려가 있는 경우
 - (2) 피로연에 참석하는 사람이 다른 고객에게 현저하게 불편을 끼친다고 인정되는 경우
 - (3) 제 3 자에 의한 영업 방해의 우려가 있다고 호텔측이 판단한 경우
 - (4) 폭력단, 폭력단원, 폭력단 관계 기업·단체 또는 관계자 등의 반사회적 세력인 경우
 - (5) 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체인 경우
 - (6) 법인이며, 그 임원 중에 폭력단에 해당하는 사람이 있는 경우
 - (7) 당 호텔의 다른 고객 및 당 호텔, 호텔의 종업원에 대해서 폭력, 협박, 공갈 등 위압적인 부당한 요구를 할 우려가 있다고 판단되는 경우 또는 일찍이 동일한 행위를 당 호텔 또는 다른

호텔에서 했다고 인정되는 경우

- (8) 천재지변 또는 시설의 고장 및 기타 부득이한 사유로 인하여 연회장을 사용할 수 없는 경우
- (9) 피로연에 참석하는 사람이 명백하게 전염병에 걸려 있는 경우 또는 기타 감염으로 인하여 이환될 우려가 있는 질병에 걸려 있는 경우
- (10) 피로연에 참석하는 사람이 이 「피로연 규약」을 위반한 경우
- (11) 호텔이 지정하는 기일까지 결혼식·피로연 비용을 지불하지 못한 경우

제 13 조 개인정보 취급

- 1. 당 호텔에서는 고객에게 제공 받는 개인정보에 대해서 별도로 정하는 당 호텔의 개인정보보호정책에 준거하여 적절하게 취급합니다.

제 14 조 규약의 변경

- 1. 본 규약은 민법에서 정한 정형화된 약관에 해당하며, 이용객의 일반적인 이익에 적합한 경우 또는 변경의 필요성 및 상당성이 있다고 인정되는 경우에는 민법 규정에 따라 본 규약의 각 조항을 변경합니다.

- 2. 본 규약이 변경된 경우에는 변경 후의 내용을 웹사이트에 게재하고, 게재 시에 정한 효력 발생일부터 변경 후의 내용이 적용되는 것으로 합니다. 또한 본 규약을 변경하는 경우에는 변경 내용 등을 기재한 서면 또는 객실 텔레비전 내 인포메이션 등을 이용하여 적절한 방법으로 주지합니다.

BELLUSTAR TOKYO 使用規則

BELLUSTAR TOKYO 為了讓旅客能有安全舒適的住宿體驗，根據住宿條款第 10 條及餐廳使用規約第 2 條，制定以下使用規則，敬請配合。如果未遵守這些使用規則，根據住宿條款第 7 條及餐廳使用規約第 1 條，將無法入住或使用飯店內各項設施。此外，未遵守這些使用規則所造成的任何事故，旅客可能需自行承擔責任，敬請特別留意。

第 1 條 安全和保安方面的注意事項

1. 請查看客房房門內側及緊急樓梯間張貼的「疏散路線圖」。
2. 請勿將暖氣用或炊具用等的燃具、以及其他可能引起火災的物品帶入房間內。
3. 客房內禁菸。請勿在指定的吸菸室、吸菸區以外的地方吸菸（健康增進法第 5 章第 2 節 25 條）。另外，本項規定也適用於電子香煙，敬請見諒。發現有吸菸時，可能會收取寢具、窗簾、壁紙等的清潔費用及其他維修等的費用，敬請惠予理解。
4. 將溼衣服或毛巾等放在照明設備上或掛在燈罩上晾乾，可能會引起火災。此舉非常危險，請切勿這樣做。
5. 請勿做出其他引起火災的行為。
6. 入住期間內離開客房時，請務必鎖上門（本飯店採自動上鎖設計）。
7. 就寢時，請從門內上鎖並掛上鎖鏈。有人來訪時，請勿隨意開門，並先透過門上的防盜鏡查看。萬一認為是可疑分子時，請通知櫃台人員。
8. 請注意，在浴缸放熱水時，若因小睡等原因將水龍頭打開放置不管，熱水可能會溢出，造成嚴重漏水事故。
9. 請勿在客房裡與外來的訪客會面。
10. 嚴禁登記住宿旅客以外的人士入住。
11. 開車前來的旅客，請將車停放在指定的停車場。
12. 本飯店的旅客使用停車場時，無論是否有寄放車輛鑰匙，本飯店均不負擔車輛的管理責任。

第 2 條 貴重物品和遺失物品的處理

1. 入住期間內，請將現金及貴重物品寄放在客房裡的保險箱內。請注意，未遵守上述程序時，因現金或貴重物品滅失、遺失、損壞、失竊等所造成的任何損失，恕不負擔賠償責任。
2. 飯店內遺失物的處置，將由飯店保管一段期間後，根據遺失物法進行處理。

第 3 條 付款

1. 費用必須以貨幣或本飯店認可的旅遊支票、住宿券、信用卡等方式支付。但在入住期間或在餐廳用餐時本飯店提供帳單的話，請於接到帳單時結算。
2. 如需更改預定的入住天數時，請事先通知櫃台人員。若需延長住宿時間時，請先付清之前的使用費。
3. 在本飯店內的餐廳、酒吧等場所的使用費以房號記帳時，請出示客房鑰匙（房卡和卡套）。（也可能會確認您的姓名。）本飯店也有可能拒絕使用房號記帳的方式。

4. 本飯店可能會在旅客抵達時要求先支付押金，敬請惠予理解。另外，入住期間內，請在每次收到櫃台的帳單時，先至櫃台結算。
5. 原則上恕不受理代墊購物費、機票費、火車費及巴士費等車票費用、計程車費、郵票費用、行李運送費等要求。
6. 關於住宿和餐飲費用，本飯店可能會加收另外，不接受向員工支付小費。
7. 在房間裡使用電話撥至外部時，將加收本飯店規定的使用費。

第 4 條 禁止事項

1. 攜帶下列可能對其他顧客造成困擾的物體進入飯店
 - (1) 狗、貓、鳥等動物及所有寵物（惟法律規定的協助犬除外）
 - (2) 容易起火或引火的火藥、揮發油類以及危險物品
 - (3) 散發難聞氣味或強烈氣味的物品
 - (4) 未經許可持有的槍砲和刀劍類
 - (5) 明顯大量的行李及物品
 - (6) 其他法律禁止持有的物品
 - (7) 其他受到法律禁止的行為
2. 在飯店內賭博、擾亂社會風氣或治安的行為、造成其他顧客困擾或不適感的行為。
3. 在客房或餐廳窗戶上懸掛，或是在窗邊展示任何有損飯店外觀的物品之行為。
4. 未經本飯店許可，將客房或大廳用於商務活動等的行為。
5. 未經本飯店許可，在本飯店內發布廣告、宣傳品或銷售商品。
6. 將飯店內的設施、備品用於規定目的以外的用途，或是嚴重損害現有的狀態。
7. 未經許可，公開展示基於商業目的在飯店內拍攝的照片等的行為。
8. 將個人物品留在走廊或大廳
9. 穿著室內便衣、睡衣、浴衣、拖鞋等，進入走廊、大廳或餐廳酒吧等營業設施。
10. 除了緊急情況或不得已的情況以外，進入飯店員工區、逃生樓梯、屋頂、塔樓、機房等設施內。
11. 從飯店外部點購餐飲外送至飯店（惟飯店合作的餐廳等則許可）
12. 做出損壞、汙染或遺失飯店建築物、傢俱、備品或其他物品的行為時，可能需要支付相對的費用。

第 5 條 飯店使用契約的解除

- (1) 飯店使用者為患有旅館業法第 4 條之 2 第 1 項第 2 號規定的特定傳染病患者時。
- (2) 飯店使用者有下列情形之一時
 - (a) 防止暴力集團成員不當行為等相關法律（1991 年法律第 77 號）第 2 條第 2 號規定的暴力集團（以下稱「暴力集團」）、同條第 2 條第 6 號規定的暴力集團成員（以下稱「暴力集團成員」）、暴力集團關係企業和組織相關人員等反社會勢力
 - (b) 由暴力集團或暴力集團成員控制其事業活動的公司及其他組織
 - (c) 公司幹部為暴力集團等反社會勢力成員者
- (3) 使用飯店者針對住宿提出脅迫或暴力要求的行為，或是要求超過合理範圍的負擔時（惟住宿旅客依據消除殘障人士歧視法第 7 條第 2 項或第 8 條第 2 項規定，要求消除社會障礙的情況除外）。
- (4) 住宿旅客對本飯店要求實施的負擔過重，可能構成明顯妨礙向其他住宿者提供的住宿相關服務，

反覆做出旅館業法施行規則第 5 條之 6 規定的行為時。此外，認定該旅客曾在本飯店或其他飯店曾做出同樣的行為時，將拒絕使用。

第 6 條 環保活動

1. 為了珍惜使用資源，請協助節約用水用電。

第 7 條 使用規則的變更

1. 本使用規則屬於民法規定的定型化條款，如果符合住宿旅客的整體利益時，或認定有必要變更且合理時，將根據民法規定變更本使用規則的各項規定。
2. 本使用規則發生變更時，變更後的內容將刊登於網站上，自刊登時指定的生效日起適用變更後的內容。此外，變更本使用規則時，將以記載了變更內容等的紙本或在客房電視播放內部資訊等適當的方法通知。

住宿條款

第 1 條 適用範圍

1. 本飯店與住宿旅客之間簽訂的住宿契約及其相關契約，均應遵守本條款的規定，本條款未盡事宜依據法令或一般已確立的慣例。
2. 本飯店在不違反法令和慣例的範圍內接受特約時，無論前項規定為何，均以該特約為優先。

第 2 條 住宿契約的申請

1. 欲向本飯店申請住宿契約者，需向本飯店提供以下資訊。
 - (1) 住宿旅客的姓名及人數
 - (2) 住宿日期及預計抵達時間
 - (3) 住宿費用（原則上依據註釋第 1）
 - (4) a.申請人的姓名及聯絡方式 b. 住宿費用的付款人姓名及其聯絡方式
 - (5) 前一晚及後一晚的住宿地點
 - (6) 本飯店認為必要的其他事項
2. 住宿期間內，住宿旅客要求在本條第一項第 2 號規定的住宿日期之後繼續住宿時，本飯店將虞提出該要求時，視為已申請新的住宿契約。

第 3 條 住宿契約的成立等

1. 住宿契約在本飯店受理前條的申請時，即告成立。但已證明本飯店未承諾時，則不在此限。
2. 依據前項規定住宿契約成立時，請在本飯店指定的日期之前，支付飯店規定以住宿期間住宿費為上限的申請費。依據住宿方案另有規定時，則不在此限。
3. 訂金與申請費等，將首先用於抵扣住宿旅客最終需要支付的住宿費和飯店使用費等，如發生適用於本條款第 6 條及第 20 條規定的情況時，則按照違約金、其次賠償金的順序進行抵扣，若仍有餘額，將在依據本條款第 14 條的規定支付費用時退還。
4. 未在本飯店指定的期限內支付本條第 2 項規定的訂金和申請費時，住宿契約即喪失其效力。但僅限於在指定支付訂金和申請費的日期時，本飯店有告知住宿旅客該主旨的情況。

第 4 條 要求配合設施內的預防傳染措施

1. 本飯店可依旅館業法（1948 年法律第 138 號）第 4 條之 2 第 1 項的規定，要求欲住宿的旅客配合。

第 5 條 毋須支付訂金、申請費的特約

1. 無論前條第 3 項規定如何，本飯店可能會接受契約成立後毋須支付該項規定的訂金或申請費等的特約。
2. 同意申請住宿契約時，本飯店未依前條第 3 項規定要求支付訂金或申請費等時，以及未指定該申請費的付款日期時，將視為已接受前項特約的方式處理。

第 6 條 拒絕簽訂住宿契約

1. 在下列情況中，本飯店可能會拒絕簽訂住宿契約。
 - (1) 住宿申請不符合本條款的規定時
 - (2) 因滿房而無空房時
 - (3) 發現欲住宿者有可能做出違反住宿相關的法令規定、公共秩序或善良道德的行為時
 - (4) 欲住宿者為旅館業法第 4 條之 2 第 1 項規定的特定傳染病患者等情形時（以下稱「特定傳染病的患者等」）
 - (5) 欲住宿者屬於防止暴力集團成員不當行為等相關法律（1991 年法律第 77 號）第 2 條第 2 號規定的暴力集團（以下簡稱「暴力集團」、同條第 2 條第 6 號規定的暴力集團成員（以下簡稱「暴力集團成員」、暴力集團關係企業和組織相關人員等反社會勢力時
 - (6) 欲住宿者屬於暴力集團或由暴力集團成員控制其事業活動的公司及其他組織時
 - (7) 欲住宿者的公司幹部中有屬於暴力集團等反社會勢力成員者時
 - (8) 欲住宿者針對住宿提出脅迫或暴力要求的行為，或是要求超過合理範圍的負擔時（惟欲住宿者依據消除殘障人士歧視法（2016 年法律第 65 號，以下稱「消除殘障人士歧視法」）第 7 條第 2 項或第 8 條第 2 項規定，要求消除社會障礙的情況除外）。
 - (9) 欲住宿者對本飯店要求實施的負擔過重，可能明顯妨礙向其他住宿者提供的住宿相關服務，反覆做出旅館業法施行規則第 5 條之 6 規定的行為時。
 - (10) 因天災、設施故障或其他不得已的事由無法提供住宿時
 - (11) 欲住宿者因醉酒等做出對住宿者造成明顯困擾的言行時（根據都道府縣（有設置衛生所的市或特別區，則根據該市或特別區）的條例）。，有可能對於

第 7 條 拒絕簽訂住宿契約的說明

1. 欲住宿者可以要求本飯店說明，本飯店根據前條規定不同意簽訂住宿契約的理由。。

第 8 條 住宿旅客的契約解除權

1. 住宿旅客可以向本飯店提出申請，要求解除住宿契約。
2. 由於應歸責於住宿旅客自身的事由，而解除（依據本條款第 3 條第 2 項規定，本飯店指定了申請費的支付日期並要求支付時，在該支付之前，住宿旅客已解除住宿契約的情況除外）全部或部分住宿契約時，本飯店將收取註釋第 2 所列的違約金。但本飯店在接受了第 5 條第 1 項特約的情況下，則僅限在接受該特約之際，本飯店有向住宿旅客告知解除住宿契約時的違約金支付義務時。
3. 本飯店在未登記信用卡號的住宿旅客未通知的情況下，直到住宿日當天 18:00 為止仍未抵達時，可能會將該住宿契約視為已由住宿旅客解除來處理。

第 9 條 由本飯店解除契約的情形

1. 本飯店在下列情況中，可能會解除住宿契約。
 - (1) 發現住宿旅客有可能做出違反住宿相關法令規定、公共秩序或善良道德的行為時、或是認定已做出類似行為時。
 - (2) 發現住宿旅客明顯屬於特定傳染病患者時，或者其他可能因感染而罹患的疾病時，無論有

- 無症狀，旅客在無正當理由之下，不願配合防止傳染對策的要求時。
- (3) 因天災、設施故障或其他不得已的事由無法提供住宿時
 - (4) 發現欲住宿者醉酒等，可能對其他住宿旅客造成影響時，或是已做出明顯造成其他住宿旅客困擾的言行時。
 - (5) 未遵守本飯店制定使用規則的禁止事項時
 - (6) 在指定吸菸室和吸菸區域以外的地方吸菸時。
 - (7) 在臥室就寢時吸煙、亂動消防設備等以及不遵守飯店制定使用規則的其他禁止事項（僅限預防火災所需的事項）時
 - (8) 發現欲住宿者屬於暴力集團、暴力集團成員、暴力集團相關人員等反社會勢力時
 - (9) 欲住宿者屬於暴力集團或由暴力集團成員控制其事業活動的公司及其他組織時
 - (10) 欲住宿者的公司幹部中有屬於暴力集團等反社會勢力成員者時
 - (11) 欲住宿者對住宿設施或住宿設施的員工，提出暴力、脅迫、恐嚇等威逼的不當要求，或是要求超過合理範圍的負擔時，或者發現曾在本飯店或其他飯店做出同樣的行為時。
 - (12) 由於要求實施的負擔過重，可能構成明顯妨礙向其他住宿者提供的住宿相關服務，反覆做出旅館業法施行規則第 5 條之 6 規定的行為時。
2. 本飯店依前項規定解除住宿契約時，針對住宿旅客尚未接受提供的住宿服務等，不會向住宿旅客收取費用。

第 10 條 住宿登記

1. 住宿旅客必須在入住當天至飯店櫃台登記以下資料
 - (1) 住宿旅客的姓名、年齡、性別以及住址
 - (2) 在日本國內沒有住址的外國人，需提供國籍、護照號碼、入境地點及入境日期（護照影本或掃描護照）、前一晚及後一晚的住宿地點
 - (3) 出發日期及預定出發時間
 - (4) 本飯店認為必要的其他事項
2. 若住宿旅客欲使用住宿券或信用卡等可代替貨幣的方式支付第 14 條規定的費用，應在前項登記時提前出示相關資訊。

第 11 條 客房的使用時間

1. 住宿旅客可以使用本飯店客房的時間，原則上為下午 3:00 至隔天中午（有限制入住／退房時間的住宿方案除外）。但連續入住時，除了抵達當天和離開當天以外，全天都可以使用。
2. 無論前項規定如何，本飯店也可能同意在該項規定的時間以外接受客房的使用。此時將收取以下額外費用。
 - (1) 退房當天中午至～下午 3 點的超時：收取客房費用的 30%
 - (2) 退房當天下午 3 點～下午 6 點的超時：收取客房費用的 50%
 - (3) 退房當天下午 6 點～隔天中午的超時：收取客房費用的 100%

第 12 條 使用規則的遵守

2. 住宿旅客在本飯店內應遵守另行訂定的 BELLUSTAR TOKYO 使用規則。

第 13 條 營業

1. 本飯店的主要設施營業時間，將以各個地點的標示等說明。
2. 前項的營業時間，在必要或不得已的情況下可能會臨時變更。此時將以適當的方式通知。

第 14 條 費用的支付

1. 住宿旅客應支付的住宿費等詳細內容，請見註釋第 1。
2. 前項規定的住宿費等支付，應以貨幣或本飯店認可的住宿券、信用卡等其他可用於替代該付款的方式，在旅客抵達或出發時，或是接獲本飯店的請款時，至櫃台支付。
3. 本飯店向住宿旅客提供的客房處於可以使用的狀態之後，若住宿旅客未入住時，仍將收取住宿費。

第 15 條 本飯店的責任

1. 本飯店在履行住宿契約及其相關契約時，或是因未履行而對住宿旅客造成損害時，將賠償該損失。但因不應歸責於本飯店的因素，則不在此限。

第 16 條 無法提供簽約客房時的處理方式

1. 本飯店無法提供住宿旅客簽約的客房時，將在徵得旅客同意後，盡可能安排其他同等條件的住宿設施。
2. 無論前項規定如何，本飯店無法安排其他住宿設施時，將向住宿旅客支付相當於違約金額的補償費，以該補償費作為損失賠償金額。但若非應歸於飯店的事由無法提供客房時，則不支付補償費。

第 17 條 寄存物品的處理

1. 住宿旅客在櫃台寄存的物品發生遺失或破損等損失時，除了因不可抗力造成的情形以外，本飯店將負責賠償該損失。但關於現金和貴重物品，如果本飯店有要求顧客申報該物品的種類和價值，而住宿旅客並未申報時，本飯店負擔的該筆損失賠償責任將以 15 萬日圓為上限。
2. 關於住宿旅客攜帶進入本飯店的物品或現金及貴重物品，未寄存在櫃台的部分，除了因本飯店故意或過失，而造成遺失或破損等損失的情形以外，本飯店恕不負責。
但住宿旅客事先並未向本飯店申報該物品的種類和價值，而歸責於本飯店時，本飯店將以 15 萬日圓為上限賠償該損失。

第 18 條 住宿旅客行李或個人物品的寄存

1. 住宿旅客的行李在入住之前先送達飯店時，僅限於本飯店已事先同意之下將負責保管。行李將在住宿旅客於櫃台辦理入住手續時交付，或是送至客房。
2. 住宿旅客退房後將行李或個人物品遺留在飯店時，若未接獲持有人的指示或不確定持有人，將根據遺失物法處理。
3. 在本條第 2 項的情況中，本飯店保管住宿旅客行李或個人物品的責任，就本條第 1 項而言，將依前條第 1 項的規定辦理；就本條第 2 項而言，則依前條第 2 項的規定為準。
4. 拾得物在保管一定期限後，將依照遺失物法處理。

第 19 條 停車責任

1. 住宿旅客使用東急歌舞伎町摩天大樓地下停車場時，無論是否有寄放車輛的鑰匙，本飯店恕不承擔車輛的管理責任。但在管理停車場時，若因本飯店故意或過失造成損失，本飯店將承擔該筆賠償責任。

第 20 條 住宿旅客的責任

1. 因住宿旅客的故意或過失造成本飯店損失時，住宿旅客需向本飯店賠償該筆損失。

第 21 條 個人資訊的處理

1. 本飯店對於旅客提供的個人資訊，將依照本飯店的隱私權政策妥善處理。

第 22 條 免責事項

1. 使用本飯店的電腦進行通訊的風險，應由使用者自行承擔。即使在使用電腦通訊時，因系統故障或其他原因導致服務中斷，造成用戶遭受任何損失時，除了因本飯店故意或重大過失造成的情形以外，本飯店恕不負擔任何責任。另外，在使用電腦進行通訊時，若本飯店判斷有不適當的行為對本飯店及第三方造成損害，將要求顧客賠償該損失。

第 23 條 條款的變更

1. 本條款屬於民法規定的定型化條款，如果符合住宿旅客的整體利益時，或認定有必要變更且合理時，將根據民法規定變更本條款的各項條款。
2. 本條款發生變更時，變更後的規定內容將刊登在網站上，自刊登時指定的生效日起適用變更後的內容。另外，變更本條款時，將以記載了變更內容等的紙本或在客房電視播放內部資訊等適當的方法通知。

註釋第 1 住宿費用等的明細（與第 2 條第 1 項及第 14 條第 1 項有關）

住宿旅客應支付的總額為下列項目的合計。

- 住宿費用 ① 客房費用＋服務費
- 額外費用 ② 餐飲費及其他使用費（含手續費、服務費）
- 稅金 各種稅款
※稅法如有修改，則適用修改後的規定。

註釋第 2 違約金（與第 9 條第 2 項有關）

根據收到解除契約通知的日期和申請人數規定如下。

- 一般
未入住 100%
當天 100%
前一天 100%（15:00 之後）

■ 團體（10 間客房以上）

未入住 100%

當天 100%

前一天 100%

7 天前 80%

30 天前 50%

60 天前 30%

90 天前 20%

■ 團體（31 間客房以上）

未入住 100%

當天 100%

14 天前 100%

30 天前 80%

60 天前 50%

90 天前 30%

※ %表示違約金相對於訂房時的住宿費比例。（不含服務費及消費稅）

※住宿套裝方案等另行規定違約金時，則以該公告金額作為違約金收取。

※縮短契約天數時，無論縮短多少天，均收取一天份（第一天）的違約金。

※住宿套裝方案等另有設定違約金時，將以該公告金額作為違約金收取。

※關於透過各家旅行社訂房的取消事宜，依照代辦旅行社的規定辦理。

餐廳使用規約

BELLUSTAR TOKYO 的餐廳為了讓顧客滿意，針對使用相關事宜設定以下使用規約，敬請惠予理解。

第 1 條 拒絕使用及預約／契約的解除

在下列情況中，請勿使用本服務（包括使用時的預訂和簽訂契約）。另外，預約或簽訂契約後發現有該事實時，將立即解除預約或契約。

1. 使用者符合以下情形時

- (1) 有屬於暴力集團、暴力集團成員、暴力集團關係企業或組織的相關人員等反社會勢力
- (2) 由暴力集團或暴力集團成員控制事業活動的公司及其他組織
- (3) 公司幹部中有屬於暴力集團成員者

2. 對餐廳或員工做出暴力、脅迫、恐嚇等威逼的行為，或是要求超過合理範圍的負擔時，或者發現
在本餐廳或其他餐廳曾經做出同樣的行為時。

3. 對其他使用者做出明顯造成困擾的言行時

4. 欲使用者明顯患有傳染病時，或者患有其他可能因感染而罹患的疾病時。

5. 預約或契約的內容（使用目的）與申請時不同，明顯進行了虛假申報時。

6. 偏離各餐廳規定的服裝要求時（服裝要求為商務休閒風格）

第 2 條 使用規則的遵守

1. 使用餐廳的顧客，將視為已同意本飯店另行訂定的 BELLUSTAR TOKYO 使用規則。

第 3 條 禁止事項

1. 請勿做出以下列舉的事項。

- (1) 狗、貓、鳥等動物及所有寵物（惟法律規定的協助犬除外）
- (2) 攜帶容易起火或引火的火藥、揮發油類以及危險物品進入
- (3) 攜帶散發強烈香味或難聞氣味的物品進入
- (4) 未經許可擅自攜帶其他商店或私人的餐飲食品進入
- (5) 違反法令或公序良俗的行為、以及造成其他顧客困擾或不適的行為
- (6) 攜帶本飯店銷售的外賣商品以外的食品進入
- (7) 在店內使用手機時未開啟禮貌模式及靜音模式
- (8) 未經許可擅自移動桌椅等備品
- (9) 其他受到法律禁止的行為

第 4 條 營業

1. 本飯店的主要餐廳如下，餐廳等的詳細營業時間，將公布於網站及各個餐廳。

Restaurant Bellustar 45 樓

Bar Bellustar 45 樓

鐵板燒「天祐」 45 樓

壽司「甚江」 45 樓

2. 前項的營業在必要或不得已的情況下，可能會有變動。

第 5 條 取消政策

1. 關於預約，原則上將依據料理內容的金額和包廂費用收取規定的取消費。
 - 5 天前 30%
 - 3 天前~1 天前 50%
 - 當天 100%
2. 尚未決定餐點內容時，將依預約餐廳時的人數收取最低價套餐的費用。
3. 因自然災害等不得已的事由而取消時則不適用。

第 6 條 免責事項

1. 本飯店銷售的外帶商品，購買後超過消費期限時，餐廳恕不承擔責任。
2. 菜單可能依進貨狀況而有變更。
3. 有過敏情形的顧客請事先告知。若未事先告知時，餐廳恕不承擔責任，敬請惠予理解。

第 7 條 損失賠償

1. 請充分注意，避免因為顧客的過失，而損壞、損傷餐廳的設施、傢俱等。
2. 如有故意損壞、損傷設施、傢俱備品等情形時，可能會要求賠償相當的金額，敬請惠予理解。

第 8 條 用餐人數的確定

1. 預約時，關於用餐人數的部分，請在用餐前一天中午前告知餐廳的承辦人員。

第 9 條 使用規約的變更

1. 本使用規約屬於民法規定的定型化條款，如果符合用餐顧客的整體利益時，或認定有必要變更且合理時，將根據民法規定變更本使用規約的各項規定。
2. 本使用規則發生變更時，變更後的內容將刊登於網站上，自刊登時指定的生效日起適用變更後的內容。此外，變更本使用規則時，將以記載了變更內容等的紙本或在客房電視播放內部資訊等適當的方法通知。

宴會規則

BELLUSTAR TOKYO 為求順利舉辦宴會制定了以下規約，敬請惠予理解。

第 1 條 申請

1. 暫定預訂

申請宴會廳時，有設定暫定預訂期間。暫定預約期間原則上為申請日起的 1 週（7 天）期間內，請在此期間內告知飯店是否要舉辦宴會。未在暫定預約期間內告知飯店時，將視為暫定宴會不預定舉辦。

2. 完成簽約

接獲決定舉辦的通知後，交換宴會受理單或支付申請費，契約即告成立。申請費的金額，將由本飯店根據宴會的內容呈報。

第 2 條 押金

1. 本飯店呈報的金額，最晚必須在宴會日期的 7 天前支付給本飯店作為押金。在此期間內未收到款項時，宴會可能會被取消。

第 3 條 最終確認

1. 預計人數或菜餚數量如有變動時，請在每次變動時通知我們。最晚至宴會日期前兩天的中午為止可受理變更，但需要減少時，最多容許減少最終預計人數和菜餚數量的 10%。我們將以申請人的通知作為最終的確認。未接獲通知時，將依照預訂內容處理。

第 4 條 宴會時間

1. 請在宴會廳使用開始至結束的約定時間（宴會時間）內，支付指定的包廂費，若超過宴會時間將額外收取包廂費。但因有下一個宴會場的使用時間，可能無法滿足超過使用時間的要求。

第 5 條 結算

1. 宴會結束後，請在本飯店事先確定的付款日期之前，支付已確認的使用金額（結算金額）。押金超出總付款金額時，本飯店將退還差額。

第 6 條 佈置裝飾、娛樂等的安排

1. 原則上，關於宴會的裝飾、鮮花、音樂、娛樂、音響照明以及派對同伴等，將由飯店安排給指定業者處理。
2. 經本飯店同意後，關於申請人直接安排的業者要進行的事宜，請提前告知本飯店，以便確保宴會順利進行。請勿在未經飯店方面事先同意的情況下，直接安排給業者。另外，關於對申請者人安排業者所做的指示，請遵從飯店的指示。

第 7 條 損失賠償

1. 因申請人（包括申請方的所有相關人員、主辦人、宴會出席者）或申請人安排業者的故意

或過失，導致本飯店遭受損失（飯店設施、傢俱備品等的破損、損傷、汙損等）時，需由該申請人賠償該損失。

第 8 條 設施內的事故、遺失、失竊

1. 關於在設施內，在顧客的管理下發生的事故、遺失、失竊，飯店方面恕不承擔責任，敬請惠予理解。

第 9 條 拒絕簽訂契約

1. 參加宴會的顧客違反下列事項之一時，或是因自然災害、設施故障或其他不得已之事由，導致宴會廳無法使用時，將拒絕受理宴會的申請。此時，恕不負擔因拒絕簽訂契約而產生的損失賠償等，敬請惠予理解。
 - (1) 認為可能違反法令或公序良俗時
 - (2) 認為可能造成其他顧客困擾時，或是已做出造成困擾言行時。
 - (3) 飯店方面判斷第三方可能妨礙營業時
 - (4) 發現有屬於暴力集團、暴力集團成員、暴力集團關係企業或組織的相關人員等反社會勢力時
 - (5) 屬於由暴力集團或暴力集團成員控制事業活動的公司及其他組織時
 - (6) 公司幹部中有屬於暴力集團成員者時
 - (7) 對本飯店或本飯店的員工，提出暴力、脅迫、恐嚇等威逼的不當要求，或是要求超過合理範圍的負擔時，或者發現曾在本飯店或其他飯店做出同樣的行為時。
 - (8) 違反本「宴會規約」及個別簽訂的契約時

第 10 條 解除契約

1. 適用或違反以下任何一項情形時，飯店方面可能會拒絕宴會，或是取消已簽訂的契約，敬請惠予理解。請注意，在此情況下，恕不承擔因解除契約而造成的任何損失。
 - (1) 認為參加宴會者可能做出違反法令或公序良俗的行為時
 - (2) 認為可能會造成其他顧客困擾時
 - (3) 飯店方面判斷第三方可能妨礙營業時
 - (4) 因自然災害、設施故障或其他不得已的事由，導致宴會廳無法使用時。
 - (5) 發現有屬於暴力集團、暴力集團成員、暴力集團關係企業或組織的相關人員等反社會勢力時
 - (6) 參加宴會者屬於暴力集團或由暴力集團成員控制其事業活動的公司及其他組織時
 - (7) 參加宴會的公司幹部中有暴力集團或者時
 - (8) 參加宴會者，對本飯店或本飯店的員工，提出暴力、脅迫、恐嚇等威逼的不當要求，或是要求超過合理範圍的負擔時，或者發現曾在本飯店或其他飯店做出同樣的行為時。
 - (9) 參加宴會者明顯患有傳染病時，或者患有其他可能因感染而罹患的疾病時。
 - (10) 宴會的內容（使用目的）與申請時不同，進行了明顯的虛假申報時。
 - (11) 其他違反本「宴會規約」及個別簽訂的契約時

第 11 條 禁止事項

1. 以下列舉的各個項目皆為禁止事項，敬請避免。
 - (1) 狗、貓、鳥等動物及所有寵物（惟法律規定的協助犬除外）
 - (2) 攜帶容易起火或引火的火藥、揮發油類以及危險物品進入
 - (3) 攜帶散發強烈香味或難聞氣味的物品進入
 - (4) 違反法令或公序良俗的行為、以及造成其他顧客困擾或不適的行為
 - (5) 未經許可擅自移動飯店的備品
 - (6) 用於預定用途以外的目的
 - (7) 其他受到法令禁止的行為

第 12 條 取消費／變更日程

1. 簽訂契約後取消或變更日程時，從活動舉辦日起，根據取消／變更日期，原則上將收取下列取消費和變更費。

從簽約日期到活動日期的 121 天前：最新報價總額的 10%+實際費用

活動日期的 120 天前～90 天前：最新報價總額的 20%+實際費用

活動日期的 89 天前～30 天前：最新報價總額的 30%+實際費用

活動日期的 29 天前～8 天前：最新報價總額的 50%+實際費用

活動日期的 7 天前～1 天前：最新報價總額的 80%+實際費用

活動當天：最新報價總額的 100%+實際費用

※「最新報價總額」是指：與顧客在飯店交換的最新報價單中，包含申請費及已收款金額的總額。

※「實際成本」是指：已訂購的印刷物等成本及其他外包項目的解約費用

※ 關於日程的延期，將比照解約的情況收取消費。

第 13 條 個人資訊的處理

本飯店對於旅客提供的個人資訊，將依照本飯店的隱私權政策妥善處理。

第 14 條 規約的變更

1. 本規約屬於民法規定的定型化條款，如果符合顧客的整體利益時，或認定有必要變更且合理時，將根據民法規定變更本使用規約的各項規定。
2. 本規約發生變更時，變更後的內容將刊登在網站上，自刊登時指定的生效日起適用變更後的內容。另外，變更本規約時，將以記載了變更內容等的紙本或在客房電視播放內部資訊等適當的方法通知。

婚禮／婚宴規約

BELLUSTAR TOKYO 為求順利舉辦婚宴，制定以下規約，敬請惠予理解。

第 1 條 契約的成立

1. 預訂婚禮或婚宴時，請在申請書上填寫必要事項，由申請人簽名並支付申請費。暫收的申請費，將作為婚禮和婚宴實施費用的一部分金額。另外，申請費為 10 萬日圓，付款後契約即成立。

第 2 條 婚宴時間及追加房費

1. 宴會廳等的使用時間，需控制在約定的使用時間內。由於顧客因素超出約定的使用時間時，可能會收取追加的房費及延長時間相關的其他費用。但因有牽涉到下一場宴會廳的使用時間，可能無法開放延長使用時間。

第 3 條 付款

1. 婚宴的費用請依照飯店呈報的預估費用，透過銀行轉帳或現金支付以下金額。未在指定日期前付款，契約將失效。此時，將收取第 5 條規定的取消費用。產生多付或不足的金額時，將於婚宴活動日起 30 天內進行結算。
活動日期的 1 個月前：預估金額的 50%
活動日期的 7 天前：預估金額的 100%

第 4 條 人數確定後的變更

1. 即使參加婚宴的顧客人數和物品數量，與飯店指定期限前最終確定的人數及數量相比有所減少，仍將按照最終確認的數量請款。

第 5 條 取消費和日期的變更

欲取消或變更已簽訂契約的婚禮／婚宴日期時，需支付以下的取消費和變更日期費用。

- 取消費和變更日期費用

申請日期的 181 天前：申請費的 50%

180 天前～121 天前：全額申請費及實際成本等各項費用

120 天前～91 天前：全額申請費、最新報價總額的 20%、實際成本等各項費用

90 天前～31 天前：全額申請費、最新報價總額的 30%、實際成本等各項費用

30 天前～11 天前：全額申請費、最新報價總額的 45%、實際費用

10 天前～1 天前：全額申請費、最新報價總額的 45%、已交付物品費用及其他實際成本等各項費用

活動當天：全額申請費、最新報價總額的 100%、已交付物品費用及其他實際成本等各項費用

※ 自婚禮／婚宴當天起計算

※ 取消費和日期變更費不包括稅金和服務費，實際成本包括稅金。

※ 「最新報價總額」是指：與顧客在飯店交換的最新報價單中，包含申請費及已收款金額的總額。

※ 「實際成本」是指：已訂購的印刷物等成本及其他外包項目的解約費用

※ 關於日程的延期，將比照解約的情況收取消費。

第 6 條 佈置裝飾、娛樂等的安排

1. 關於裝飾、鮮花、服裝、美容、裝扮、攝影、音響、燈光、娛樂、回禮等（包括承包企劃、施工等的個人和公司），將由飯店安排給指定業者處理。由於顧客的因素，直接安排飯店指定業者以外的業者時，為了確保婚禮／婚宴順利進行，請提前告知本飯店後再行安排。另外，在上述情況中，請遵循飯店針對搬進搬出、安裝位置、方法等的指示。此外，可能需另行支付安裝費用和處理手續費等。另外，關於電吉他、小號、太鼓、樂隊、管弦樂團等的演奏，由於會影響到其他會場，可能要求禁止使用。

第 7 條 損失賠償

1. 請要求顧客的相關人員或顧客直接安排的業者充分注意，避免造成飯店設施、傢俱備品等破損或損傷。萬一造成本飯店的設施、傢俱備品等破損時，需由顧客或顧客直接安排的業者、相關人員迅速修理，或是負擔該筆修理、損失的賠償金額。

第 8 條 不可分割債務

1. 請注意，與婚禮、婚宴相關的債務，屬於雙方家庭和新人不可分割的債務。

第 9 條 設施內的事故、失竊

1. 關於在設施內，在顧客的管理下發生的事故、失竊，飯店方面恕不承擔責任，敬請惠予理解。

第 10 條 禁止事項

1. 以下列舉的各個項目皆為禁止事項，敬請避免。

- (1) 攜帶及使用產生巨大聲響的物品
- (2) 狗、貓、鳥等動物及所有寵物（惟法律規定的協助犬除外）
- (3) 攜帶容易起火或引火的火藥、揮發油類以及危險物品進入
- (4) 攜帶散發強烈香味或難聞氣味的物品進入
- (5) 違反法令或公序良俗的行為、賭博等擾亂社會風氣的行為，以及明顯會造成其他顧客困擾的言行。
- (6) 暴力集團及其相關人員的使用
- (7) 擅自移動飯店的備品
- (8) 用於預約時的使用目的以外
- (9) 其他受到法律禁止的行為

第 11 條 拒絕簽訂契約

1. 參加婚宴的顧客違反下列事項之一時，或是因自然災害、設施故障或其他不得已的事由，導致宴會廳無法使用時，將拒絕受理婚宴的申請。此時，飯店方面恕不負擔對於申請人的損失賠償責任，敬請惠予理解。

- (1) 認為可能違反法令或公序良俗時
- (2) 認為會對其他顧客明顯造成困擾時
- (3) 飯店方面判斷第三方可能妨礙營業時
- (4) 有屬於暴力集團、暴力集團成員、暴力集團關係企業或組織的相關人員等反社會勢力時
- (5) 屬於由暴力集團或暴力集團成員控制其事業活動的公司及其他組織時
- (6) 公司幹部中有屬於暴力集團成員者時
- (7) 認為可能會對其他顧客造成影響時，或是做出明顯造成困擾的言行時。
- (8) 對本飯店或本飯店的員工提出脅迫或暴力要求的行為，或是要求超過合理範圍的負擔時。
- (9) 根據宴會使用申請人在指定暴力集團等中的地位、宴會的使用目的、人數、形態等，可能有損害其他顧客的生命、身體、財產者時。
- (10) 違反本「婚禮婚宴規約」或另行簽訂的契約時。

第 12 條 解除契約

1. 針對以下列舉的項目，可能會拒絕顧客（以下包括顧客的所有相關人員和參加者）提出的婚宴申請，或是即使已經簽約也可能會取消契約，敬請惠予理解。請注意，在此情況下，恕不賠償因解約而造成的損失等。
 - (1) 參加婚宴者可能做出違反法令或公序良俗的行為時
 - (2) 認為參加婚宴者會對其他顧客明顯造成困擾時。
 - (3) 飯店方面判斷第三方可能妨礙營業時
 - (4) 有屬於暴力集團、暴力集團成員、暴力集團關係企業或組織的相關人員等反社會勢力時
 - (5) 屬於由暴力集團或暴力集團成員控制其事業活動的公司及其他組織時
 - (6) 公司幹部中有屬於暴力集團成員者時
 - (7) 判斷可能於本飯店的其他顧客及本飯店和本飯店的員工，提出暴力、脅迫、恐嚇等威逼的不當要求時，或是要求超過合理範圍的負擔時，或者發現曾在其他飯店做出同樣的行為時。
 - (8) 因自然災害、設施故障或其他不得已的事由，導致宴會廳無法使用時。
 - (9) 參加婚宴者明顯患有傳染病時，或者患有其他可能因感染而罹患的疾病時。
 - (10) 參加婚宴者違反本「婚宴規約」時
 - (11) 未在飯店規定的日期之前支付婚禮／婚宴的費用時

第 13 條 個人資訊的處理

1. 本飯店對於旅客提供的個人資訊，將依照本飯店的隱私權政策妥善處理。

第 14 條 規約的變更

1. 本規約屬於民法規定的定型化條款，如果符合顧客的整體利益時，或認定有必要變更且合理時，將根據民法規定變更本使用規約的各項規定。
2. 本規約發生變更時，變更後的內容將刊登在網站上，自刊登時指定的生效日起適用變更後的內容。另外，變更本規約時，將以記載了變更內容等的紙本或在客房電視播放內部資訊等適當的方法通知。

BELLUSTAR TOKYO 使用规则

为了让客人住得安全舒适，BELLUSTAR TOKYO 根据住宿条款第 10 条和餐馆服务规章第 2 条，制定使用规则如下，请您予以配合。若您不能遵守本使用规则，我方将依据住宿条款第 7 条和餐馆服务规章第 1 条，谢绝您住宿或使用酒店内的各种设施。请您特别注意，因您不能遵守本使用规则而发生的事故，可能让客人承担损失。

第 1 条 安全和安保上希望您遵守的事项

- 1.各客房门内侧和疏散楼梯处贴有“消防疏散示意图”，请确认。
- 2.请勿将取暖、做饭等的盛火器具以及其他引起火灾的物品带入房间。
- 3.客房内禁止吸烟。请勿在指定的吸烟室和吸烟处以外的场所吸烟。（健康增进法第 5 章第 2 节 25 条）。本款还适用电子烟，敬请谅解。发现吸烟的，我方可能收取寝具、窗帘和墙纸等的清洁费以及其他维修等所需的费用，敬请谅解。
- 4.为了干燥湿衣服和毛巾等而放在灯具上或挂在灯罩上，会引起火灾。非常危险，请务必禁止。
- 5.请勿做出其他引起火灾的行为。
- 6.在您住宿期间，出客房时，请务必确认上锁（本酒店为自动上锁）。
- 7.您在就寝期间，请锁好内锁，挂上搭扣。有访客时，请勿轻易开门，而是通过门眼进行确认。万一怀疑是可疑人员，请您与接待处联系。
- 8.请您注意，往浴缸放热水时，若因假寐以及其他原因而一直打开龙头，会导致水溢出，引发严重的漏水事故。
- 9.请勿与外来客人在客房内会面。
- 10.坚决谢绝非住宿登记人员住宿。
- 11.请用车客人在规定的停车场停车。
- 12.本酒店客人使用停车场时，不论是否寄存车辆钥匙，我方不承担车辆管理责任。

第 2 条 关于贵重物品、遗失物品的处理

1. 您在停留期间如需保管现金、贵重物品，请使用备置在客房的保险柜。不办理上述手续，因现金、贵重物品灭失、丢失、毁损、失窃等而产生的损失，我方不予赔偿，敬请谅解。
2. 酒店内遗失物品的处理，将由酒店保管一定期间，之后我方根据遗失物品法进行处理。

第 3 条 关于支付

1. 费用以货币或本酒店认可的住宿券、信用卡等的方式进行支付。但在您停留期间或使用餐馆期间，若本酒店向您出示账单，请每次进行结账。
2. 若您变更计划的住宿天数，请您预先与接待处工作人员联系。若延长，请您支付在此之前的使用价款。
3. 若您希望将酒店内的餐馆、酒吧等的使用费用记在客房账上，请您出示客房钥匙（房卡和钥匙包）。（还可能问及姓名）某些情况下可能会拒绝您使用客房记账。
4. 到达时，我方将收取押金，敬请谅解。在您停留期间，若前台向您出示账单，请每次到前台结账。

5. 我方原则上谢绝垫付购物款、机票、火车票或汽车票等的费用，以及打车费、邮票费、行李运费等。
6. 依据本酒店的判断，住宿费和餐饮费用中可能会加上服务费。谢绝给员工小费。
7. 您在使用酒店电话拨打到酒店外部时，将加上酒店规定的使用费用。

第4条 禁止事项

1. 将打扰其他客人的东西带入酒店内：
 - (1)所有动物、宠物类，如狗、猫、小鸟等（法律规定的服务犬除外）；
 - (2)易着火或引燃的炸药、挥发油类以及有危险的制品；
 - (3)发出恶臭和强烈气味的物品；
 - (4)无许可证的枪、刀械；
 - (5)明显大量的行李和物品；
 - (6)其他法律禁止持有的物品；
 - (7)其他法律禁止的行为。
2. 在酒店内赌博、扰乱社会风气和治安的行为、困扰其他客人的行为、令他人产生不适的行为。
3. 将有损酒店外观的物品挂在客户或餐馆窗子上的行为、或摆放在窗户侧面的行为。
4. 未经本酒店许可，在客房或大厅等酒店楼内营业。
5. 未经本酒店许可传播广告宣传物和销售货物。
6. 在酒店内将设施、设备用于非规定场所和用途，明显有损现状。
7. 未经许可将酒店内拍摄的照片等出于商业目的公开的行为。
8. 在走廊或大厅放置所持有的物品。
9. 穿着睡衣、浴衣、睡衣裤、拖鞋等使用走廊、大厅和餐馆、酒吧等营业设施。
- 10.除紧急事件或不得已的情况以外，进入酒店员工区域、疏散楼梯、屋顶、阁楼、机房等设施。
- 11.来自酒店外部的的外卖餐饮(但酒店合作的餐饮店等则可)
- 12.若您损坏、污染或丢失酒店建筑物、家具、设备以及其他物品，将进行等价赔偿。

第5条 酒店使用合同的解除

- (1)酒店用户是旅馆业法第4条之2第1款第2项规定的特定传染病患者等。
- (2)酒店用户中有符合以下情形的人：
 - A. 关于防止反黑社会性质组织成员不正当行为等的法律（1991年法律第77号）第2条第2项规定的黑社会性质组织（下称“黑社会性质组织”）、该条第2条第6项规定的黑社会性质组织成员（下称“黑社会性质组织成员”）、黑社会性质组织关联企业和团体的涉及者等反社会势力；
 - B. 黑社会性质组织或黑社会性质组织成员控制商业活动的法人以及其他团体；
 - C. 担任法人，其董事会成员有符合黑社会性质组织等反社会势力的人的。
- (3)酒店用户在住宿方面做出高压或暴力要求行为，或要求超出合理范围的承担（但住客要求根据消除残疾人歧视法第7条第2款或第8条第2款规定消除社会壁垒的除外）
- (4)住客向本酒店反复提出旅馆业法施行规则第5条之6规定的要求，其执行造成的负担过重，可能明显阻碍向其他房客提供住宿服务。或者被认为曾在本酒店或其他酒店做出过同样行为的，我方将谢绝使用。

第 6 条 绿色活动

1. 为了珍惜资源，请配合节电、节水。

第 7 条 使用规则的变更

1. 本使用规则符合民法规定的格式条款，符合客人的一般利益或认为有变更的必要性和相当性的，我方将根据民法的规定变更本使用规章各条款。
2. 本使用规章变更的，变更后的内容刊登在网站上，自刊登时规定的生效日起适用变更后的内容。变更本使用规章时，我方会将变更内容等以书面或者用客房电视内资讯等适当的方式公之于众。

住宿条款

第 1 条 适用范围

1. 本酒店与住客签订的住宿合同以及相关的合同，应依本条款的约定，本条款未尽事宜，应依法律法规或公认的习惯。
2. 本酒店在不违反法律法规和习惯的范围内响应特别约定的，虽有前款规定，应以该特别约定为准。

第 2 条 住宿合同的要约

1. 欲向本酒店发出住宿合同要约的人士，向本酒店提出以下事项：
 - (1)房客姓名及住宿人数；
 - (2)住宿日及预计到达时间；
 - (3)住宿费用（原则上依照注释第 1）
 - (4)a. 要约人姓名及其联系方式； b. 住宿费用的支付者姓名及其联系方式。
 - (5)上一站和下一站；
 - (6)其他本酒店认为需要的事项。
2. 住客在住宿过程中超过本条第一款第 2 项的住宿日提出继续住宿的，本酒店视为在其提出之时有了新的住宿合同的要约。

第 3 条 住宿合同的成立等

1. 本酒店对前条之要约作出承诺时，住宿合同成立。已证明本酒店未作出承诺的除外。
2. 根据前款规定，住宿合同成立的，您将在本酒店指定的日期之前支付以住宿期间的住宿费用为限度而由本酒店规定的要约金。按套餐另行约定的除外。
3. 押金或要约金首先用于住客最终应支付的住宿费用或酒店使用费用，发生适用第 6 条 或第 20 条 之规定的事件时，将以次于违约金的顺序用于赔偿金，若有余额，在根据本条款第 14 条之规定支付费用时退还。
4. 本条第 2 款的押金或要约金若不能根据该款规定在本酒店指定的日期之前支付，则住宿合同失效。但仅限于指定押金或要约金的支付日期时本酒店已告知住客的情形。

第 4 条 要求配合采取设施相关的感染预防措施

1. 本酒店可要求欲住宿的人员根据旅馆业法（1948 年法律第 138 号）第 4 条之 2 第 1 款规定予以配合。

第 5 条 无需支付押金、要约金的特别约定

1. 虽有前条第 3 款规定，本酒店可能响应合同的成立后无需支付该款的押金或要约金的特别约定。
2. 对住宿合同的要约作出承诺时，本酒店未要求支付前条第 3 款的押金或要约金以及未指定该要约金的支付日期的，我方将视为已响应前款的特别约定。

第 6 条 拒绝签订住宿合同

1. 下列情况下，本酒店可能拒绝住宿合同的签订：

- (1)住宿的要约不依据本条款的；
- (2)因客房（人员）满额而无客房的；
- (3)欲住宿的人员被认为在住宿方面可能做出违反法律法规的规定、公共秩序或善良风俗的行为的；
- (4)欲住宿的人员是旅馆业法第 4 条之 2 第 1 款第 2 项规定的特定传染病患者等（下称“特定传染病患者等”）的；
- (5)欲住宿的人员是关于反黑社会性质组织成员不正当行为等的法律（1991 年法律第 77 号）第 2 条第 2 项规定的黑社会性质组织（下称“黑社会性质组织”）、该条第 2 条第 6 项规定的黑社会性质组织成员（下称“黑社会性质组织成员”）、黑社会性质组织关联企业和团体的涉及者等反社会组织的；
- (6)欲住宿的人员是黑社会性质组织或黑社会性质组织成员控制商业活动的法人以及其他团体的；
- (7)欲住宿的人员是法人，其董事会成员中有属于黑社会性质组织成员的人的；
- (8)欲住宿的人员在住宿方面做出高压或暴力要求行为，或要求超出合理范围的承担（但要求根据关于推进消除欲住宿的人员以残疾为由的歧视的法律（2016 年法律第 65 号，下称“消除残疾人歧视法”）第 7 条第 2 款或第 8 条第 2 款规定消除社会壁垒的除外）
- (9)欲住宿的人员向本酒店反复提出旅馆业法施行规则第 5 条之 6 规定的要求，其执行造成的负担过重，可能明显阻碍向其他房客提供住宿服务；
- (10)因天灾、设施的故障以及其他不得已的原因而无法安排住宿；
- (11)欲住宿的人员因醉酒等，可能明显打扰其他房客，以及做出明显打扰房客的言行（根据都道府县（设置保健所的市或特别区为市或特别区）的条例）。

第 7 条 拒绝签订住宿合同的说明

1. 本酒店根据前条拒绝签订住宿合同的，欲住宿的人员可要求本酒店说明其原因。

第 8 条 住客的合同解除权

1. 住客可向本酒店提出，解除住宿合同。
2. 住客因可归责于其原因而全部或部分地解除住宿合同的（根据第 3 条第 2 款规定本酒店指定要约金的支付日期要求其支付时，在该支付之前住客已解除住宿合同的除外），本酒店将根据注释第 2 所列收取违约金。但当本酒店响应第 5 条第 1 款的特别约定时，仅限于在响应其特别约定时，对于住客已解除住宿合同的违约金支付义务，本酒店已告知住客的情况。
3. 无信用登记的住客未联系而在住宿日当天下午 6 时仍未到达的，本酒店可能视为该住宿合同已由住客解除。

第 9 条 本酒店解除合同

1. 下列情况下，本酒店可能解除住宿合同：
 - (1)住客在住宿方面被认为可能做出违反法律法规的规定、公共秩序或善良风俗的行为的，或被认为已做出该行为的；
 - (2)住客被明确认定为传染病患者的，或患有其他可能因感染而罹患的疾病的，无论有无症状，无正当理由且不响应配合感染预防措施要求的；
 - (3)因天灾、设施的故障等以及其他不得已的原因而无法安排住宿的；

- (4)欲住宿的人员因醉酒等而被认为可能影响其他住客的，或者明显做出打扰的言行的；
 - (5)不服从本酒店制定的使用规则的禁止事项的；
 - (6)在指定的吸烟室、吸烟处以外场所吸烟的；
 - (7)在寝室躺着吸烟、破坏消防设备等以及其他不服从本酒店制定的使用规则的禁止事项（仅限于火灾预防上所需的）的；
 - (8)欲住宿的人员是黑社会性质组织、黑社会性质组织成员、黑社会性质组织关联企业和团体的涉及者等反社会组织的；
 - (9)欲住宿的人员是黑社会性质组织或黑社会性质组织成员控制商业活动的法人以及其他团体的；
 - (10)欲住宿的人员是法人，其董事会成员中有符合黑社会性质组织等反社会组织的人；
 - (11)欲住宿的人员对住宿设施或住宿设施员工做出暴力、胁迫、恐吓等高压不当要求，或要求超出合理范围的承担的，或发现曾在本酒店或其他酒店做出同样行为的；
 - (12)反复提出旅馆业法施行规则第 5 条之 6 规定的要求，其执行造成的负担过重，可能明显阻碍向其他房客提供住宿服务。
2. 本酒店根据前款规定解除住宿合同，将不收取住客尚未享受的住宿服务等费用。

第 10 条 住宿的登记

1. 住客于住宿日当天在本酒店的接待处登记以下事项：
- (1)住客的姓名、年龄、性别和住所；
 - (2)若是在日本国内没有住所的外国人，则登记国籍、护照号、入境地和入境日期（护照复印件或扫描件）、上一站和下一站；
 - (3)出发日和出发预计时间；
 - (4)其他本酒店认为需要的事项。
2. 住客欲以住宿券、信用卡等可代替货币的方式支付本条款第 14 条之费用的，预先在前款的登记时出示。

第 11 条 客房的使用时间

1. 住客可使用本酒店客房的时间，原则上为下午 3 时至次日中午（限定了入住/退房时间的住宿套餐除外）。但连续住宿的，除到达日和出发日外，可全天使用。
2. 虽有前款规定，本酒店可能响应该款规定的超时使用客房。此情况下，将收取下列额外费用：
- (1)超时至退房日中午到下午 3 时——房费的 30%
 - (2)超时至退房日下午 3 时到下午 6 时——房费的 50%
 - (3)超时至退房日下午 6 时到次日中午——房费的 100%

第 12 条 使用规则的遵守

1. 住客在本酒店内将遵守本酒店另行制定的 BELLUSTAR TOKYO 使用规则。

第 13 条 营业

1. 本酒店设施等的详细营业时间，我方将通过在各处贴示等介绍：

2. 前款营业时间可能在需要以及不得已的情况下临时变更。此情况下，我方将以适当的方式通知。

第 14 条 费用的支付

1. 住客应支付的住宿费用等细目，依注释第 1 所列。
2. 前款住宿费用等的支付，以货币或本酒店认可的住宿券、信用卡等可代替的方式，在住客出发时或本酒店收取时，在接待处进行。
3. 本酒店向住客提供客房并可供使用后，即使住客未住宿，也将收取住宿费用。

第 15 条 本酒店的责任

1. 履行住宿合同以及相关的合同时或因不履行而给住客造成损失的，本酒店将赔偿其损失。非因可归责于本酒店的原因造成的除外。

第 16 条 无法提供签约客房时的处理

1. 本酒店无法向住客提供签约客房的，经住客谅解，尽量按相同条件调剂其他住宿设施。
2. 虽有前款规定，无法调剂其他住宿设施的，本酒店向住客支付相当于违约金的补偿费，以该补偿费作为损失赔偿额。但无法提供客房时没有可归责于本酒店的原因的，不支付补偿费。

第 17 条 寄存物品的处理

1. 住客寄存在接待处的物品发生灭失、毁损等损失的，除其为不可抗力外，本酒店赔偿其损失。但现金和贵重物品，本酒店要求明告其种类和价格时，住客未进行明告的，本酒店以 15 万日元为限赔偿其损失。
2. 住客带入本酒店的物品或现金以及贵重物品，未寄存在接待处的，除因本酒店的故意或过失而发生灭失、毁损等损失的以外，本酒店不负责任。
但住客预先未明告种类和价格的，属于酒店责任的，本酒店以 15 万日元为限度赔偿其损失。

第 18 条 住客的行李或携带品的保管

1. 住客的行李在住宿之前到达本酒店的，仅限于本酒店在其到达前同意时负责保管。住客在接待处办理入住手续时将交还行李或送至客房。
2. 住客退房后，住客的行李或携带品遗忘在本酒店时，物主无指示或未明确物主的，我方将按照遗失物品法处理。
3. 本条第 2 款情况下本酒店保管住客行李或携带品的责任，本条第 1 款依照前条第 1 款规定，本条第 2 款依照前条第 2 款规定。
4. 拾物将保管一定期间，之后将按照遗失物品法处理。

第 19 条 停车的责任

1. 酒店客人使用东急歌舞伎町塔地下停车场的，不论是否寄存车辆钥匙，本酒店不承担车辆的管理责任。但管理停车场时，因本酒店的故意或过失而造成损失的，本酒店负责其赔偿。

第 20 条 住客的责任

1. 因住客的故意或过失致使本酒店蒙受损失的，该住客对本酒店赔偿其损失。

第 21 条 个人信息的处理

1. 本酒店对于客人提供的个人信息，将根据另行制定的本酒店隐私政策妥善处理。

第 22 条 免责事项

1. 使用本酒店的计算机通信时，应由用户自行负责进行。使用计算机通信过程中因系统障碍以及其他原因致使服务中断，从而使用户遭受任何损失的，除因本酒店的故意或重大过失造成的外，本酒店不负任何责任。使用计算机通信时有本酒店认为不当的行为，并由此对本酒店和第三方造成损失的，用户将赔偿该损失。

第 23 条 条款的变更

1. 本条款符合民法规定的格式条款，符合住客的一般利益或认为有变更的必要性和相当性的，我方将根据民法的规定变更本条款各条款。
2. 本条款变更的，变更后的规定的内容刊登在网站上，自刊登时规定的生效日起适用变更后的内容。变更本条款时，我方会将变更内容等以书面或用客房电视内资讯等适当的方式公之于众。

注释第 1 住宿费用等细目（第 2 条第 1 款和第 14 条第 1 款相关）

住客应支付的总额为下述合计：

- 住宿费用①房费+服务费
- 额外费用②餐饮费以及其他使用费用（包括手续费、服务费）
- 税款 各类税
※税法修改的，应依照修改后的规定。

注释第 2 违约金（第 9 条第 2 款相关）

根据收到合同解除通知之日和要约人数，规定如下：

- 一般
 - 不住 100%
 - 当天 100%
 - 前一天 100%（下午 3 时以后）
- 团客（10 房以上）
 - 不住 100%
 - 当天 100%
 - 前一天 100%
 - 7 天前 80%
 - 30 天前 50%
 - 60 天前 30%
 - 90 天前 20%
- 团客（31 房以上）
 - 不住 100%
 - 当天 100%
 - 14 天前 100%
 - 30 天前 80%
 - 60 天前 50%
 - 90 天前 30%

※%表示违约金与预订时住宿费用的比率。（不包括服务费和增值税）

※住宿包等另行设置有违约金的，收取其公布金额作为违约金。

※合同天数缩短的，不论其缩短天数，我方将收取 1 天（第一天）的违约金。

※住宿包等另行设置有违约金的，收取其公布金额作为违约金。

※各旅行公司的要约的取消，应依照发出要约的旅行公司的规定。

餐馆服务规章

为了让客人满意使用，BELLUSTAR TOKYO 的餐馆设有下述服务规章，敬请谅解。

第 1 条 使用的拒绝及预订、合同的解除

下列情况下，我方将谢绝使用（包括使用时的预订、合同）。签订预订、合同后，发现该事实的，届时我方将解除预订、合同。

1. 用户有符合以下情形的人的：

- (1) 黑社会性质组织、黑社会性质组织成员、黑社会性质组织关联企业和团体的涉及者等反社会组织；
 - (2) 黑社会性质组织或黑社会性质组织成员控制商业活动的法人以及其他团体；
 - (3) 担任法人，其董事会成员中有符合黑社会性质组织成员的人的。
2. 对餐馆或员工做出暴力、胁迫、恐吓等高压行为，或要求超出合理范围的承担，以及被认为曾在
本餐馆或其他餐馆做出同样行为的；
3. 对其他用户做出明显打扰的言行的；
4. 欲使用的人员明显患有传染病的，或者患有其他因感染而可能罹患的疾病的；
5. 预订、合同的内容（使用目的）与要约时不同，明显虚假申报的；
6. 偏离各餐馆制定的着装要求的（着装要求请采用商务休闲风格）。

第 2 条 使用规则的遵守

1. 使用餐馆的客人在本酒店内，视为已同意另行制定的 BELLUSTAR TOKYO 使用规则。

第 3 条 禁止事项

1. 请勿进行下列事项：

- (1) 带入所有动物、宠物类，如狗、猫、小鸟等（法律规定的服务犬除外）；
- (2) 易着火或引燃的炸药、挥发油类以及有危险的制品；
- (3) 带入发出强烈气味或恶臭的物品；
- (4) 擅自带入其他店或私人的饮食品；
- (5) 违反法律法规或公序良俗的行为以及打扰其他客人或令他人产生不适的言行；
- (6) 带入本酒店销售的外带商品以外的食品；
- (7) 在店内以振动模式和静音模式以外的模式使用手机；
- (8) 擅自移动桌椅等用品；
- (9) 其他法律禁止的行为。

第 4 条 营业

1. 本酒店的主要餐馆如下，餐馆等的详细营业时间，我方将在网站、各处介绍：

Restaurant Bellustar 45 楼

Bar Bellustar 45 楼

铁板“天祐” 45 楼

寿司“甚江” 45 楼

2. 前款营业内容可能在需要时或不得已时变更。

第 5 条 取消政策

1. 对于预订，原则上我方将按照餐点内容的金额和单间费收取规定的取消费。
5 天前 30%
3 天前~前一天 50%
当天 100%
2. 若餐点内容未定，我方将按人数收取预订餐馆在预订时的最低套餐费用。
3. 因天灾等不得已的原因而取消，不属于该范畴。

第 6 条 免责声明

1. 本酒店销售的外带商品，购买后过保质期的，餐馆不负其责任。
2. 菜单可能根据进货情况变更。
3. 过敏客人请预先提出。若不提出，餐馆不负其责任，敬请谅解。

第 7 条 损失赔偿

1. 请充分注意，勿因客人过失而破损、损坏餐馆的设施、家具等。
2. 故意破损、损坏设施、家具用品等的，您可能进行等价赔偿，敬请谅解。

第 8 条 使用人数的确定

1. 预订时，对于使用人数，请在使用前一天的中午之前与餐馆联系人联系。

第 9 条 服务规章的变更

1. 本服务规章符合民法规定的格式条款，符合客人的一般利益或认为有变更的必要性和相当性的，我方将根据民法的规定变更本服务规章各条款。
2. 本使用规章变更的，变更后的内容刊登在网站上，自刊登时规定的生效日起适用变更后的内容。变更本使用规章时，我方会将变更内容等以书面或者用客房电视内资讯等适当的方式公之于众。

宴会规章

为了顺利举行宴会，BELLUSTAR TOKYO 制定了规章如下，敬请谅解。

第 1 条 申请

1. 临时预订

申请宴会厅时，设有临时预订期间。临时预订的期间，原则上为申请日起一周（7 天）。请在该期间内与酒店联系有无举办安排。若在临时预订期间内没有与本酒店联系，我方将视为没有举办安排。

2. 预订成功

告知决定后，签订宴会承接协议书或支付申请款，即视为预订成功。申请款的金额将根据宴会内容，由本酒店出示。

第 2 条 订金

1. 本酒店出示的金额为订金，在宴会举办日 7 天前支付给本酒店。期间内没有到账的，我方可能取消宴会。

第 3 条 最终确认

1. 报价人数和餐点数量有变更的，请您每次联系。我方将在宴会举办日的上前一天中午之前接受变更，减少时，最大可减少最终报价人数和餐点数量的 10%。我方将以该申请人的通知我方为最终确认。若没有联系，我方将按报价执行。

第 4 条 宴会时间

1. 从开始使用宴会厅到结束的合同时间（宴会时间），支付规定的房费，超过该宴会时间将收取额外房费。但因与下一场的宴会厅使用时间的关系，可能谢绝超过使用时间。

第 5 条 结账

1. 宴会结束后，对于确定的使用金额（结账金额），于本酒店事先确认的支付日之前支付其费用。对于结账金额，若订金有过剩到账，本酒店将退还其差额。

第 6 条 装饰、表演等的安排

1. 原则上对于有关宴会的装饰、花艺、音乐、表演、音响照明以及宴会招待等，酒店将安排指定商家。
2. 在酒店的同意下，申请人直接安排的商家进行的事项，请事先与酒店联系，以顺利承办宴会。请勿未经酒店方事先同意而直接安排商家。对申请人安排的商家的指示，将服从酒店的指示。

第 7 条 损失赔偿

1. 因申请人（包括申请人方的所有有关人员、主办方、宴会出席人员）或申请人安排的商家的故意或过失致使本酒店蒙受损失（酒店设施、家具用品等的破损、损坏、污损等）的，该申请人将赔偿其

损失。

第 8 条 设施内的事故、丢失、失窃

1. 在设施内，在客人管理下发生的事故、丢失、失窃，酒店方不负责任，敬请谅解。

第 9 条 拒绝签订合同

1. 出席宴会的客人与以下项目有冲突的，或因天灾、设施故障以及其他不得已的原因而无法使用宴会厅的，我方可能谢绝申请宴会。此情形下，我方不负拒绝签订合同的损失赔偿等，敬请谅解。

- (1) 被认为可能做出违反法律法规或公序良俗的行为的；
- (2) 被认为可能打扰其他客人的，或者做出打扰的言行的；
- (3) 酒店方认为可能妨碍第三方营业的；
- (4) 发现是黑社会性质组织、黑社会性质组织成员、黑社会性质组织关联企业和团体的涉及者等反社会组织的；
- (5) 黑社会性质组织等是控制商业活动的法人以及其他团体；
- (6) 担任法人，其董事会成员中有符合黑社会性质组织成员的人的；
- (7) 对本酒店或本酒店员工进行暴力、胁迫、恐吓等高压不当要求或要求超出合理范围的承担的，或者被认为曾在本酒店或其他酒店做出同样行为的；
- (8) 违反本“宴会规章”和单独签订的合同的。

第 10 条 合同解除

1. 符合以下项目或有冲突的，酒店方将谢绝宴会，或者终止已签订的合同，敬请谅解。此情形下，我方不负因合同解除造成的损失赔偿，敬请谅解。

- (1) 出席宴会的人员被认为可能做出违反法律法规或公序良俗的行为的；
- (2) 被认为可能打扰其他客人的；
- (3) 酒店方认为可能妨碍第三方营业的；
- (4) 因天灾或设施故障以及其他不得已的原因而无法使用宴会厅的；
- (5) 发现出席宴会的人员是黑社会性质组织、黑社会性质组织成员、黑社会性质组织关联企业、团体或有关人员等反社会组织的；
- (6) 出席宴会的人员是黑社会性质组织等控制商业活动的法人以及其他团体的；
- (7) 出席宴会的人员担任法人，其董事会成员中有符合黑社会性质组织成员的人的；
- (8) 出席宴会的人员对本酒店或本酒店员工进行暴力、胁迫、恐吓等高压不当要求，或要求超出合理范围的承担的，或者被认为曾在本酒店或其他酒店做出同样行为的；
- (9) 出席宴会的人员明显患有传染病的，或者患有其他因感染而可能罹患的疾病的；
- (10) 宴会的内容（使用目的）与申请时不同，发现明显虚报的；
- (11) 其他违反本“宴会规章”和单独签订的合同的。

第 11 条 禁止事项

1. 下列各项为禁止事项，请勿进行：

- (1) 带入所有动物、宠物类，如狗、猫、小鸟等（法律规定的服务犬除外）；
- (2) 易着火或引燃的炸药、挥发油类以及有危险的制品；
- (3) 带入发出强烈气味或恶臭的物品；
- (4) 违反法律法规或公序良俗的行为以及打扰其他客人或令他人产生不适的言行；
- (5) 擅自移动酒店备置品；
- (6) 出于非使用目的的使用；
- (7) 法律法规禁止的其他行为。

第 12 条 取消费、日程变更

1. 预订成功后的取消和日程变更时，根据自举办日起计算的取消日和变更日，原则上收取下述取消费和变更费。

从预订成功日到举办日的 121 天以前 最新报价总额的 10%+实际费用

从举办日的 120 天前到 90 天前 最新报价总额的 20%+实际费用

从举办日的 89 天前到 30 天前 最新报价总额的 30%+实际费用

从举办日的 29 天前到 8 天前 最新报价总额的 50%+实际费用

从举办日的 7 天前到前一天 最新报价总额的 80%+实际费用

举办日当天最新报价总额的 100%+实际费用

※“最新报价总额”，是指客人与酒店签订的最新报价单中包括申请款以及已到账金额在内的总额。

※“实际费用”是指已订购印刷品等的费用以及其他外购品等的终止费。

※对于日程的延期，我方将按照终止的情形收取取消费。

第 13 条 个人信息的处理

本酒店对于客人提供的个人信息，将根据另行制定的本酒店隐私政策妥善处理。

第 14 条 规章的变更

1. 本规章符合民法规定的格式条款，符合客人的一般利益或认为有变更的必要性和相当性的，我方将根据民法的规定变更本规章各条款。
2. 本规章变更的，变更后的内容刊登在网站上，自刊登时规定的生效日起适用变更后的内容。变更本规章时，我方会将变更内容等以书面或用客房电视内资讯等适当的方式公之于众。

婚礼喜宴规章

为了顺利举行喜宴，BELLUSTAR TOKYO 制定规章如下，敬请谅解。

第 1 条 合同的成立

1. 您在预订举行仪式、喜宴时，在申请书中填写必要事项，由申请人签字并支付申请款。我方收取的申请款将作为举行仪式、喜宴中实施费用的一部分。申请款为 10 万日元，支付后合同成立。

第 2 条 喜宴时间与额外房费

1. 宴会厅等的使用时间为约定的使用时间内。因客人原因超过约定的使用时间的，可能收取规定的额外房费和涉及延长的其他费用等。但可能因与下一场的宴会厅使用时间的关系而谢绝延长使用时间。

第 3 条 支付

1. 喜宴的费用，针对酒店出示的概算报价金额，请以银行转账或现金方式支付以下金额。若无法在指定日期之前支付，合同将失效。此情形下，收取第 5 条约定的取消费。发生超欠的，应自喜宴举办日起 30 日内结账。

举办日前一个月 概算报价金额的 50%

举办日前 7 天 概算报价金额的 100%

第 4 条 人数确定后的变更

1. 较之酒店指定日期最终确定的人数和数量，出席喜宴的客人的人数和物品的数量减少的，也将按最终确定数收取。

第 5 条 取消费与日期变更

1. 已签约的举行仪式、喜宴的取消费和日期变更，将收取下述取消费及日期变更费：

- 取消费与日期变更费

自申请日起 181 天前 申请款的 50%

自 180 天前起 121 天前 申请款全额和实际费用各种费用

自 120 天前起 91 天前 申请款全额和最新报价总额的 20%以及实际各种费用

自 90 天前起 31 天前 申请款全额和最新报价总额的 30%以及实际各种费用

自 30 天前起 11 天前 申请款全额和最新报价总额的 45%以及实际费用各种费用

自 10 天前起前一天 申请款全额和最新报价总额的 45%以及已交付物品费用以及其他实际费用各种费用

举办日当天申请款全额和最新报价总额的 100%以及已交付物品费用以及其他实际费用各种费用

※自举行仪式、喜宴当天起计算

※取消费和日期变更费不包括税款、服务费，实际费用各种费用包括税款。

※“最新报价总额”，是指客人与酒店签订的最新报价单中包括申请款以及已到账金额在内的总额。

※“实际费用”，是指已订购的印刷品等的费用以及其他外购品等的终止费。

※对于日程的延期，我方将按照终止的情形收取取消费。

第 6 条 装饰、表演等的安排

1. 装饰、花艺、服装、美容、装扮、照片、音响、照明、表演、婚礼伴手礼等（包括承包策划规划、施工等的个人和企业），将由酒店安排指定商家。因客人原因直接安排非酒店指定商家的，请事先经酒店同意后安排，以顺利承办举行仪式、喜宴。上述情形下，对于搬进、搬出、安装场所和方式等，将服从酒店指示。可能另行收取安装陪同费和处理手续费。 电子吉他、铜号、鼓、乐队、交响乐队的演奏等，由于会影响其他会场，可能谢绝使用。

第 7 条 损失赔偿

1. 请充分注意，勿使客人的有关人员或客人直接安排的商家破损、损坏酒店的设施、家具用品等。万一酒店设施、家具用品等发生破损的，将让客人或客人直接安排的商家、有关人员及时维修，或我方将承担其维修、损失赔偿金。

第 8 条 不可分债务

1. 请谅解，举行仪式、喜宴中的债务是两家和新郎新娘的不可分债务。

第 9 条 设施内的事故、失窃

1. 在设施内，在客人管理下发生的事故、失窃，酒店方不负责任，敬请谅解。

第 10 条 禁止事项

1. 下列各项为禁止事项，请避免：
 - (1) 带入及使用发出大音响的物品；
 - (2) 带入所有动物、宠物类，如狗、猫、小鸟等（法律规定的服务犬除外）；
 - (3) 易着火或引燃的炸药、挥发油类以及有危险的制品；
 - (4) 带入发出强烈气味或恶臭的物品；
 - (5) 违反法律法规或公序良俗的行为、赌博等扰乱社会风气的行为以及被认为打扰其他客人的言行；
 - (6) 黑社会性质组织及其有关人员的使用；
 - (7) 移动酒店的备置品；
 - (8) 出于非预订时的使用目的使用；
 - (9) 其他法律禁止的行为。

第 11 条 拒绝签订合同

1. 出席喜宴的客人与以下项目有冲突的，或者因天灾、设施故障以及其他不得已的原因无法使用宴会厅的，我方可能谢绝申请婚礼喜宴。此情形下，酒店方不向申请人承担损失赔偿，敬请谅解。
 - (1) 被认为可能做出违反法律法规或公序良俗的行为的；

- (2)被认为明显打扰其他客人的；
- (3)酒店方认为可能妨碍第三方营业的；
- (4)是黑社会性质组织、黑社会性质组织成员、黑社会性质组织关联企业、团体或有关人员等反社会组织的；
- (5)是黑社会性质组织或黑社会性质组织成员控制商业活动的法人以及其他团体的；
- (6)担任法人，其董事会成员中有符合黑社会性质组织成员的人的；
- (7)被认为可能影响其他客人的，或者明显做出打扰言行的；
- (8)对本酒店或本酒店员工做出暴力的要求行为或要求超出合理范围的承担的；
- (9)根据提出使用宴会人员在指定黑社会性质组织等的地位、使用宴会的目的、人数、形式等，有人被认为可能损害其他客人的生命、人身、财产的；
- (10)违反本“婚礼喜宴规章”和单独签订的合同的。

第 12 条 合同解除

1. 对于下列项目，我方将谢绝客人（包括以下客人的所有有关人员、出席人员）申请喜宴，即使已签约的，我方也可能终止，敬请谅解。对于此情形下的终止，我方不进行因终止而产生的损失赔偿等，敬请谅解：
 - (1)出席喜宴的人员可能做出违反法律法规或公序良俗的行为的；
 - (2)出席喜宴的人员被认为明显打扰其他客人的；
 - (3)酒店方认为可能妨碍第三方营业的；
 - (4)是黑社会性质组织、黑社会性质组织成员、黑社会性质组织关联企业、团体或有关人员等反社会组织的；
 - (5)是黑社会性质组织或黑社会性质组织成员控制商业活动的法人以及其他团体的；
 - (6)担任法人，其董事会成员中有符合黑社会性质组织的人的；
 - (7)认为可能对本酒店的其他客人以及本酒店、酒店的员工进行暴力、胁迫、恐吓等高压不当要求，或者被认为曾在本酒店或其他酒店做出同样行为的；
 - (8)因天灾或设施故障以及其他不得已的原因而无法使用宴会厅的；
 - (9)出席喜宴的人员明显患有传染病的，或者患有其他因感染而有可能罹患的疾病的；
 - (10)出席喜宴的人员违反本“喜宴规章”的；
 - (11)未于酒店指定日期之前支付举行仪式、喜宴费用的。

第 13 条 个人信息的处理

1. 客人提供的个人信息，本酒店将按照另行制定的本酒店隐私政策妥善处理。

第 14 条 规章的变更

1. 本规章符合民法规定的格式条款，符合客人的一般利益或认为有变更的必要性和相当性的，我方将根据民法的规定变更本规章各条款。
2. 本规章变更的，变更后的内容刊登在网站上，自刊登时规定的生效日起适用变更后的内容。变更本规章时，我方会将变更内容等以书面或用客房电视内资讯等适当的方式公之于众。